

小諸市都市計画基礎調査報告書

(概要版)

平成29年3月

長野県 小諸市

目 次

①人 口

C0101	人口規模	1
1)	人口総数及び増加数	1
2)	年齢・性別人口	2
C0102	DID（人口集中地区）	4
C0103	将来人口	6
C0104	人口増減の内訳	8
C0105	通勤通学	9
1)	通 勤	9
2)	通 学	11

②産 業

C0201	産業・職業大分類別就業者数	14
C0201-1	産業大分類別就業者数	14
C0201-2	職業大分類別就業者数	17
C0202	事業所数・従業者数・売上金額	20
C0202-1	事業所数・従業者数・売上金額	20
C0202-2	産業中分類別工業出荷額	23
C0202-3	産業中分類別商業販売額	28

③土地利用

C0302	土地利用現況	31
C0304	宅地開発状況	33
C0305	農地転用状況	34
C0307	新築状況	35
C0308	条例・協定	36

④建 物

C0401	建物用途別現況	39
C0401-3	地区別建ぺい率現況	39
C0401-4	地区別容積率現況	39
C0401-5	地区別、用途別の建物延べ床面積現況	41
C0401-6	建物年齢別現況	41
C0402	大規模小売店舗等の立地状況	42

⑤都市施設

C0501	都市施設の位置内容等	43
-------	------------	----

⑥交 通

C0601	主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度	45
C0603	鉄道・路面電車等の状況	48
C0604	バスの状況	48

⑦地 価

C0701	地価の状況	49
-------	-------	----

⑧自然環境

C0802	気象状況	51
C0803	緑の状況	52

⑨公害及び災害

C0901	災害の発生状況	53
C0902	防災拠点・避難場所	53

参考資料	資料- 1
------	-------

資料-1	将来人口推計	資料- 1
------	--------	-------

資料-2	将来就業者人口推計	資料-10
------	-----------	-------

資料-3	工業出荷額推計	資料-13
------	---------	-------

資料-4	商業販売額推計	資料-16
------	---------	-------

①人 口

C0101 人口規模

1) 人口総数及び増加数

平成 22 年の小諸市の総人口は 43,997 人（平成 22 年国勢調査）となっており平成 12 年（46,158 人）をピークに減少傾向にある。用途地域内人口は 15,288 人であるが、昭和 60 年以降減少を続けている。

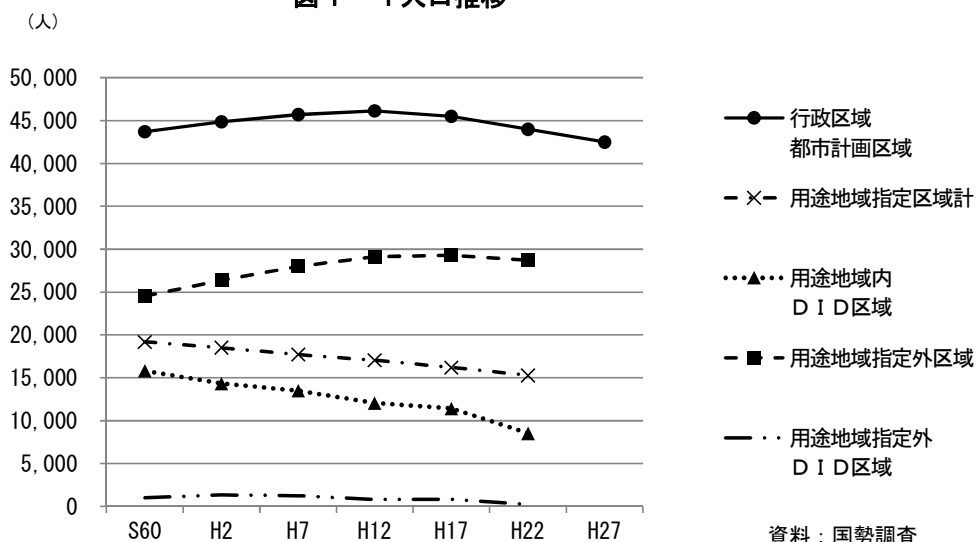
用途地域外人口は 28,709 人となっており、僅かではあるが減少傾向に転じた。

表 1－1 人口推移

区 域	平成 2 年	平成 2 年～7 年の増減		平成 7 年	平成 7 年～12 年の増減		平成 12 年	平成 12 年～17 年の増減		平成 17 年	平成 17 年～22 年の増減		平成 22 年	平成 22 年～27 年の増減		平成 27 年
	人口 (人)	人口 (人)	率 (%)	人口 (人)	人口 (人)	率 (%)	人口 (人)	人口 (人)	率 (%)	人口 (人)	人口 (人)	率 (%)	人口 (人)	人口 (人)	率 (%)	人口 (人)
行政区域	44,888	822	1.8	45,710	448	1.0	46,158	-659	-1.4	45,499	-1,502	-3.3	43,997	-1,485	-3.4	42,512
都市計画区域	44,888	822	1.8	45,710	448	1.0	46,158	-659	-1.4	45,499	-1,502	-3.3	43,997	-1,485	-3.4	42,512
用途地域指定区域計	18,517	-798	-4.3	17,719	-675	-3.8	17,044	-836	-4.9	16,208	-920	-5.7	15,288	-	-	-
うち D I D 区域	14,335	-839	-5.9	13,496	-1,434	-10.6	12,062	-638	-5.3	11,424	-2,887	-25.3	8,537	-	-	-
用途地域指定外区域	26,371	1,620	6.1	27,991	1,123	4.0	29,114	177	0.6	29,291	-582	-2.0	28,709	-	-	-
うち D I D 区域	1,336	-98	-7.3	1,238	-424	-34.2	814	25	3.1	839	-609	-72.6	230	-	-	-

資料：国勢調査

図 1－1 人口推移



2) 年齢・性別人口

年齢（3区分）別人口みると年少人口、生産年齢人口は平成2年から平成27年にかけて減少傾向にあり、老年人口は増加傾向にあることから少子高齢化の進行がうかがえる。

（平成27年：年少人口比12.6%、高齢人口比30.2%）

平成27年の5歳階級別性別人口では、65-69歳が男女ともに最も多く、この年齢層を中心として壺形の人口構成となっており、30歳以下の若年層が少ない構造にある中、特に20代前半の人口が最も少ない。

表1-2 5歳階級別年齢・性別人口推移

年	平成2年			平成7年			平成12年			平成17年			平成22年			平成27年		
階層	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
0～4	2,453	1,225	1,228	2,569	1,332	1,237	2,281	1,202	1,079	1,970	998	972	1,853	965	888	1,595	772	823
5～9	2,836	1,482	1,354	2,504	1,268	1,236	2,374	1,240	1,134	2,127	1,095	1,032	1,908	975	933	1,842	963	879
10～14	3,277	1,695	1,582	2,828	1,460	1,368	2,405	1,202	1,203	2,356	1,224	1,132	2,096	1,085	1,011	1,934	982	952
年少人口	8,566	4,402	4,164	7,901	4,060	3,841	7,060	3,644	3,416	6,453	3,317	3,136	5,857	3,025	2,832	5,371	2,717	2,654
15～19	3,111	1,631	1,480	2,883	1,516	1,367	2,540	1,316	1,224	2,235	1,107	1,128	2,187	1,140	1,047	1,917	961	956
20～24	2,367	1,141	1,226	2,617	1,349	1,268	2,450	1,257	1,193	2,128	1,090	1,038	1,721	820	901	1,508	770	738
25～29	2,653	1,337	1,316	2,798	1,408	1,390	3,260	1,737	1,523	2,754	1,391	1,363	2,097	1,092	1,005	1,787	887	900
30～34	2,793	1,413	1,380	2,864	1,460	1,404	2,912	1,485	1,427	3,023	1,603	1,420	2,771	1,404	1,367	2,117	1,071	1,046
35～39	3,289	1,694	1,595	2,909	1,508	1,401	2,820	1,479	1,341	2,690	1,336	1,354	2,979	1,560	1,419	2,709	1,390	1,319
40～44	3,703	1,907	1,796	3,346	1,726	1,620	2,766	1,440	1,326	2,710	1,368	1,342	2,737	1,356	1,381	2,948	1,507	1,441
45～49	3,109	1,613	1,496	3,686	1,913	1,773	3,316	1,720	1,596	2,761	1,424	1,337	2,670	1,360	1,310	2,693	1,335	1,358
50～54	2,550	1,271	1,279	3,049	1,556	1,493	3,667	1,921	1,746	3,208	1,637	1,571	2,677	1,385	1,292	2,631	1,353	1,278
55～59	2,869	1,369	1,500	2,540	1,259	1,281	3,033	1,568	1,465	3,642	1,858	1,784	3,173	1,591	1,582	2,651	1,346	1,305
60～64	2,915	1,387	1,528	2,767	1,303	1,464	2,533	1,227	1,306	3,008	1,531	1,477	3,605	1,794	1,811	3,138	1,551	1,587
生産年齢人口	29,359	14,763	14,596	29,459	14,998	14,461	29,297	15,150	14,147	28,159	14,345	13,814	26,617	13,502	13,115	24,099	12,171	11,928
65～69	2,422	1,012	1,410	2,818	1,306	1,512	2,701	1,272	1,429	2,445	1,163	1,282	2,936	1,469	1,467	3,571	1,773	1,798
70～74	1,734	728	1,006	2,217	899	1,318	2,643	1,188	1,455	2,525	1,139	1,386	2,361	1,106	1,255	2,803	1,372	1,431
75～79	1,436	591	845	1,493	605	888	1,983	785	1,198	2,355	1,011	1,344	2,258	987	1,271	2,157	989	1,168
80～84	884	350	534	1,078	401	677	1,225	469	756	1,630	584	1,046	2,002	790	1,212	1,911	782	1,129
85～89	366	115	251	563	185	378	747	236	511	866	298	568	1,262	390	872	1,517	514	1,003
90～	121	37	84	182	52	130	324	73	251	547	132	415	687	177	510	898	205	693
高齢人口	6,963	2,833	4,130	8,351	3,448	4,903	9,623	4,023	5,600	10,368	4,327	6,041	11,506	4,919	6,587	12,857	5,635	7,222
年齢不詳	-	-	-	-	-	-	178	129	49	519	342	177	17	17	-	185	100	85
合 計	44,888	21,998	22,890	45,711	22,506	23,205	46,158	22,946	23,212	45,499	22,331	23,168	43,997	21,463	22,534	42,512	20,623	21,889

資料：国勢調査

図1-2 年齢区分別人口の推移

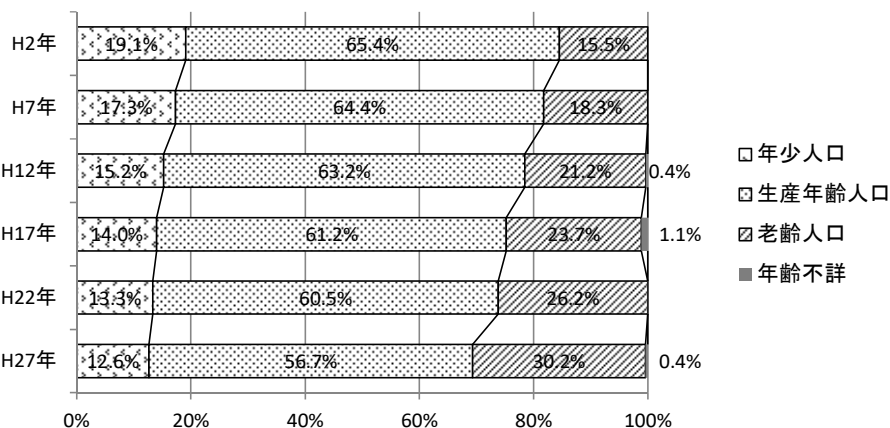
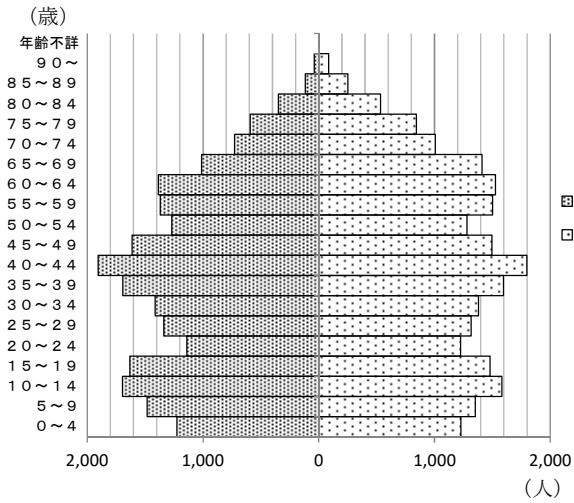
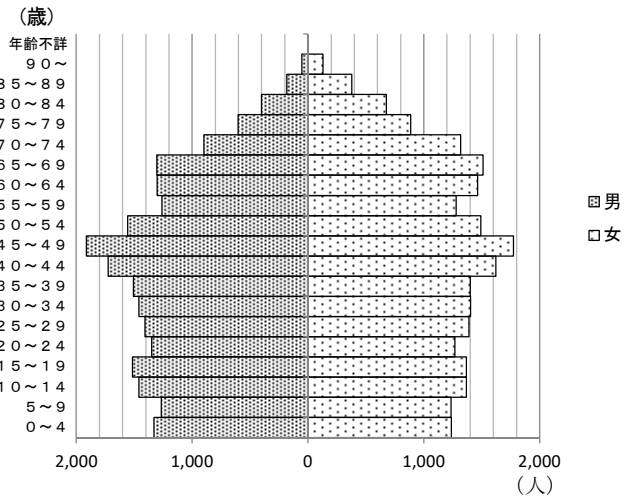


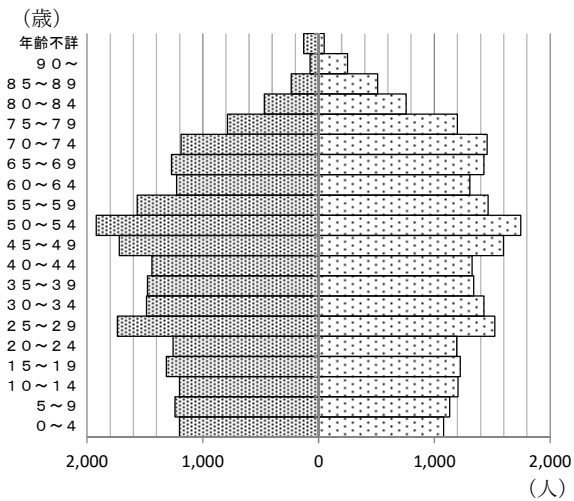
図 1-3 年齢・性別人口の推移



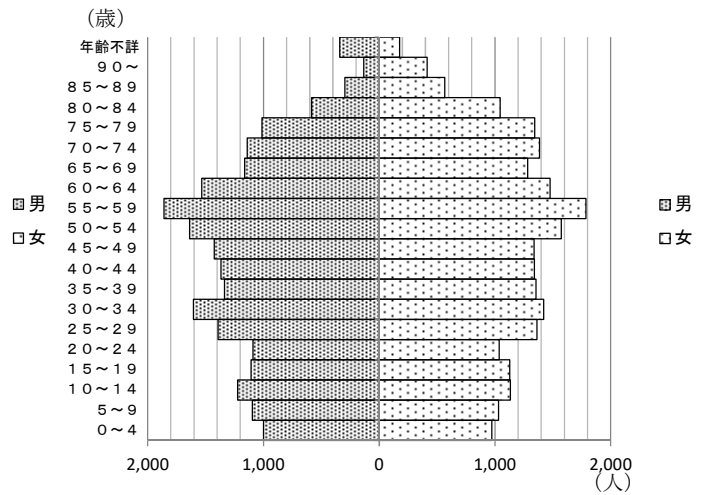
平成 2 年



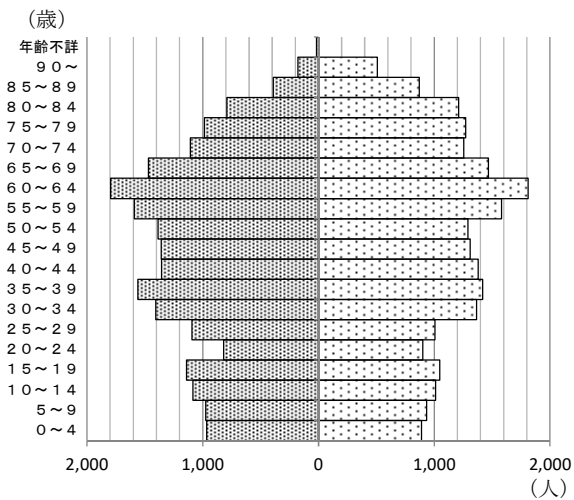
平成 7 年



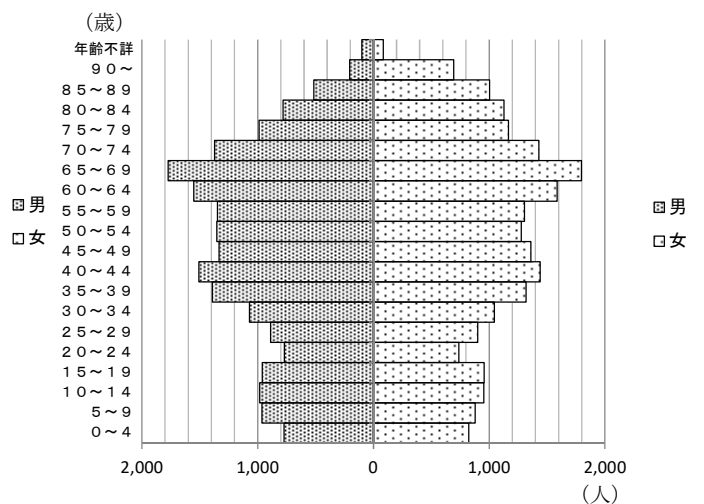
平成 12 年



平成 17 年



平成 22 年



平成 27 年

C0102 DID（人口集中地区）

平成 22 年の DID（人口集中地区）※の人口密度は 29 人/ha で、昭和 55 年（48 人/ha）から減少が続き、4 割減少している。DID の区域は平成 2 年（420.7ha）をピークに縮小の一途をたどっているが、平成 22 年には平成 2 年の 7 割（297.7ha）、平成 27 年には半分以下（199.0ha）まで縮小している。

※DID(人口集中地区)：市町村の区域内で人口密度が高い調査区が互いに隣接してその人口が 5000 人以上となる地区

表 1－3 DID の推移

	人口集中地区			用途地域指定区域		用途地域指定区域に対する比率	
	面積 (ha)	人口(人)	人口密度 (人/ha)	面積 (ha)	人口(人)	面積ベース (%)	人口ベース (%)
昭和 55 年	318.3	15,333	48	300.6	14,733	94.4	96.1
昭和 60 年	393.6	16,827	43	361.1	15,818	91.7	94.0
平成 2 年	420.7	15,671	37	368.9	14,335	87.7	91.5
平成 7 年	394.6	14,734	37	359.1	13,496	91.0	91.6
平成 12 年	377.4	12,876	34	347.0	12,062	91.9	93.7
平成 17 年	370.8	12,263	33	339.5	11,424	91.6	93.2
平成 22 年	297.7	8,767	29	278.8	8,537	93.7	97.4
平成 27 年	199.0	5,345	27	—	—	—	—

資料：国勢調査

図 1－4 DID の推移

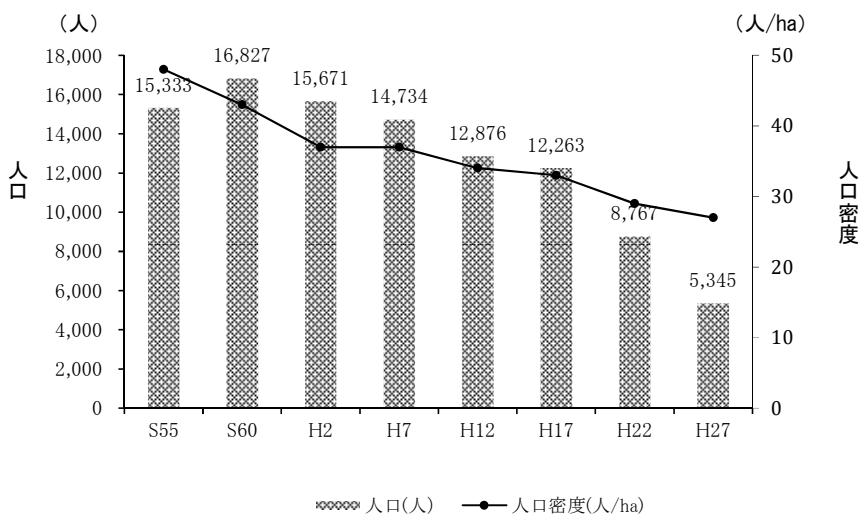
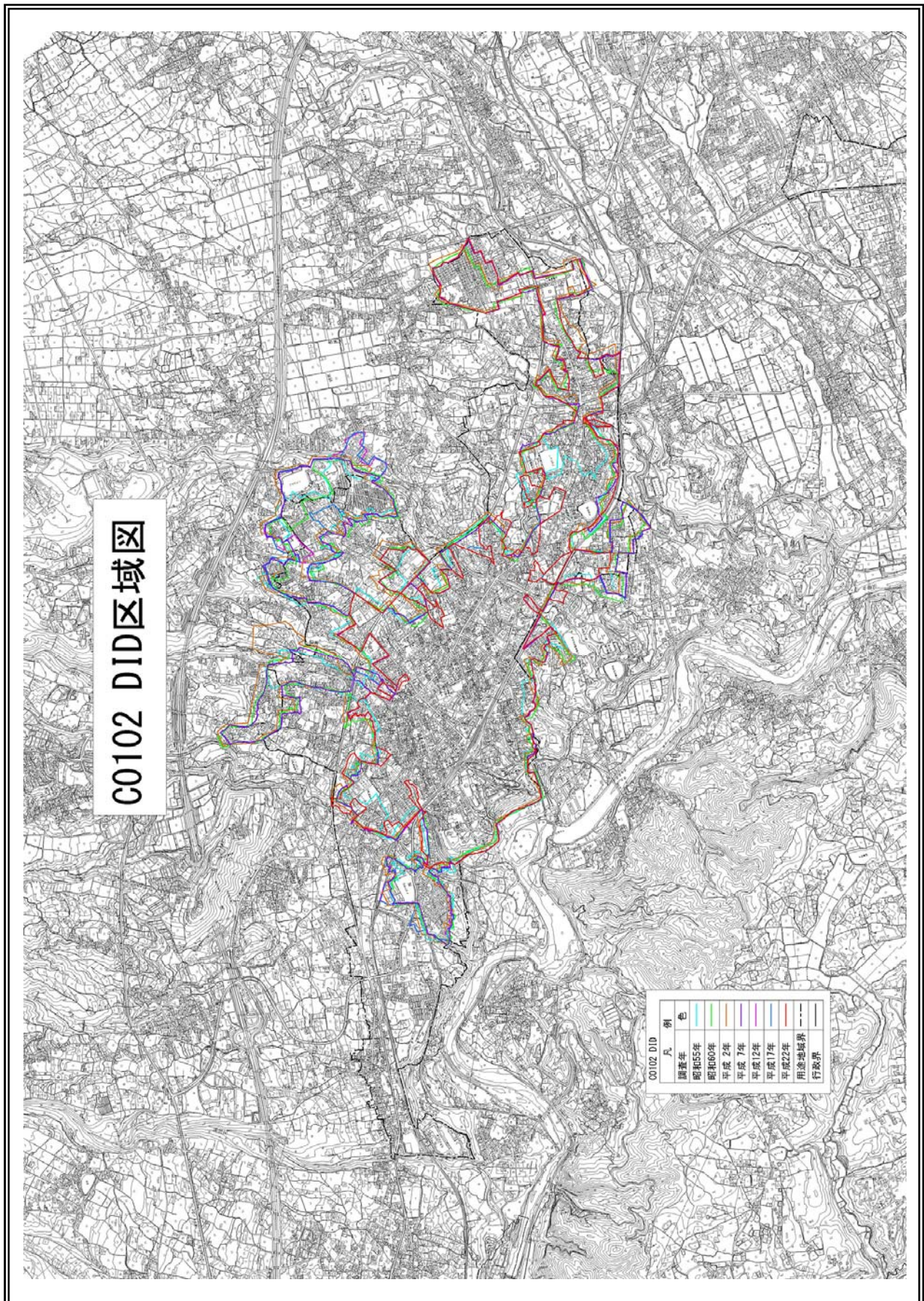


図 1－5 DID の区域図



C0103 将来人口

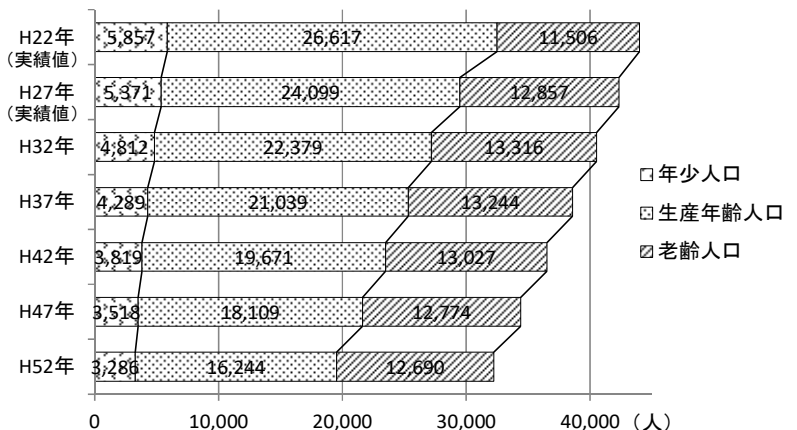
国立社会保障・人口問題研究所による小諸市の推計人口は平成22年から平成52年まで減少傾向が続き、平成52年には32,220人となると推計されている。年齢（3区分）別人口でみると平成22年から平成52年の増減は年少人口が2,571人減（43.9%減）、生産年齢人口が10,373人減（39.0%減）、高齢人口が1,184人増（10.3%増）となっている。

表1-4 5歳階級別人口推計

年 階層	平成22年（実績値）			平成27年（実績値）			平成32年			平成37年			平成42年		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
0～4	1,853	965	888	1,595	772	823	1,444	741	703	1,296	665	631	1,191	611	580
5～9	1,908	975	933	1,842	963	879	1,627	836	791	1,398	718	680	1,256	645	611
10～14	2,096	1,085	1,011	1,934	982	952	1,741	909	832	1,595	820	775	1,372	705	667
15～19	2,187	1,140	1,047	1,917	961	956	1,773	905	868	1,660	865	795	1,521	780	741
20～24	1,721	820	901	1,508	770	738	1,765	899	866	1,598	804	794	1,494	767	727
25～29	2,097	1,092	1,005	1,787	887	900	1,861	963	898	1,775	914	861	1,607	817	790
30～34	2,771	1,404	1,367	2,117	1,071	1,046	1,701	827	874	1,859	963	896	1,771	913	858
35～39	2,979	1,560	1,419	2,709	1,390	1,319	2,039	1,056	983	1,671	805	866	1,825	938	887
40～44	2,737	1,356	1,381	2,948	1,507	1,441	2,688	1,342	1,346	2,032	1,048	984	1,665	799	866
45～49	2,670	1,360	1,310	2,693	1,335	1,358	2,908	1,519	1,389	2,634	1,318	1,316	1,992	1,030	962
50～54	2,677	1,385	1,292	2,631	1,353	1,278	2,592	1,288	1,304	2,823	1,472	1,351	2,558	1,278	1,280
55～59	3,173	1,591	1,582	2,651	1,346	1,305	2,515	1,262	1,253	2,537	1,242	1,295	2,763	1,421	1,342
60～64	3,605	1,794	1,811	3,138	1,551	1,587	2,537	1,263	1,274	2,450	1,203	1,247	2,475	1,186	1,289
65～69	2,936	1,469	1,467	3,571	1,773	1,798	2,968	1,426	1,542	2,449	1,200	1,249	2,367	1,144	1,223
70～74	2,361	1,106	1,255	2,803	1,372	1,431	3,300	1,586	1,714	2,825	1,335	1,490	2,334	1,126	1,208
75～79	2,258	987	1,271	2,157	989	1,168	2,498	1,196	1,302	2,984	1,399	1,585	2,556	1,178	1,378
80～84	2,002	790	1,212	1,911	782	1,129	1,775	756	1,019	2,123	955	1,168	2,566	1,134	1,432
85～89	1,262	390	872	1,517	514	1,003	1,467	527	940	1,397	529	868	1,680	677	1,003
90～	687	177	510	898	205	693	1,308	352	956	1,466	406	1,060	1,524	437	1,087
年齢不詳	17	17	-	185	100	85	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	43,997	21,463	22,534	42,512	20,623	21,889	40,507	19,653	20,854	38,572	18,661	19,911	36,517	17,586	18,931

年 階層	平成47年			平成52年		
	計	男	女	計	男	女
0～4	1,131	580	551	1,058	543	515
5～9	1,154	593	561	1,096	563	533
10～14	1,233	634	599	1,132	582	550
15～19	1,308	671	637	1,175	603	572
20～24	1,367	691	676	1,175	594	581
25～29	1,504	781	723	1,376	703	673
30～34	1,604	817	787	1,500	780	720
35～39	1,740	890	850	1,575	796	779
40～44	1,817	930	887	1,733	883	850
45～49	1,634	786	848	1,783	915	868
50～54	1,935	999	936	1,587	762	825
55～59	2,505	1,234	1,271	1,895	964	931
60～64	2,695	1,357	1,338	2,445	1,179	1,266
65～69	2,395	1,129	1,266	2,606	1,292	1,314
70～74	2,261	1,076	1,185	2,291	1,064	1,227
75～79	2,120	999	1,121	2,059	958	1,101
80～84	2,202	956	1,246	1,836	818	1,018
85～89	2,069	822	1,247	1,782	696	1,086
90～	1,727	529	1,198	2,116	668	1,448
年齢不詳	-	-	-	-	-	-
合 計	34,401	16,474	17,927	32,220	15,363	16,857

図1-6 年齢3区分別将来推計人口



資料：男女・年齢（5歳）階級別データ「日本の地域別将来推計人口」（平成25年3月推計）国立社会保障・人口問題研究所

小諸市の人口推計は最小二乗法 1 次式・2 次式・ロジスティック曲線及びコーホートモデルによる推計をおこなった。（参考資料―1 参照）

なお、コーホートモデルは国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口（平成 25 年 3 月推計）」に依った。

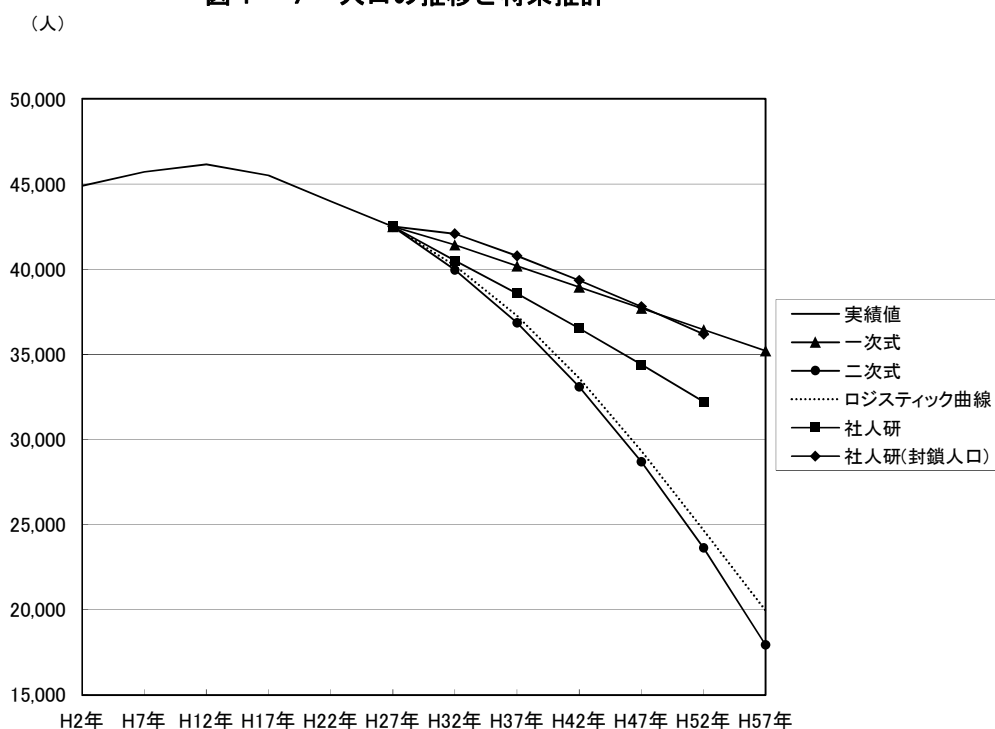
以下に、その結果を小諸市 総合計画（第 5 次基本構想）の推計値も併記して示す。

表 1－5 人口推計

		平成 22 年	平成 27 年	平成 32 年	平成 37 年 (10 年後)	平成 39 年	平成 42 年	平成 47 年 (20 年後)	平成 52 年	平成 57 年 (30 年後)	備 考
行政区域	実績値	43,997	42,512								
	一次式										
	二次式			41,432	40,188		38,944	37,700	36,456	35,212	
	ロジスティック曲線			39,960	36,850		33,092	28,688	23,636	17,938	
	国立社会保障 ・人口問題研究所推計			40,208	37,259		33,601	29,328	24,672	19,967	
	国立社会保障 ・人口問題研究所推計(封鎖人口)			40,507	38,572		36,517	34,401	32,220		
	小諸市総合計画 (第 5 次基本構想)			42,081	40,785		39,354	37,815	36,194		
						38,279					

資料：国勢調査

図 1－7 人口の推移と将来推計



C0104 人口増減の内訳

行政区域の平成2年から平成27年までの約25年間における人口動態による減少数は1,524人となっている。自然動態においては平成15年以降、出生児数が死亡者数を下回るにより減少が続いている。社会動態においては平成12年以降、転出者数が転入者数を上回り、社会減の傾向が続いている。

全体の人口動態の推移を累計値でみると、平成2年から平成18年までは増減を繰り返してきたが、それ以降は減少傾向が続いている。

表1-6 人口増減の内訳（行政区域）

単位：人

年度	累計	増加数	自然増	出生	死亡	社会増	転入	転出
平成2年	228	228	169	476	307	59	1,867	1,808
3年	251	23	166	490	324	-143	1,787	1,930
4年	488	237	151	538	387	86	2,076	1,990
5年	460	-28	75	454	379	-103	1,918	2,021
6年	778	318	177	524	347	141	2,037	1,896
7年	873	95	110	484	374	-15	2,115	2,130
8年	934	61	126	497	371	-65	1,931	1,996
9年	1,044	110	88	478	390	22	2,090	2,068
10年	1,168	124	109	505	396	15	2,140	2,125
11年	1,237	69	44	469	425	25	2,287	2,262
12年	1,180	-57	41	453	412	-98	2,213	2,311
13年	945	-235	39	458	419	-274	1,960	2,234
14年	950	5	56	451	395	-51	2,068	2,119
15年	759	-191	-34	391	425	-157	2,054	2,211
16年	704	-55	-29	373	402	-26	2,065	2,091
17年	461	-243	-54	403	457	-189	1,807	1,996
18年	462	1	11	417	406	-10	1,937	1,947
19年	317	-145	-72	398	470	-73	1,771	1,844
20年	159	-158	-102	380	482	-56	1,768	1,824
21年	-166	-325	-72	384	456	-253	1,524	1,777
22年	-439	-273	-98	378	476	-175	1,481	1,656
23年	-614	-175	-160	335	495	-15	1,590	1,605
24年	-880	-266	-168	336	504	-98	1,458	1,556
25年	-1,182	-302	-124	380	504	-178	1,429	1,607
26年	-1,313	-131	-163	319	482	32	1,484	1,452
27年	-1,524	-211	-195	305	500	-16	1,504	1,520

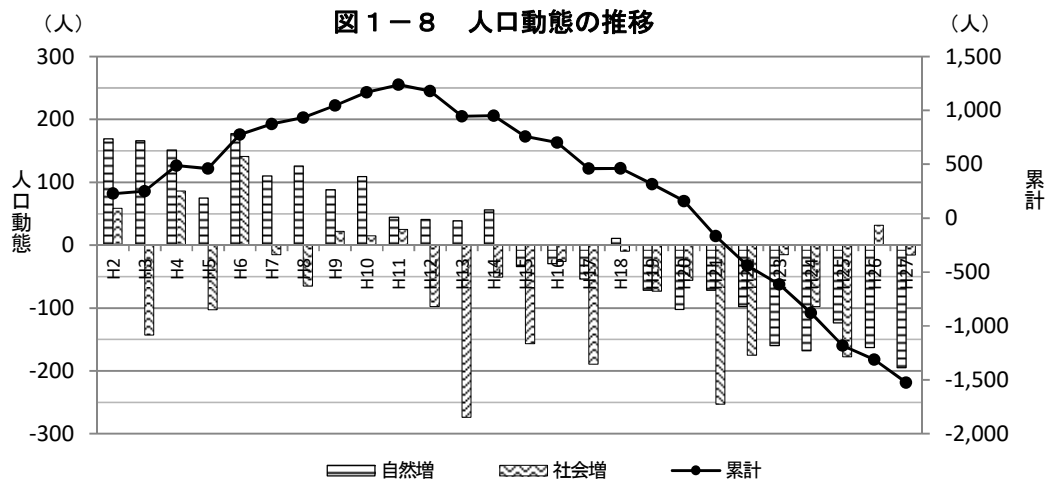
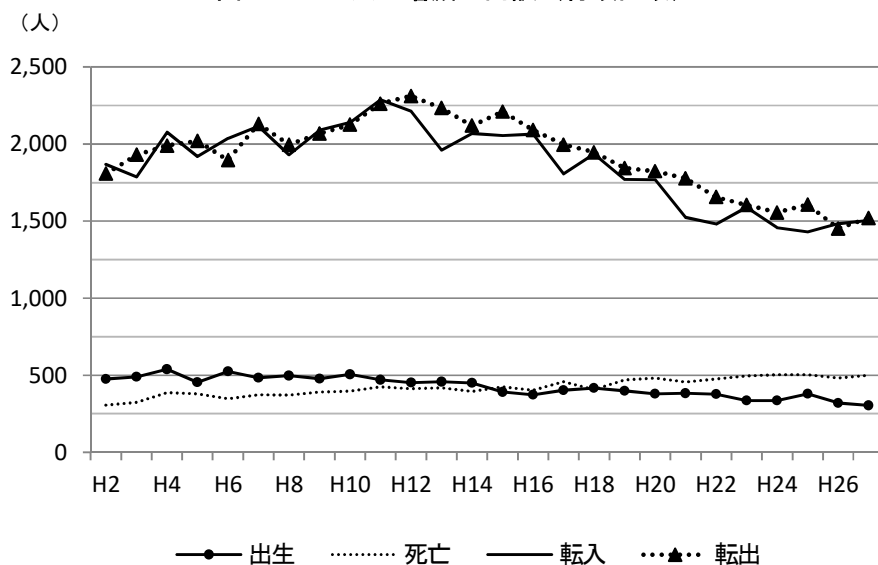


図 1－9 人口増減の内訳（行政区）



C0105 通勤通学

1) 通勤

通勤者の動きを平成 2 年から平成 22 年でみると、常住地、従業地ともに平成 7 年までは増加傾向であったが、平成 12 年では減少に転じた。平成 22 年における常住比率は 96.4%と 3.6%の流出超過である。

流出先の内訳は、平成 2 年より佐久市が最も多く、平成 2 年から平成 12 年までは御代田町が第 2 位であったが、平成 17 年以降軽井沢町が第 2 位となっている。流入先市町村では、同様に佐久市が最も多く、次いで東御市、上田市、御代田町であったが、平成 17 年では御代田町と上田市の順位が入れ替わった。

表 1－7 流出・流入別人口推移（通勤）

	常住地による 就業者数	流 出		従業地による 就業者数	流 入		従/常 就業者比率
		就業者数	流出率		就業者数	流入率	
	(人)	(人)	(%)	(人)	(人)	(%)	(%)
平成2年	23,665	5,899	24.9	24,303	6,537	26.9	102.7
平成7年	24,469	6,966	28.5	24,709	7,206	29.2	101.0
平成12年	23,874	8,013	33.6	23,380	7,519	32.2	97.9
平成17年	22,571	8,234	36.5	21,620	7,283	33.7	95.8
平成22年	20,266	8,474	41.8	19,528	7,536	38.6	96.4

資料：国勢調査

表 1－8 市町村別流出・流入先人口（通勤）

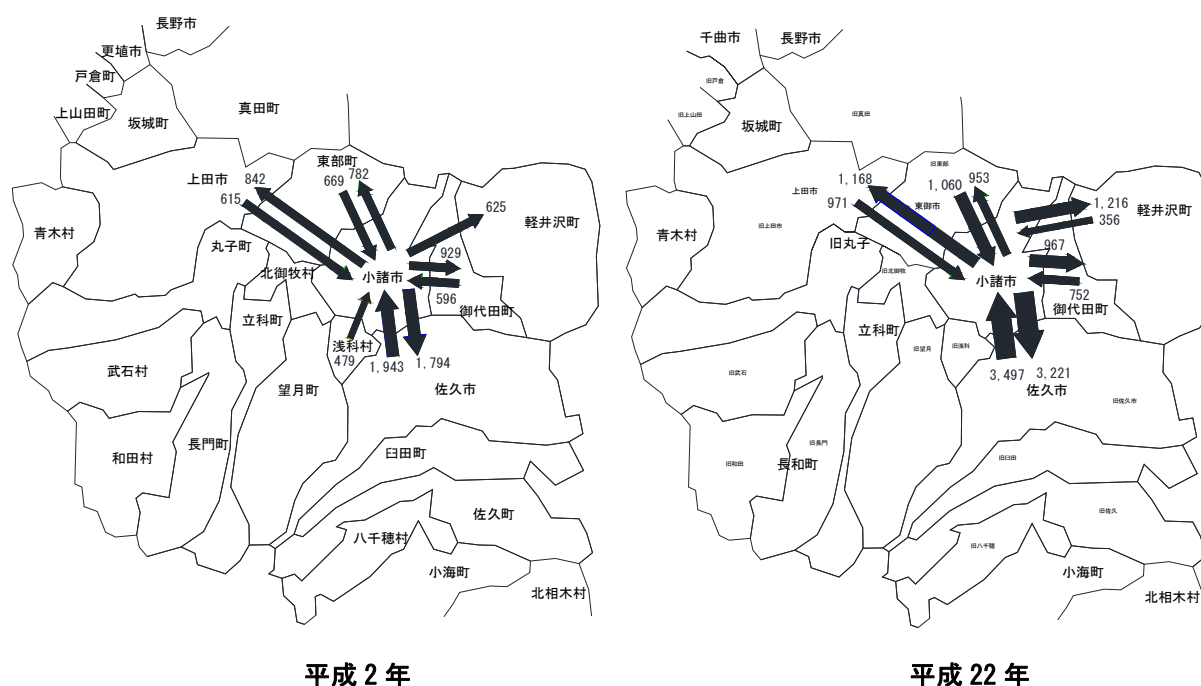
	流 出 先								
	流出率第 1 位			第 2 位			第 3 位		
	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率
		(人)	(%)		(人)	(%)		(人)	(%)
平成2年	佐久市	1,794	7.6	御代田町	929	3.9	上田市	842	3.6
平成7年	佐久市	2,125	8.7	御代田町	1,085	4.4	上田市	941	3.8
平成12年	佐久市	2,627	11.0	御代田町	1,092	4.6	上田市	978	4.1
平成17年	佐久市	3,168	14.0	軽井沢町	1,160	5.1	御代田町	1,005	4.5
平成22年	佐久市	3,221	15.9	軽井沢町	1,216	6.0	上田市	1,168	5.8
	流 出 先								
	流出率第 4 位			第 5 位					
	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率			
		(人)	(%)		(人)	(%)			
平成2年	東部町	782	3.3	軽井沢町	625	2.6			
平成7年	東部町	811	3.3	軽井沢町	800	3.3			
平成12年	軽井沢町	926	3.9	東部町	833	3.5			
平成17年	上田市	940	4.2	東御市	917	4.1			
平成22年	御代田町	967	4.8	東御市	953	4.7			

	流 入 先								
	流出率第 1 位			第 2 位			第 3 位		
	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率
		(人)	(%)		(人)	(%)		(人)	(%)
平成2年	佐久市	1,943	8.0	東部町	669	2.8	上田市	615	2.5
平成7年	佐久市	2,124	8.6	東部町	862	3.5	上田市	763	3.1
平成12年	佐久市	2,245	9.6	東部町	908	3.9	上田市	750	3.2
平成17年	佐久市	3,283	15.2	東御市	1,065	4.9	御代田町	714	3.3
平成22年	佐久市	3,497	17.9	東御市	1,060	5.4	上田市	971	5.0
	流 入 先								
	流出率第 4 位			第 5 位					
	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率			
		(人)	(%)		(人)	(%)			
平成2年	御代田町	596	2.5	浅科村	479	2.0			
平成7年	御代田町	689	2.8	浅科村	409	1.7			
平成12年	御代田町	726	3.1	浅科村	423	1.8			
平成17年	上田市	681	3.1	軽井沢町	363	1.7			
平成22年	御代田町	752	3.9	軽井沢町	356	1.8			

資料：国勢調査

- 注 1) 常住地による就業者数とは、当該都市に常住する（夜間人口ベース）就業者数を言う。
 従業地による就業者数とは、当該都市に従業する（昼間人口ベース）就業者数を言う。
 2) 流出率＝流出就業者数／常住地による就業者数×100
 流入率＝流入就業者数／従業地による就業者数×100
 3) (従／常) 就業者比率＝従業地による就業者数／常住地による就業者数×100

図 1-10 流入・流出人口（通勤）



2) 通学

通学者の動きを平成 2 年から平成 22 年でみると、常住地、通学地ともに平成 17 年までは減少傾向であったが、平成 22 年では通学地による就学者数が僅かではあるが増加に転じた。

平成 22 年における常住比率は 82.5%と 17.5%の流出超過である。

流出先の内訳は、佐久市が最も多く、平成 2 年では軽井沢町が第 2 位、上田市が第 3 位であったが、平成 7 年に入れ替わり、平成 12 年以降では上田市が第 2 位、長野市が第 3 位となっている。流入先市町村では、同様に佐久市が最も多く、平成 2 年から平成 12 年までは御代田町が第 2 位、軽井沢町が第 3 位であったが、平成 17 年以降は東御市が第 2 位、御代田町が第 3 位となっている。

表 1-9 流出・流入別人口推移（通学）

	常住地による 就学者数	流 出		通学地による 就学者数	流 入		従/常 就学者比率
		通学者数	流出率		就学者数	流入率	
	(人)	(人)	(%)	(人)	(人)	(%)	(%)
平成2年	2,550	1,270	49.8	2,164	884	40.9	84.9
平成7年	2,508	1,222	48.7	2,093	807	38.6	83.5
平成12年	2,331	1,309	56.2	1,831	809	44.2	78.5
平成17年	2,206	1,306	59.2	1,704	804	47.2	77.2
平成22年	2,136	1,247	58.4	1,763	847	48.0	82.5

資料：国勢調査

表 1-10 市町村別流出・流入先人口（通学）

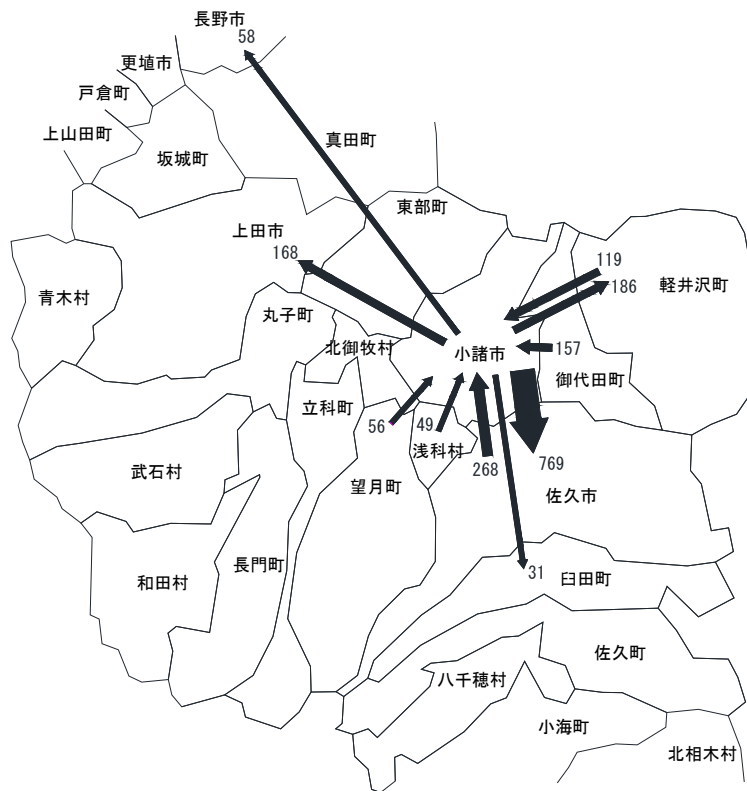
	流 出 先								
	流出率第 1 位			第 2 位			第 3 位		
	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率
		(人)	(%)		(人)	(%)		(人)	(%)
平成2年	佐久市	769	30.2	軽井沢町	186	7.3	上田市	168	6.6
平成7年	佐久市	690	27.5	上田市	167	6.7	軽井沢町	135	5.4
平成12年	佐久市	659	28.3	上田市	217	9.3	長野市	160	6.9
平成17年	佐久市	533	24.2	上田市	317	14.4	長野市	139	6.3
平成22年	佐久市	522	24.4	上田市	327	15.3	長野市	132	6.2
	流 出 先								
	流出率第 4 位			第 5 位					
	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率			
		(人)	(%)		(人)	(%)			
平成2年	長野市	58	2.3	臼田町	31	1.2			
平成7年	長野市	109	4.3	望月町	49	2.0			
平成12年	軽井沢町	93	4.0	臼田町	51	2.2			
平成17年	軽井沢町	82	3.7	東御市	22	1.0			
平成22年	軽井沢町	64	3.0	東御市	45	2.1			

	流 入 先								
	流出率第 1 位			第 2 位			第 3 位		
	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率
		(人)	(%)		(人)	(%)		(人)	(%)
平成2年	佐久市	268	12.4	御代田町	157	7.3	軽井沢町	119	5.5
平成7年	佐久市	201	9.6	御代田町	162	7.7	軽井沢町	96	4.6
平成12年	佐久市	158	8.6	御代田町	121	6.6	軽井沢町	120	6.6
平成17年	佐久市	254	14.9	東御市	120	7.0	御代田町	95	5.6
平成22年	佐久市	309	17.5	東御市	128	7.3	御代田町	119	6.7
	流 入 先								
	流出率第 4 位			第 5 位					
	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率			
		(人)	(%)		(人)	(%)			
平成2年	望月町	56	2.6	浅科村	49	2.3			
平成7年	浅科村	57	2.7	望月町	47	2.2			
平成12年	望月町	59	3.2	浅科村	51	2.8			
平成17年	軽井沢町	89	5.2	上田市	43	2.5			
平成22年	軽井沢町	87	4.9	上田市	64	3.6			

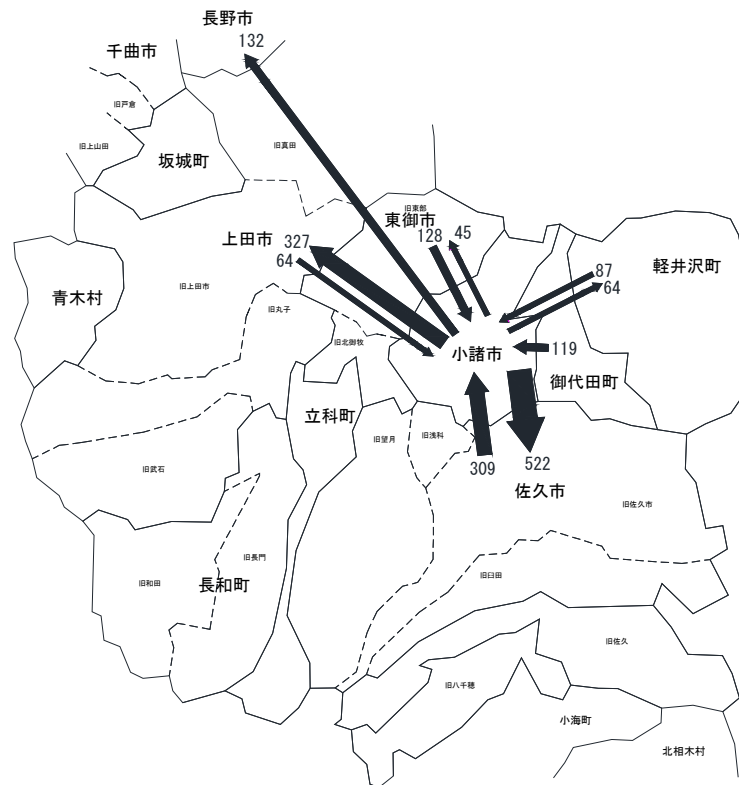
資料：国勢調査

- 注 1) 常住地による就業者数とは、当該都市に常住する（夜間人口ベース）就業者数を言う。
 従業地による就業者数とは、当該都市に従業する（昼間人口ベース）就業者数を言う。
 2) 流出率＝流出就業者数／常住地による就業者数×100
 流入率＝流入就業者数／従業地による就業者数×100
 3) (従／常) 就業者比率＝従業地による就業者数／常住地による就業者数×100

图 1-11 流入・流出口（通学）



平成 2 年



平成 22 年

②産 業

C0201 産業・職業大分類別就業者数

C0201-1 産業大分類別就業者数

常住地による産業大分類別人口について、平成2年と平成22年を比較すると第1次産業人口は3,520人（14.9%）が1,800人（8.9%）と減少傾向にある。第2次産業人口においては、9,100人（38.4%）が6,167人（30.4%）とやや減少傾向にある。第3次産業人口（分類不能の産業を除く）は、11,032人（46.6%）から12,006人（59.3%）と増加傾向にあり、全体の6割ちかくを占めている。

表 2－1 産業大分類別人口推移

産 業 大 分 類	平成2年		平成7年		平成12年	
	就業者数 (人)	構成比 (%)	就業者数 (人)	構成比 (%)	就業者数 (人)	構成比 (%)
A. 農業	3,492	14.8	3,110	12.7	2,489	10.4
B. 林業、狩猟業	28	0.1	19	0.1	30	0.1
C. 漁業、水産養殖業	－	－	1	0.0	1	0.0
第1次産業合計	3,520	14.9	3,130	12.8	2,520	10.5
D. 鉱業	10	0.0	11	0.0	9	0.0
E. 建設業	2,352	9.9	2,948	12.0	2,672	11.2
F. 製造業	6,738	28.5	6,303	25.8	6,184	25.9
第2次産業合計	9,100	38.4	9,262	37.8	8,865	37.1
G. 電気・ガス・熱供給・水道業	213	0.9	252	1.0	215	0.9
H. 運輸・通信業	970	4.1	1,055	4.3	996	4.2
I. 卸売業・小売業・飲食店	4,187	17.7	4,463	18.2	4,543	19.0
J. 金融・保険業	470	2.0	508	2.1	402	1.7
K. 不動産業	138	0.6	145	0.6	126	0.5
L. サービス業	4,536	19.1	5,144	21.1	5,646	23.8
M. 公務	518	2.2	502	2.1	536	2.2
第3次産業合計	11,032	46.6	12,069	49.4	12,464	52.3
N. 分類不能の産業	13	0.1	8	0.0	25	0.1
合 計	23,665	100.0	24,469	100.0	23,874	100.0

産 業 大 分 類	平成 1 7 年	
	就業者数 (人)	構成比 (%)
A. 農業	2,666	11.8
B. 林業	18	0.1
C. 漁業	－	－
第 1 次産業合計	2,684	11.9
D. 鉱業	－	－
E. 建設業	2,199	9.7
F. 製造業	5,050	22.4
第 2 次産業合計	7,249	32.1
G. 電気・ガス・熱供給・水道業	144	0.6
H. 情報通信業	205	0.9
I. 運輸業	759	3.4
J. 卸売・小売業	3,584	15.9
K. 金融・保険業	344	1.5
L. 不動産業	152	0.7
M. 飲食店・宿泊業	1,397	6.2
N. 医療、福祉	1,774	7.9
O. 教育、学習支援業	756	3.3
P. 複合サービス事業	338	1.5
Q. サービス業	2,583	11.4
R. 公務	545	2.4
第 3 次産業合計	12,581	55.7
S. 分類不能の産業	57	0.3
合 計	22,571	100.0

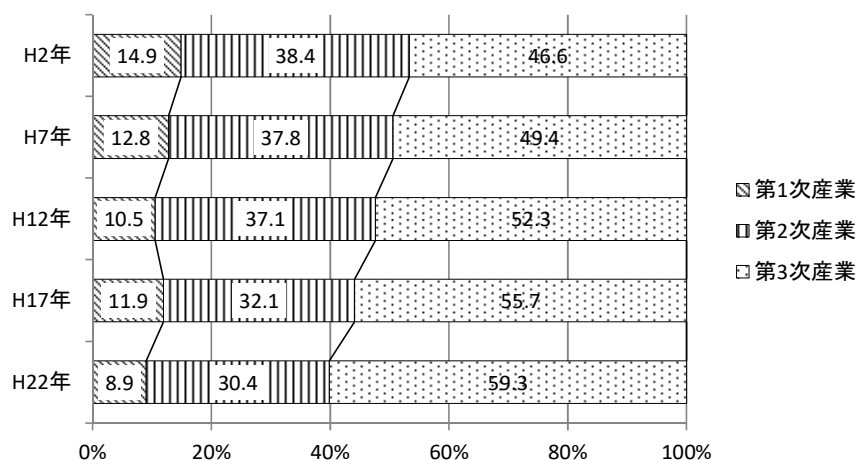
産 業 大 分 類	平成 2 2 年	
	就業者数 (人)	構成比 (%)
A. 農業、林業	1,800	8.9
B. 漁業	－	－
第 1 次産業合計	1,800	8.9
C. 鉱業、採石業、砂利採取業	1	0.0
D. 建設業	1,667	8.2
E. 製造業	4,499	22.2
第 2 次産業合計	6,167	30.4
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	115	0.6
G. 情報通信業	169	0.8
H. 運輸業・郵便業	749	3.7
I. 卸売業・小売業	3,137	15.5
J. 金融業・保険業	303	1.5
K. 不動産業、物品賃貸業	205	1.0
L. 学術研究、専門・技術サービス業	402	2.0
M. 宿泊業・飲食サービス業	1,499	7.4
N. 生活関連サービス業、娯楽業	916	4.5
O. 教育、学習支援業	724	3.6
P. 医療、福祉	2,030	10.0
Q. 複合サービス事業	216	1.1
R. サービス業	1,014	5.0
S. 公務	527	2.6
第 3 次産業合計	12,006	59.3
T. 分類不能の産業	293	1.4
合 計	20,266	100.0

注 1) 「－」は該当なし

注 2) 平成 22 年の項目名は平成 19 年の分類改訂後のものを適用しているため、平成 17 年以前のものとは合致しない

資料：国勢調査

図 2－1 常住地による産業 3 区分別人口推移



産業3区分別人口推計

産業3区分別人口推計によると平成17年以降全体的に減少傾向が続いている。
今後も、どの産業も緩やかな減少傾向にあることが推測される。（参考資料－2 参照）

表2-2 産業3区分別人口推計

単位：人

	小諸市就業人口	第1次産業就業人口	第2次産業就業人口	第3次産業就業人口
昭和60年	22,664	4,253	8,311	10,074
平成2年	23,665	3,483	9,039	10,960
平成7年	24,469	3,130	9,262	12,069
平成12年	23,874	2,520	8,865	12,464
平成17年	22,571	2,684	7,249	12,581
平成22年	20,266	1,800	6,167	12,006
平成27年	20,592	1,807	5,867	12,919
平成32年	19,501	1,603	5,367	12,531
平成37年	18,390	1,410	5,029	11,952
平成42年	17,217	1,224	4,678	11,315

資料：国勢調査

図2-2 産業3区分別人口推計

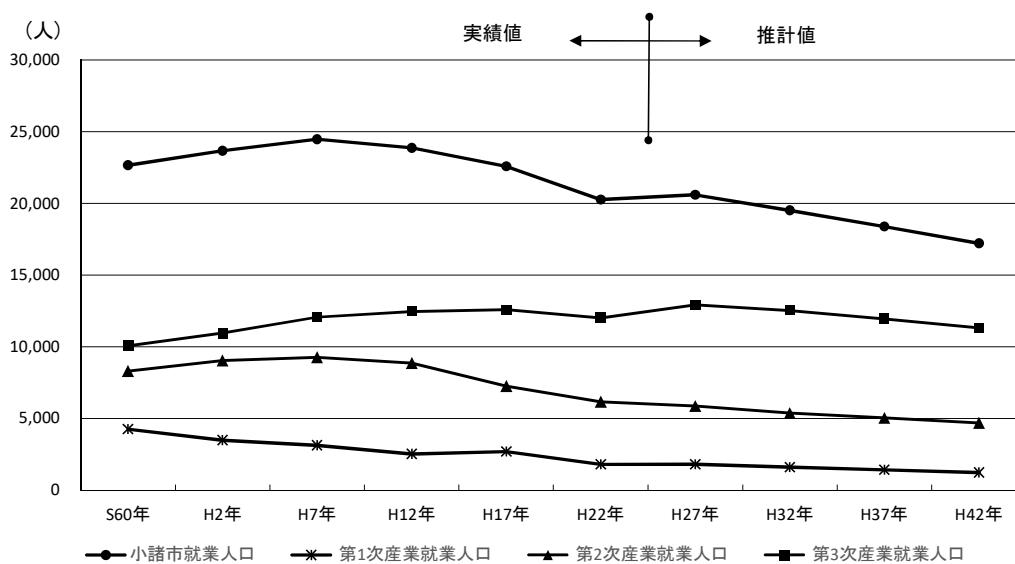
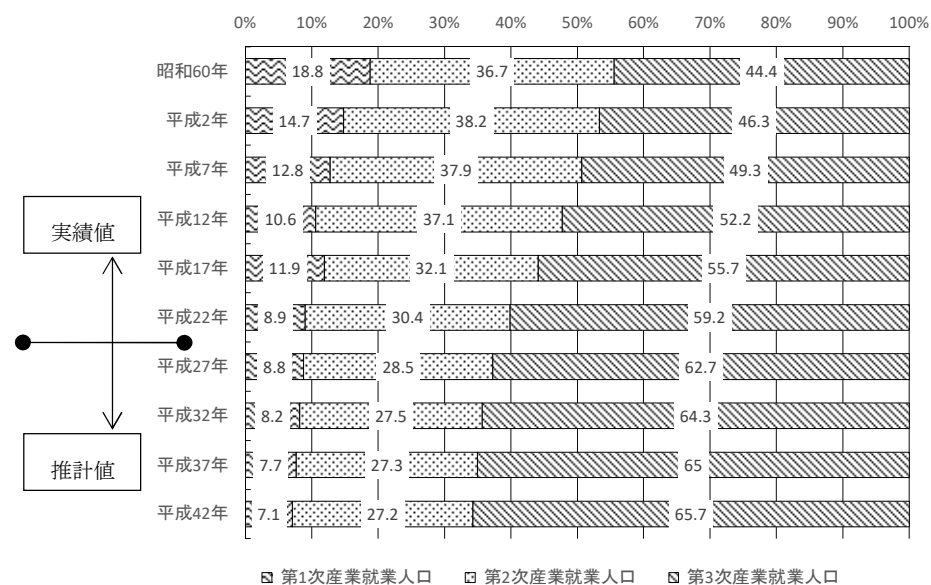


図2-3 産業3区分別人口推計構成比



C0201-2 職業大分類別就業者数

平成 22 年の職業大分類別人口をみると、常住地では生産工程従事者、事務従事者、サービス職業従事者、従業地では生産工程従事者、事務従事者、専門的・技術的職業従事者が上位 3 位を構成している。常住地による就業者数は生産工程従事者が最も多く 18.9%、就業地による就業者数もまた生産工程従事者が 20.9%と最も多くなっている。

表 2－3 職業大分類別就業人口推移

職 業 大 分 類	平成 2 年		平成 7 年	
	就業者数 (人)	構成比 (%)	就業者数 (人)	構成比 (%)
A 専門的・技術的職業従事者	2,144	9.1	2,417	9.9
B 管理的職業従事者	767	3.2	831	3.4
C 事務従事者	3,478	14.7	3,743	15.3
D 販売従事者	2,543	10.7	2,773	11.3
E サービス職業従事者	1,646	7.0	1,885	7.7
F 保安職業従事者	146	0.6	121	0.5
G 農林漁業作業者	3,514	14.8	3,150	12.9
H 運輸・通信従事者	704	3.0	777	3.2
I 技能工、採掘・製造・建設 作業者及び労務作業者	8,708	36.8	8,764	35.8
J 分類不能の職業	15	0.1	8	0.0
合 計	23,665	100.0	24,469	100.0

職 業 大 分 類	平成 1 2 年		平成 1 7 年	
	就業者数 (人)	構成比 (%)	就業者数 (人)	構成比 (%)
A 専門的・技術的職業従事者	2,419	10.1	2,442	10.8
B 管理的職業従事者	655	2.7	493	2.2
C 事務従事者	3,598	15.1	3,317	14.7
D 販売従事者	2,834	11.9	2,735	12.1
E サービス職業従事者	2,131	8.9	2,348	10.4
F 保安職業従事者	161	0.7	175	0.8
G 農林漁業作業者	2,503	10.5	2,694	11.9
H 運輸・通信従事者	755	3.2	633	2.8
I 生産工程・労務作業者	8,789	36.8	7,679	34.1
J 分類不能の職業	29	0.1	55	0.2
合 計	23,874	100.0	22,571	100.0

職 業 大 分 類	平成 2 2 年 常住地		平成 2 2 年 従業地	
	就業者数 (人)	構成比 (%)	就業者数 (人)	構成比 (%)
A 管理的職業従事者	476	2.3	476	2.4
B 専門的・技術的職業従事者	2,427	12.0	2,639	13.5
C 事務従事者	3,099	15.3	2,950	15.1
D 販売従事者	2,356	11.6	1,937	9.9
E サービス職業従事者	2,696	13.3	2,256	11.6
F 保安職業従事者	192	0.9	176	0.9
G 農林漁業従事者	1,795	8.9	1,745	8.9
H 生産工程従事者	3,819	18.9	4,071	20.9
I 輸送・機械運転従事者	628	3.1	741	3.8
J 建設・採掘従事者	1,103	5.4	958	4.9
K 運搬・清掃・包装等従事者	1,392	6.9	1,290	6.6
L 分類不能の職業	283	1.4	289	1.5
合 計	20,266	100.0	19,528	100.0

資料：国勢調査

注 1) 平成 22 年の項目名は平成 19 年の分類改訂後のものを適用しているため、平成 17 年以前のものと合致しない

図 2－4 常住地による職業大分類別人口構成比（平成 22 年）

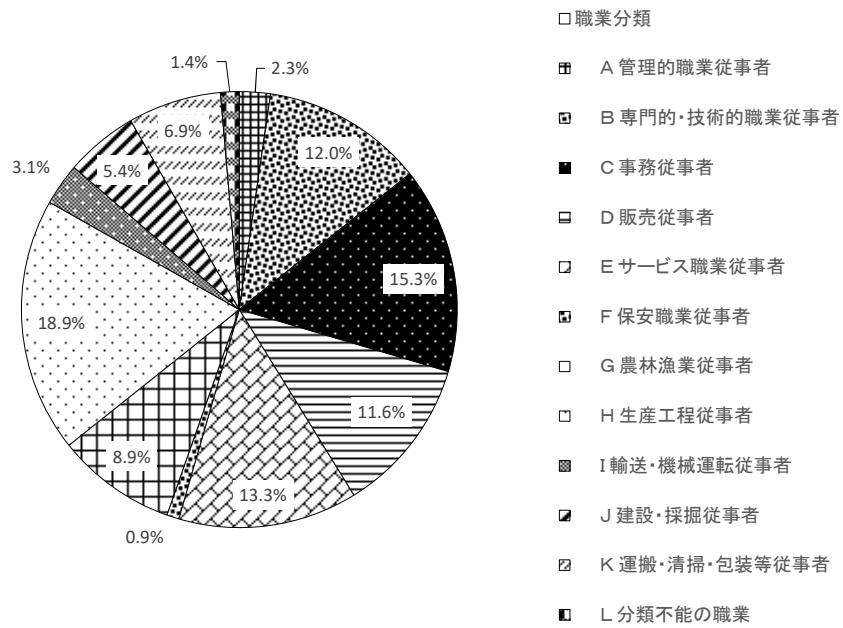
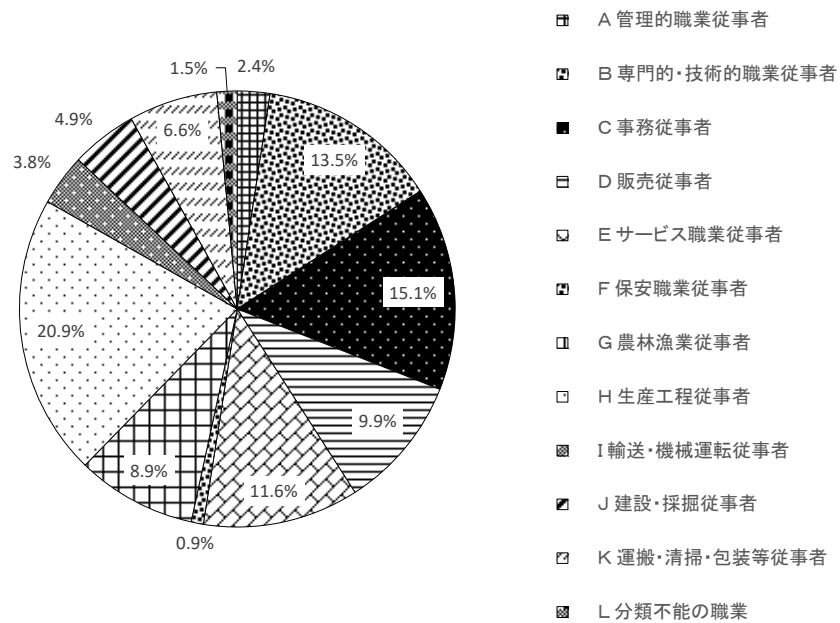


図 2－5 従業地による職業大分類別人口構成比（平成 22 年）



C0202 事業所数・従業者数・売上金額

C0202-1 事業所数・従業者数・売上金額

平成 26 年における事業所数（民営事業所のみ）は 2,131 事業所であり、そのうち卸売業・小売業が 456 事業所（21.4%）、宿泊業・飲食サービス業 318 事業所（14.9%）、建設業 254 事業所（11.9%）が上位を占めている。売上金額については製造業が 888 億円、卸売業・小売業が 805 億円、医療・福祉が 174 億円となっている。

平成 8 年から平成 26 年までの事業所数と従業者数（全事業所）の推移をみると、事業所数は平成 8 年から平成 16 年にかけて僅かずつではあるが、減少・増加を繰り返したのち、平成 21 年までは変化がない。平成 24 年に減少し、平成 26 年では増加傾向にある。従業者数もまた平成 8 年から平成 16 年にかけて減少・増加を繰り返したのち、平成 18 年、平成 21 年では増加傾向にあったが、平成 24 年には大きく減少し、平成 26 年には増加傾向に転じている。

表 2－4 産業大分類別事業所数・従業者数推移および売上金額

産 業 大 分 類	平成 8 年	
	事業所数	従業員数 (人)
A. B. C. 農林漁業	10	130
D. 鉱業	2	17
E. 建設業	427	2,451
F. 製造業	342	5,693
G. 電気・ガス・熱供給・水道業	8	283
H. 情報通信業	18	170
I. 運輸業	56	945
J. 卸売・小売業	712	4,846
K. 金融・保険業	54	597
L. 不動産業	108	241
M. 飲食店・宿泊業	422	1,670
N. 医療・福祉	92	1,619
O. 教育・学習支援業	68	909
P. 複合サービス事業	30	407
Q. サービス業 (他に分類されないもの)	418	2,222
R. 公務 (他に分類されないもの)	12	390
合 計	2,779	22,590

産 業 大 分 類	平成 11 年	
	事業所数	従業員数 (人)
A. B. C. 農林漁業	7	48
D. 鉱業	-	-
E. 建設業	394	2,118
F. 製造業	298	5,370
G. 電気・ガス・熱供給・水道業	4	233
H. 運輸・通信業	71	1,036
I. 卸売・小売業、飲食店	1,007	5,606
J. 金融・保険業	53	521
K. 不動産業	109	206
L. サービス業	582	4,278
合 計	2,525	19,416

産 業 大 分 類	平成 1 3 年	
	事業所数	従業員数 (人)
A. B. C. 農林漁業	10	78
D. 鉱業	-	-
E. 建設業	388	1,979
F. 製造業	287	5,229
G. 電気・ガス・熱供給・水道業	9	232
H. 運輸・通信業	79	1,000
J. 卸売・小売業・飲食店	958	5,517
K. 金融・保険業	50	462
L. 不動産業	98	203
M. サービス業	665	5,698
R. 公務 (他に分類されないもの)	12	395
合 計	2,556	20,793

産 業 大 分 類	平成 1 6 年	
	事業所数	従業員数 (人)
A. B. C. 農林漁業	7	85
D. 鉱業	-	-
E. 建設業	347	1,693
F. 製造業	276	5,114
G. 電気・ガス・熱供給・水道業	3	155
H. 情報通信業	17	82
I. 運輸業	42	637
J. 卸売・小売業	556	3,736
K. 金融・保険業	41	372
L. 不動産業	96	173
M. 飲食店・宿泊業	339	1,344
N. 医療・福祉	84	1,559
O. 教育・学習支援業	50	283
P. 複合サービス事業	18	146
Q. サービス業 (他に分類されないもの)	404	2,005
合 計	2,280	17,384

産 業 大 分 類	平成 1 8 年	
	事業所数	従業員数 (人)
A. B. 農林漁業	11	87
C. 鉱業, 採石業, 砂利採取業	-	-
D. 建設業	322	1,527
E. 製造業	267	4,773
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	7	164
G. 情報通信業	16	74
H. 運輸業, 郵便業	44	831
I. 卸売業, 小売業	527	3,674
J. 金融業, 保険業	37	358
K. 不動産業, 物品賃貸業	105	204
L. 学術研究, 専門・技術サービス業	82	295
M. 宿泊業, 飲食サービス業	365	1,471
N. 生活関連サービス業、娯楽業	170	857
O. 教育・学習支援業	66	888
P. 医療・福祉	108	2,187
Q. 複合サービス事業	22	276
R. サービス業 (他に分類されないもの)	147	993
S. 公務 (他に分類されないもの)	12	389
合 計	2,308	19,048

産 業 大 分 類	平成 2 1 年	
	事業所数	従業員数 (人)
A. B. 農林漁業	17	158
C. 鉱業, 採石業, 砂利採取業	2	7
D. 建設業	299	1,380
E. 製造業	248	4,737
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	9	265
G. 情報通信業	19	100
H. 運輸業, 郵便業	42	987
I. 卸売業, 小売業	517	3,948
J. 金融業, 保険業	38	382
K. 不動産業, 物品賃貸業	125	287
L. 学術研究, 専門・技術サービス業	93	340
M. 宿泊業, 飲食サービス業	346	1,775
N. 生活関連サービス業、娯楽業	176	1,008
O. 教育・学習支援業	65	965
P. 医療・福祉	125	2,398
Q. 複合サービス事業	20	150
R. サービス業 (他に分類されないもの)	145	1,162
S. 公務 (他に分類されるものを除く)	13	804
合 計	2,299	20,853

産業大分類	平成24年		
	事業所数	従業員数 (人)	売上金額 (百万円)
A. B. 農林漁業	15	121	803
C. 鉱業、採石業、砂利採取業	2	7 X	
D. 建設業	269	1,249	...
E. 製造業	227	4,338	107,409
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	5	153	...
G. 情報通信業	21	126	...
H. 運輸業、郵便業	42	916	...
I. 卸売業、小売業	464	3,587	78,961
J. 金融業、保険業	35	357	...
K. 不動産業、物品賃貸業	108	226	1,695
L. 学術研究、専門・技術サービス業	86	319	2,500
M. 宿泊業、飲食サービス	317	1,662	5,928
N. 生活関連サービス業、娯楽業	168	776	17,523
O. 教育・学習支援業	42	275	...
P. 医療・福祉	112	2,189	14,343
Q. 複合サービス事業	18	144	...
R. サービス業 (他に分類されないもの)	133	1,118	...
S. 公務（他に分類されるものを除く）	0	0	
合 計	2,064	17,563	229,162

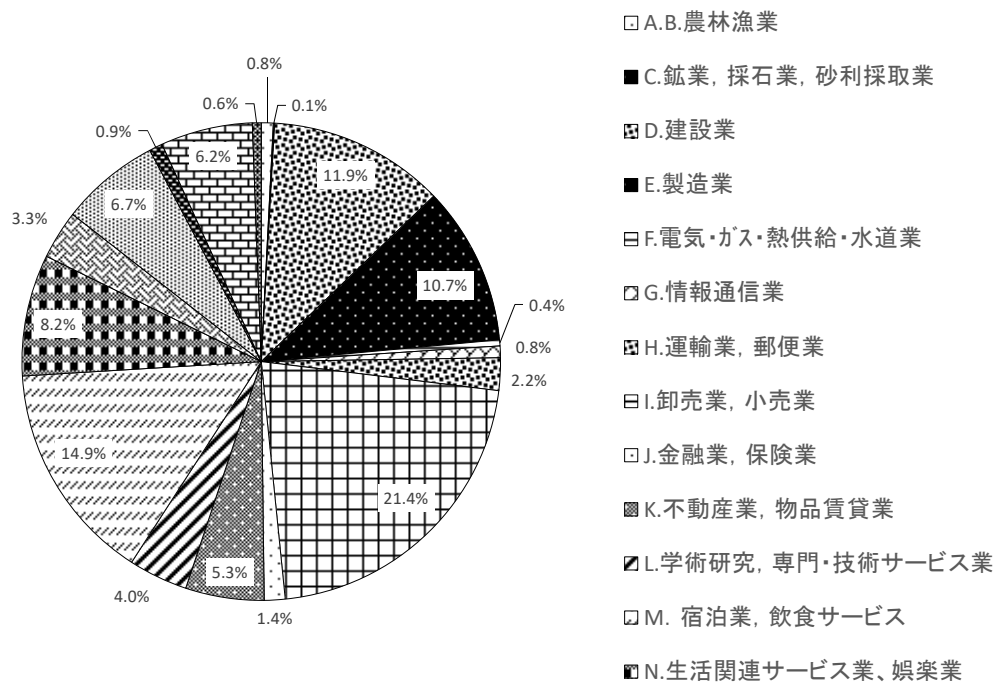
産業大分類	平成26年		
	事業所数	従業員数 (人)	売上金額 (百万円)
A. B. 農林漁業	18	193	1,075
C. 鉱業、採石業、砂利採取業	2	7 x	
D. 建設業	254	1,201	...
E. 製造業	229	3,901	88,810
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	9	197	...
G. 情報通信業	18	109	...
H. 運輸業、郵便業	47	862	...
I. 卸売業、小売業	456	3,790	80,515
J. 金融業、保険業	30	336	...
K. 不動産業、物品賃貸業	113	234	2,276
L. 学術研究、専門・技術サービス業	86	327	1,967
M. 宿泊業、飲食サービス	318	1,766	5,780
N. 生活関連サービス業、娯楽業	174	777	14,659
O. 教育・学習支援業	70	982	...
P. 医療・福祉	143	2,577	17,389
Q. 複合サービス事業	19	219	...
R. サービス業 (他に分類されないもの)	132	1,163	...
S. 公務（他に分類されるものを除く）	13	924	
合 計	2,131	19,565	212,471

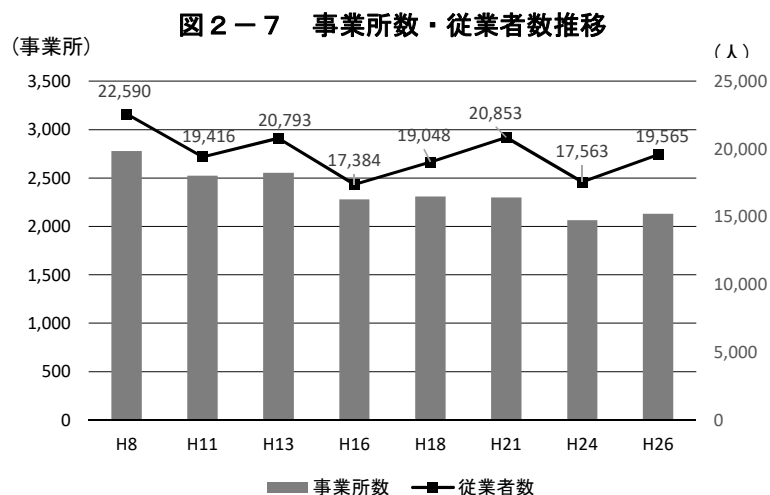
*該当数字がないもの及び分母が0のため計算ができないものなどは「-」または「…」とする。

*「X」は統計法により公表できない数値（総数には含まれている）。

資料：事業所・企業統計調査、経済センサス-基礎調査・活動調査

図2-6 産業大分類別事業所数構成比（平成26年）





C0202-2 産業中分類別工業出荷額

平成 2 年から平成 26 年までの工業出荷額推移をみると、平成 2 年から平成 20 年までは 1,200 億円から 1,800 億円の間で増減を繰り返しながら推移してきたが、平成 21 年以降、減少傾向が続き平成 24 年には 1,000 億円を割り込んだ。平成 25 年以降、回復傾向にある。

平成 26 年の工業出荷額を中分類別に構成比でみると、電子部品・デバイス・電子回路製造業が 47.8%、次いで生産用機械器具類製造業が 18.9%でこの 2 業種が全産業の 7 割近くを占めている。

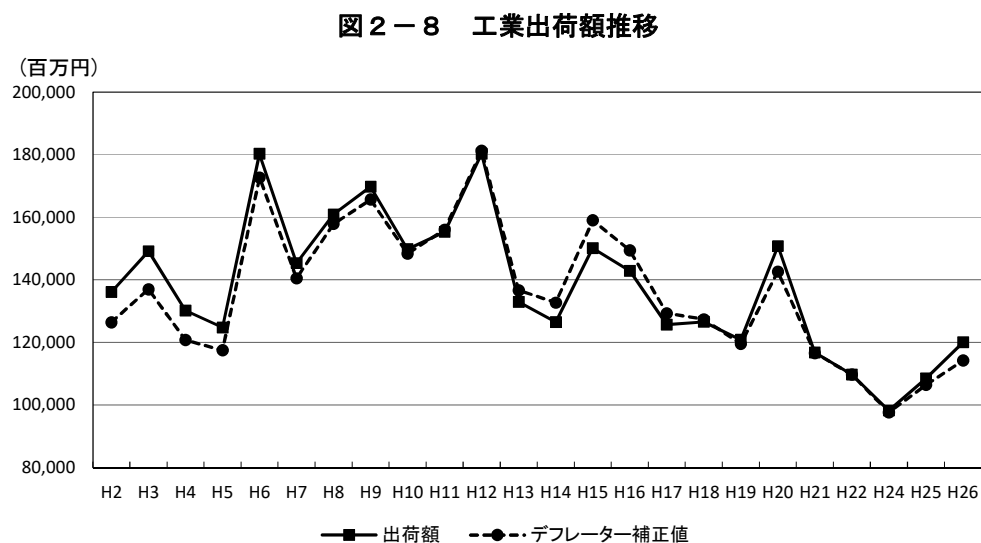


図 2-9 産業中分類別工業出荷額構成比（平成 26 年）

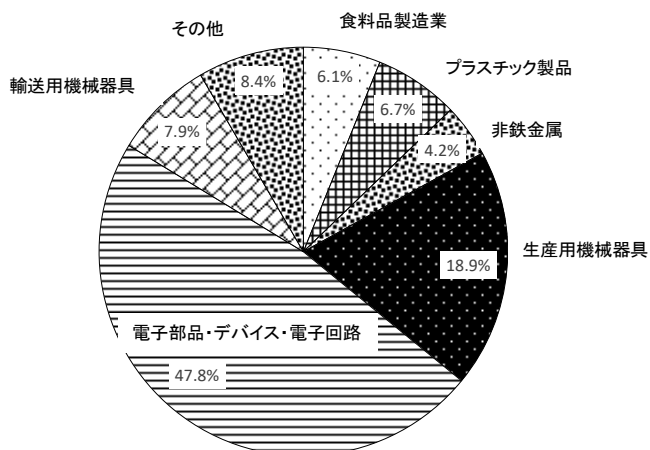


表２－５ 産業中分類別工業出荷額推移

(百万円)

産 業 中 分 類	平成 2 年		平成 3 年		平成 4 年		平成 5 年		平成 6 年	
	出荷額	デフレーション補正値	出荷額	デフレーション補正値	出荷額	デフレーション補正値	出荷額	デフレーション補正値	出荷額	デフレーション補正値
合 計	136,147	126,413	149,170	136,979	130,158	120,740	124,765	117,481	180,249	172,652
18.食料品（製造業）	9,530	8,849	9,637	8,849	7,315	6,786	7,437	7,003	6,757	6,472
20.繊維（工業）	103	96	84	77	x	-	x	-	14	13
21.衣服その他の繊維製品	446	414	481	442	453	420	159	150	154	148
22.木材・木製品	1,939	1,800	1,895	1,740	1,310	1,215	1,259	1,185	1,300	1,245
23.家具・装飾品	788	732	799	734	446	414	411	387	387	371
24.パルプ・紙・紙加工品	318	295	482	443	518	481	516	486	314	301
25.出版・印刷・同関連	555	515	500	459	585	543	395	372	490	469
26.化学	x	-	x	-	x	-	x	-	x	-
27.石油製品・石炭製品	x	-	x	-	x	-	x	-	6,096	5,839
28.ゴム製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
29.なめし皮・同製品・毛皮	17	16	48	44	x	-	x	-	15	14
30.窯業・土石製品	3,149	2,924	3,759	3,452	4,437	4,116	4,820	4,539	1,598	1,531
31.鉄鋼	207	192	173	159	136	126	129	121	353	338
32.非鉄金属	2,785	2,586	2,559	2,350	2,594	2,406	2,204	2,075	2,900	2,778
33.金属製品	1,712	1,590	2,159	1,983	1,853	1,719	1,896	1,785	1,468	1,406
34.一般機械器具	16,057	14,909	18,843	17,303	17,302	16,050	16,418	15,460	17,948	17,192
35.電気機械器具	69,106	64,165	77,976	71,603	65,392	60,660	63,818	60,092	120,057	114,997
36.輸送用機械器具	18,284	16,977	17,533	16,100	15,970	14,814	14,719	13,860	16,595	15,896
37.精密機械器具	853	792	1,132	1,039	2,025	1,878	847	798	1,108	1,061
38.武器	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
39.その他の製造業	1,438	1,335	1,564	1,436	1,413	1,311	998	940	56	54

産 業 中 分 類	平成 7 年		平成 8 年		平成 9 年		平成 10 年		平成 11 年	
	出荷額	デフレーション補正値	出荷額	デフレーション補正値	出荷額	デフレーション補正値	出荷額	デフレーション補正値	出荷額	デフレーション補正値
合 計	145,363	140,447	160,877	157,877	169,747	165,607	149,824	148,341	155,236	156,016
18.食料品（製造業）	6,874	6,642	8,000	7,851	8,297	8,095	8,761	8,674	6,631	6,664
20.繊維（工業）	x	-	19	19	19	19	22	22	14	14
21.衣服その他の繊維製品	160	155	170	167	170	166	x	-	147	148
22.木材・木製品	1,297	1,253	2,029	1,991	1,883	1,837	1,548	1,533	1,416	1,423
23.家具・装飾品	382	369	544	534	510	498	479	474	407	409
24.パルプ・紙・紙加工品	525	507	433	425	439	428	354	350	362	364
25.出版・印刷・同関連	386	373	5,557	5,453	555	541	538	533	530	533
26.化学	x	-	x	-	x	-	2,070	2,050	x	-
27.石油製品・石炭製品	x	-	5,975	5,864	6,551	6,391	6,171	6,110	5,729	5,758
28.ゴム製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
29.なめし皮・同製品・毛皮	-	-	13	13	10	10	19	19	x	-
30.窯業・土石製品	4,406	4,257	3,555	3,489	2,731	2,664	1,393	1,379	1,469	1,476
31.鉄鋼	110	106	340	334	333	325	383	379	356	358
32.非鉄金属	2,682	2,591	x	-	x	-	2,602	2,576	2,925	2,940
33.金属製品	1,433	1,385	1,652	1,621	1,709	1,667	1,370	1,356	1,339	1,346
34.一般機械器具	16,107	15,562	18,192	17,853	21,119	20,604	23,017	22,789	20,052	20,153
35.電気機械器具	83,660	80,831	95,504	93,723	99,301	96,879	81,022	80,220	92,488	92,953
36.輸送用機械器具	15,903	15,365	16,720	16,408	19,225	18,756	17,431	17,258	16,657	16,741
37.精密機械器具	920	889	1,099	1,079	1,250	1,220	1,084	1,073	1,183	1,189
38.武器	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
39.その他の製造業	859	830	988	970	916	894	804	796	926	931

産 業 中 分 類	平成 12 年	
	出荷額	デフレーション補正値
合 計	180,249	181,155
18.食料品（製造業）	6,757	6,791
20.繊維（工業）	14	14
21.衣服その他の繊維製品	154	155
22.木材・木製品	1,300	1,307
23.家具・装飾品	387	389
24.パルプ・紙・紙加工品	314	316
25.出版・印刷・同関連	490	492
26.化学	x	-
27.石油製品・石炭製品	6,096	6,127
28.ゴム製品	-	-
29.なめし皮・同製品・毛皮	15	15
30.窯業・土石製品	1,598	1,606
31.鉄鋼	353	355
32.非鉄金属	2,900	2,915
33.金属製品	1,468	1,475
34.一般機械器具	17,948	18,038
35.電気機械器具	120,057	120,660
36.輸送用機械器具	16,595	16,678
37.精密機械器具	1,108	1,114
38.武器	-	-
39.その他の製造業	56	56

(百万円)

産業中分類	平成13年		産業中分類	平成14年		平成15年		平成16年	
	出荷額	デフレート補正値		出荷額	デフレート補正値	出荷額	デフレート補正値	出荷額	デフレート補正値
合 計	132,966	136,656	合 計	126,486	132,724	150,107	159,012	142,830	149,404
12. 食料品（製造業）	5,819	5,980	09. 食料品（製造業）	5,836	6,124	5,496	5,822	5,251	5,493
13. 飲料・たばこ・肥料	841	864	10. 飲料・たばこ・肥料	871	914	842	892	708	741
14. 繊維工業	-	-	11. 繊維工業	-	-	-	-	X	X
15. 衣服	X	X	12. 衣服	-	-	-	-	-	-
16. 木材・木製品	949	975	13. 木材・木製品	843	885	806	854	845	884
17. 家具・装備品	205	211	14. 家具・装備品	124	130	125	132	117	122
18. パルプ・紙・紙加工品	X	X	15. パルプ・紙・紙加工品	X	X	X	X	X	X
19. 出版・印刷・同関連	399	410	16. 出版・印刷・同関連	X	X	275	291	248	259
20. 化学	1,916	1,969	17. 化学	1,847	1,938	1,727	1,829	X	X
21. 石油製品・石炭製品	X	X	18. 石油製品・石炭製品	X	X	X	X	X	X
22. プラスチック製品	5,045	5,185	19. プラスチック製品	2,676	2,808	5,369	5,688	6,239	6,526
23. ゴム製品	-	-	20. ゴム製品	-	-	-	-	-	-
24. なめし皮・同製品・毛皮	X	X	21. なめし皮・同製品・毛皮	X	X	-	-	-	-
25. 窯業・土石製品	1,565	1,608	22. 窯業・土石製品	879	922	830	879	583	610
26. 鉄鋼	X	X	23. 鉄鋼	X	X	X	X	X	X
27. 非鉄金属	X	X	24. 非鉄金属	2,525	2,650	2,563	2,715	3,112	3,255
28. 金属製品	929	955	25. 金属製品	922	967	832	881	678	709
29. 一般機械器具	16,736	17,200	26. 一般機械器具	16,266	17,068	17,141	18,158	16,146	16,889
30. 電気機械器具	76,136	78,249	27. 電気機械器具	675	708	740	784	932	975
31. 輸送用機械器具	16,847	17,314	28. 情報通信機械器具	10,821	11,355	15,409	16,323	18,170	19,006
32. 精密機械器具	963	990	29. 電子部品・デバイス	62,038	65,098	79,043	83,732	68,579	71,735
33. 武器	-	-	30. 輸送用機械器具	17,595	18,463	16,576	17,559	17,124	17,912
34. その他の製造業	723	X	31. 精密機械器具	906	951	680	720	737	771
			32. その他の製造業	X	X	680	720	X	X

産業中分類	平成17年		平成18年	
	出荷額	デフレート補正値	出荷額	デフレート補正値
合 計	125,656	129,276	126,533	127,425
09. 食料品（製造業）	5,100	5,247	5,467	5,506
10. 飲料・たばこ・肥料	745	766	701	706
11. 繊維工業	-	-	-	-
12. 衣服	-	-	-	-
13. 木材・木製品	787	810	636	640
14. 家具・装備品	81	83	X	X
15. パルプ・紙・紙加工品	X	X	X	X
16. 出版・印刷・同関連	238	245	239	241
17. 化学	184	189	X	X
18. 石油製品・石炭製品	X	X	X	X
19. プラスチック製品	5,817	5,985	6,579	6,625
20. ゴム製品	-	-	-	-
21. なめし皮・同製品・毛皮	-	-	-	-
22. 窯業・土石製品	614	632	536	540
23. 鉄鋼	X	X	X	X
24. 非鉄金属	3,153	3,244	4,549	4,581
25. 金属製品	655	674	626	630
26. 一般機械器具	16,944	17,432	19,023	19,157
27. 電気機械器具	149	153	1,000	1,007
28. 情報通信機械器具	13,886	14,286	21,849	22,003
29. 電子部品・デバイス	54,647	56,221	44,931	45,248
30. 輸送用機械器具	20,050	20,628	17,857	17,983
31. 精密機械器具	724	745	X	X
32. その他の製造業	X	X	X	X

産業中分類	平成19年	
	出荷額	デフレート補正値
合 計	120,841	119,526
09. 食料品（製造業）	5,470	5,410
10. 飲料・たばこ・肥料	X	X
11. 繊維工業	-	-
12. 衣服	-	-
13. 木材・木製品	X	X
14. 家具・装備品	798	789
15. パルプ・紙・紙加工品	X	X
16. 出版・印刷・同関連	X	X
17. 化学	232	229
18. 石油製品・石炭製品	-	-
19. プラスチック製品	8,101	8,013
20. ゴム製品	-	-
21. なめし皮・同製品・毛皮	-	-
22. 窯業・土石製品	866	857
23. 鉄鋼	X	X
24. 非鉄金属	5,175	5,119
25. 金属製品	691	683
26. 一般機械器具	21,334	21,102
27. 電気機械器具	1,723	1,704
28. 情報通信機械器具	15,886	15,713
29. 電子部品・デバイス	36,522	36,125
30. 輸送用機械器具	21,123	20,893
31. 精密機械器具	X	X
32. その他の製造業	X	X

(百万円)

産 業 中 分 類	平成20年		平成21年		平成22年		平成24年	
	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值
合 計	150,749	142,620	116,727	116,610	109,705	109,705	98,228	97,642
09. 食料品製造業	7,257	6,866	7,307	7,300	7,220	7,220	7,239	7,196
10. 飲料・たばこ・飼料	659	623	751	750	728	728	X	X
12. 木材・木製品	946	895	1,093	1,092	1,193	1,193	1,450	1,441
13. 家具・装備品	140	132	113	113	96	96	127	126
14. パルプ・紙・紙加工品	X	X	X	X	X	X	714	710
15. 印刷・同関連	213	202	204	204	195	195	163	162
16. 化学	-	-	X	X	-	-	-	-
18. プラスチック製品	6,662	6,303	5,876	5,870	8,057	8,057	8,902	8,849
21. 窯業・土石製品	939	888	892	891	579	579	454	451
22. 鉄鋼業	-	-	-	-	-	-	255	253
23. 非鉄金属	5,844	5,529	2,661	2,658	4,734	4,734	4,321	4,295
24. 金属製品	7,239	6,849	525	524	1,938	1,938	1,419	1,411
25. はん用機械器具	2,288	2,165	1,927	1,925	1,361	1,361	1,242	1,235
26. 生産用機械器具	23,927	22,637	14,737	14,722	18,341	18,341	18,762	18,650
27. 業務用機械器具	X	X	X	X	X	X	858	853
28. 電子部品・デバイス・電子回路	56,624	53,570	50,627	50,576	35,537	35,537	37,422	37,199
29. 電気機械器具	713	675	689	688	740	740	430	427
30. 情報通信機械器具	14,117	13,356	9,390	9,381	X	X	-	-
31. 輸送用機械器具	21,308	20,159	18,276	18,258	15,491	15,491	13,082	13,004
32. その他の製造業	682	645	X	X	X	X	X	X

産 業 中 分 類	平成25年		平成26年	
	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值
合 計	108,478	106,455	120,021	114,197
09. 食料品製造業	7,741	7,597	7,326	6,971
10. 飲料・たばこ・飼料	X	X	801	762
11. 繊維工業	X	X	-	-
12. 木材・木製品	1,597	1,567	1,708	1,625
13. 家具・装備品	119	117	115	109
14. パルプ・紙・紙加工品	562	552	543	517
15. 印刷・同関連	156	153	X	X
16. 化学	-	-	-	-
18. プラスチック製品	7,657	7,514	8,086	7,694
19. ゴム製品	X	X	X	X
21. 窯業・土石製品	630	618	466	443
22. 鉄鋼業	475	466	504	480
23. 非鉄金属	4,438	4,355	5,074	4,828
24. 金属製品	1,505	1,477	1,619	1,540
25. はん用機械器具	1,123	1,102	2,234	2,126
26. 生産用機械器具	21,140	20,746	22,657	21,558
27. 業務用機械器具	651	639	806	767
28. 電子部品・デバイス・電子回路	49,177	48,260	57,327	54,545
29. 電気機械器具	449	441	394	375
30. 情報通信機械器具	X	X	-	-
31. 輸送用機械器具	9,439	9,263	9,449	8,990
32. その他の製造業	X	X	X	X

資料：事業所・企業統計調査

※「X」は統計法により公表できない数値（総数には含まれている）。 「-」は該当数値なし。

デフレータ補正值は、平成22年を100とした企業物価指数（日本銀行調査統計局）で補正した数値。

販売額は100万円単位で四捨五入しているため合計、小計とは一致しないことがある。

産業大分類の項目名・定義は日本標準産業分類の各改訂直後のものを適用しているため、それ以前のものと合致しない。

工業出荷額推計

工業出荷額（デフレーター補正值）推計によると減少傾向の可能性が高いと考えられる。
（推計方法等詳細は参考資料－３を参照）

表２－６ 工業出荷額の推計

(百万円)

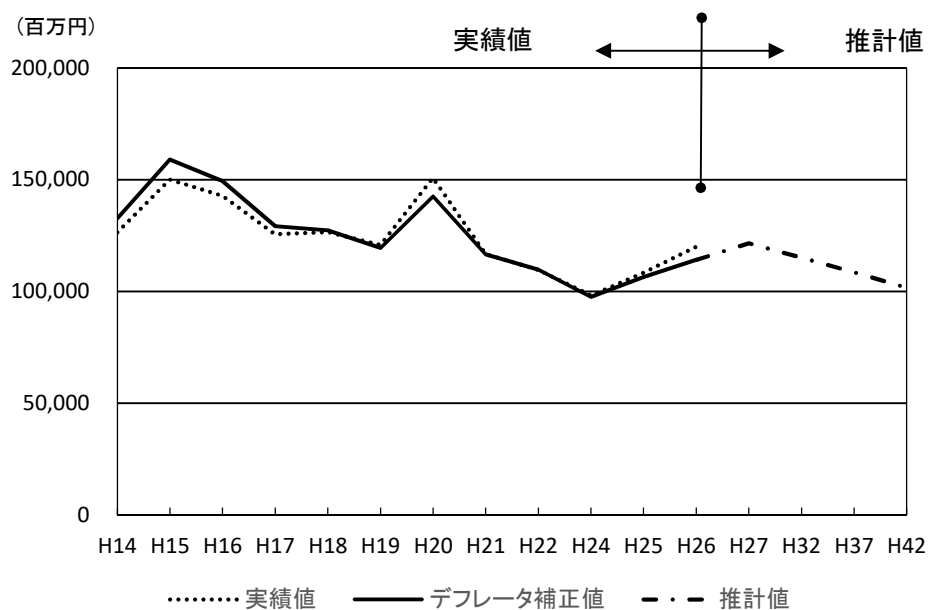
年	実績値	デフレーター補正值	推計値
平成14年	126,486	132,724	
平成15年	150,107	159,012	
平成16年	142,830	149,404	
平成17年	125,656	129,276	
平成18年	126,533	127,425	
平成19年	120,841	119,526	
平成20年	150,749	142,620	
平成21年	116,727	116,610	
平成22年	109,705	109,705	
平成24年	98,228	97,642	
平成25年	108,478	106,455	
平成26年	120,021	114,197	
平成27年			121,587
平成32年			115,144
平成37年			108,586
平成42年			101,655

実績値

↑

推計値

図２－10 工業出荷額推計



C0202-3 産業中分類別商業販売額

平成 3 年から平成 26 年までの年間商品販売額推移をみると、平成 2 年から平成 14 年まで 1,700 億円から 2,500 億円の間で減少・増加を繰り返していたが、平成 16 年には 7,700 億円台まで減少し、平成 19 年には 1,000 億円まで増加したが、平成 24 年に 700 億円台まで減少し、平成 26 年では 740 億円と上向きではあるがほぼ横ばいとなっている。

平成 26 年の産業中分類別商品販売額を構成比でみると、卸売業が 43.5%と最も多く、次いで飲食料品小売業（20.6%）、機械器具小売業（13.8%）となっている。

図 2-11 年間商品販売額推移

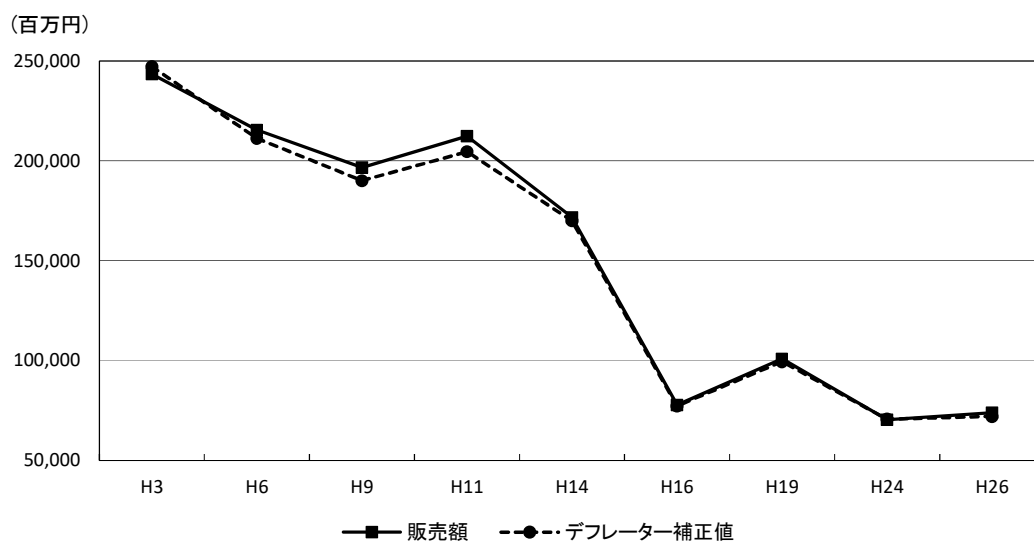


図 2-12 産業中分類別年間商品販売額構成比（平成 26 年）

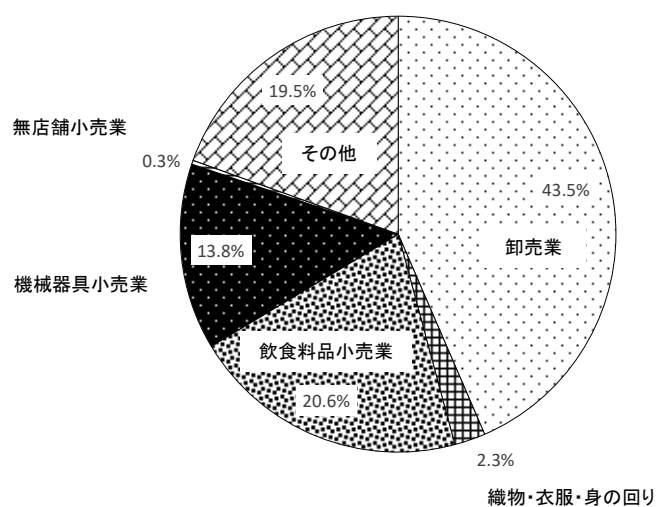


表 2-7 年間商品販売額推移

(百万円)

産 業 中 分 類	平成 3 年		平成 6 年		平成 9 年		平成 11 年		平成 14 年	
	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值
合 計	243,396	247,103	215,434	211,210	196,680	190,029	212,332	204,559	171,661	169,961
40～41. 卸売業	179,452	182,185	179,696	176,173	137,222	132,582	159,325	153,492	130,893	129,597
42. 代理商・仲立業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小 売 業 小 計	63,944	64,918	35,738	35,037	59,458	57,447	53,007	51,066	40,767	40,363
43. 各種商品小売業	9,940	10,091	X	X	X	X	7,410	7,139	-	-
44. 織物・衣服・身の回り品・小売業	4,544	4,613	4,310	4,225	5,109	4,936	5,582	5,378	2,943	2,914
45. 飲食料品小売業	13,550	13,756	X	X	15,022	14,514	15,461	14,895	15,167	15,017
46. 飲食店	4,097	4,159	-	-	-	-	-	-	-	-
47. 自動車・自転車小売業	10,951	11,118	8,994	8,818	9,513	9,191	7,753	7,469	X	X
48. 家具・建具・じゅう器小売業	5,012	5,088	3,494	3,425	X	X	3,305	3,184	3,097	3,066
49. その他の小売業	15,850	16,091	18,940	18,569	16,724	16,158	-	-	12,613	12,488

産 業 中 分 類	平成 16 年		平成 19 年		産 業 中 分 類	平成 24 年		平成 26 年	
	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值		販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值
合 計	77,778	77,237	100,945	99,453	合 計	70,350	70,633	73,907	72,104
49～54. 卸売業	39,064	38,792	62,256	61,336	50～55. 卸売業	36,844	36,992	32,178	31,393
小 売 業 小 計	38,713	38,444	38,689	38,117	小 売 業 小 計	33,506	33,641	41,729	40,711
55. 各種商品小売業	X	X	X	X	56. 各種商品小売業	-	-	X	X
56. 織物・衣服・身の回り品小売業	2,509	2,492	1,919	1,891	57. 織物・衣服・身の回り品小売業	1,325	1,330	1,664	1,623
57. 飲食料品小売業	14,583	14,482	14,326	14,114	58. 飲食料品小売業	14,242	14,299	15,234	14,862
58. 自動車・自転車小売業	7,045	6,996	5,927	5,839	59. 機械器具小売業	4,691	4,710	10,196	9,947
59. 家具・じゅう器・機械器具小売業	1,559	1,548	1,201	1,183	60. その他の小売業	13,165	13,218	X	X
60. その他の小売業	X	X	X	X	61. 無店舗小売業	84	84	251	245

資料：商業統計調査

※「X」は統計法により公表できない数値（総数には含まれている）。 「-」は該当数値なし。

デフレータ補正值は、平成 22 年を 100 とした企業物価指数（日本銀行調査統計局）で補正した数値。

販売額は 100 万円単位で四捨五入しているため合計、小計とは一致しないことがある。

産業大分類の項目名・定義は日本標準産業分類の各改訂直後のものを適用しているため、それ以前のものと合致しない。

商業販売額推計

商業販売額（デフレータ補正值）推計によると減少傾向の可能性が高いと考えられる。
（推計方法等詳細は参考資料－４を参照）

表２－８ 年間商品販売額推計

（百万円）

年	実績値	デフレータ補正值	推計値
平成3年	243,396	247,103	
平成6年	215,434	211,210	
平成9年	196,680	190,029	
平成11年	212,332	204,559	
平成14年	171,661	169,961	
平成16年	77,778	77,237	
平成19年	100,945	99,453	
平成24年	70,350	70,633	
平成26年	73,907	72,104	
平成27年			77,874
平成32年			73,747
平成37年			69,547
平成42年			65,108

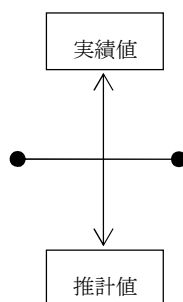
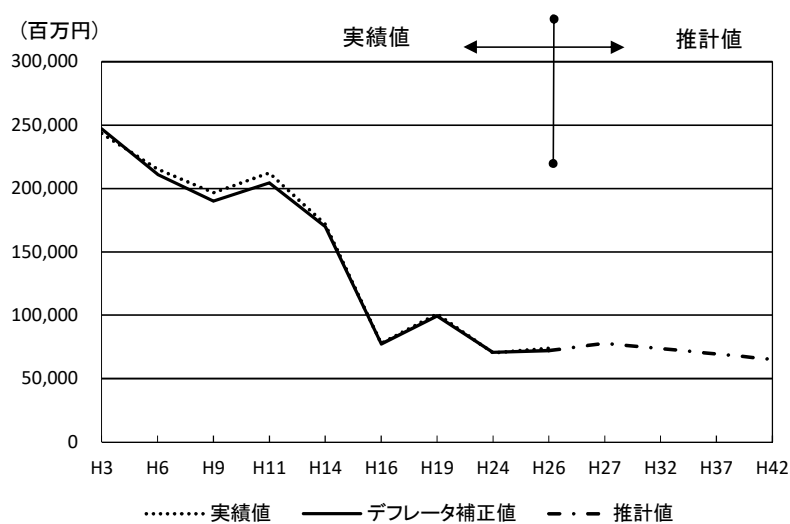


図２－13 年間商業販売額推計



③土地利用

C0302 土地利用現況

都市計画区域内の土地利用は農地が最も多く 39.1%、次いで山林 26.1%となっている。宅地は 13.9%でそのうち、住宅用地が 10.1%を占める。

用地地域内の土地利用の構成は、都市的土地利用が 76.1%を占め、そのうち住宅用地が最も多く 37.0%、商業、工業用地を加えた宅地が 50.1%となっている。

土地利用の分布状況は、小諸駅を中心として比較的コンパクトに市街地が形成されており、商業、公益施設が集積している。周辺部には和田工業団地等の工業団地がまとまって分布しており、近年、御影地区では商業施設等の開発が進んでいる。

住宅地は市街地部と周辺の集落地によって形成されていたが、佐久平駅に近い南大井地区で宅地化が進んでいる。

図 3-1 土地利用別面積構成（平成 27 年）

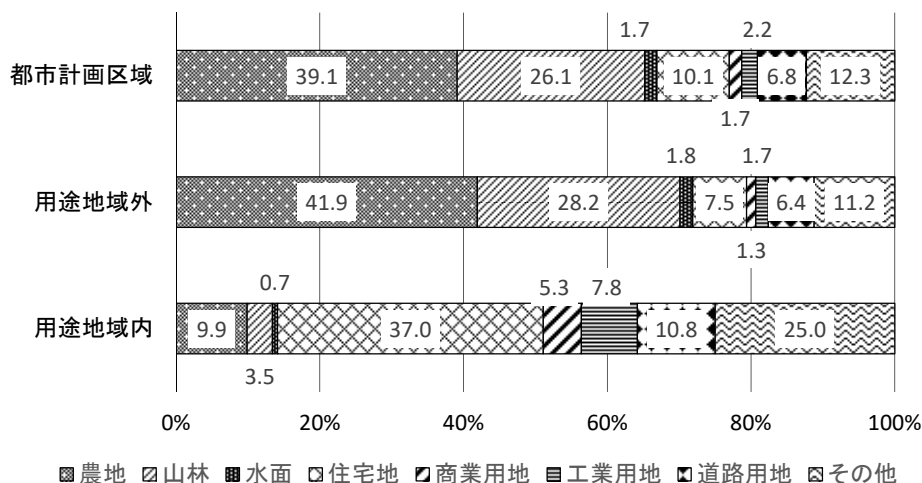


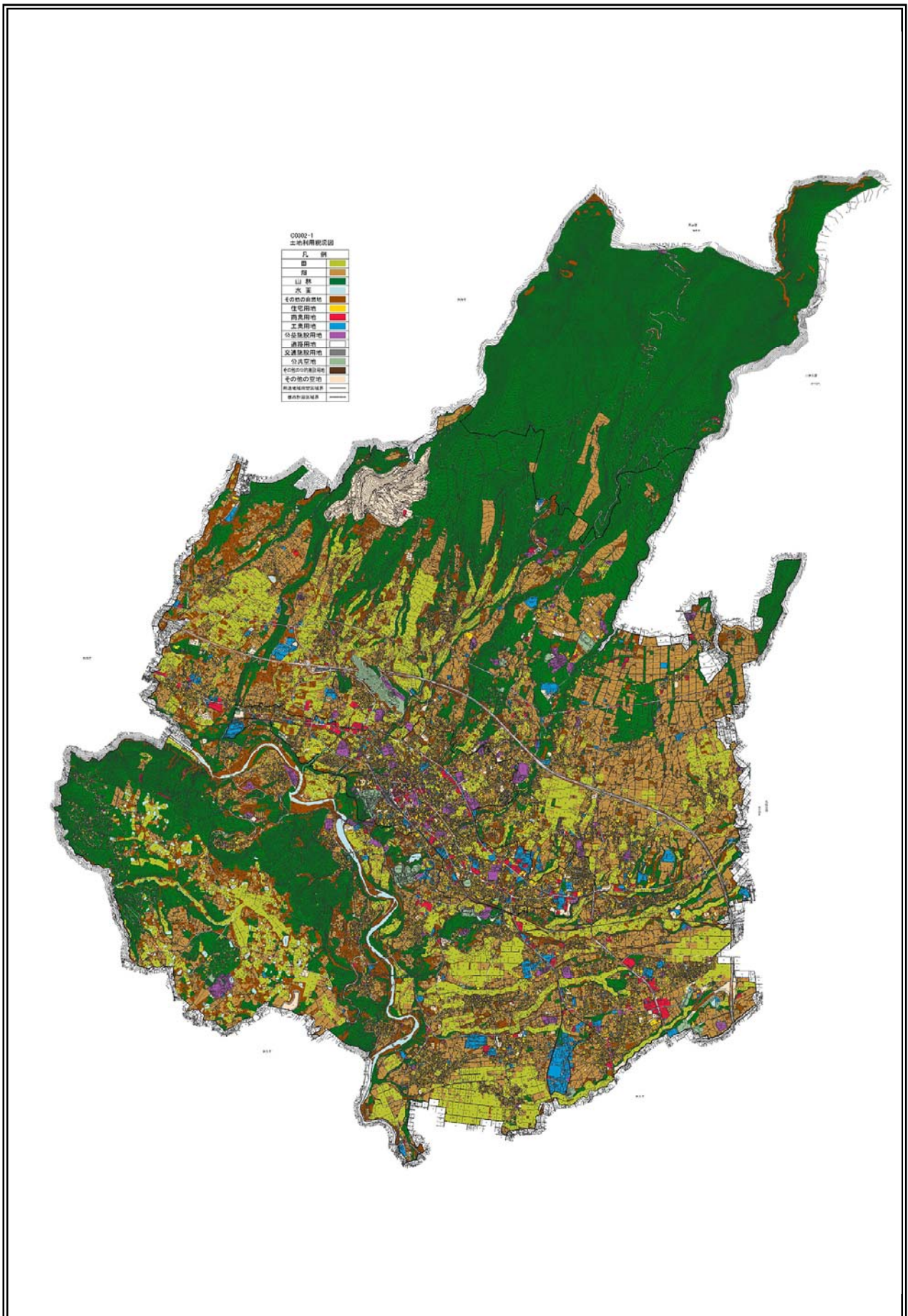
表 3-1 土地利用別面積構成表（平成 27 年）

			用途地域内		用途地域外		都市計画区域	
			面積	構成比	面積	構成比	面積	構成比
	田		40.8	6.0	980.5	13.6	1,021.3	12.9
		畑	27	4.0	2,043.3	28.3	2,070.3	26.2
	農地		67.8	9.9	3,023.8	41.9	3,091.6	39.1
		山林	24.1	3.5	2,036.9	28.2	2,061.0	26.1
	水面	5	0.7	127.5	1.8	132.5	1.7	
	その他の自然地	66.5	9.8	386.5	5.4	453.0	5.7	
自然的土地利用			163.4	23.9	5574.7	77.3	5738.1	72.7
	住宅用地		252.6	37.0	542.0	7.5	794.6	10.1
		商業用地	35.9	5.3	96.3	1.3	132.2	1.7
		工業用地	53.3	7.8	121.4	1.7	174.7	2.2
	宅地		341.8	50.1	759.7	10.5	1,101.5	13.9
		公共・公益用地	72.8	10.7	154.9	2.1	227.7	2.9
	道路用地	73.5	10.8	463.8	6.4	537.3	6.8	
	交通施設用地	11.4	1.7	83.8	1.2	95.2	1.2	
	その他公共施設用地	0.1	0.0	2.4	0.0	2.5	0.0	
	その他の空き地	19	2.8	177.7	2.5	196.7	2.5	
都市的土地利用			518.6	76.1	1642.3	22.7	2160.9	27.3
合計			682	100	7,217.0	100	7,899.0	100
可住地			399.4	58.5	5,874.7	81.2	6,274.1	79.3
非可住地			282.6	41.5	1,342.3	18.8	1,624.9	20.7

資料：土地利用現況図

- ※ 「公共・公益用地」は土地利用現況図の「公益施設用地」と「公共空地」の合計。
- ※ 非可住地とは「水面」、「その他自然地」、「商業用地」の内で敷地面積 1ha 以上の大規模施設用地、「公共・公益用地」、「道路用地」、「交通施設用地」、「その他公的施設用地」。
- これらのほか、土地利用状況に関係なく全ての工業専用地域。

図 3 - 2 土地利用現況図



C0304 宅地開発状況

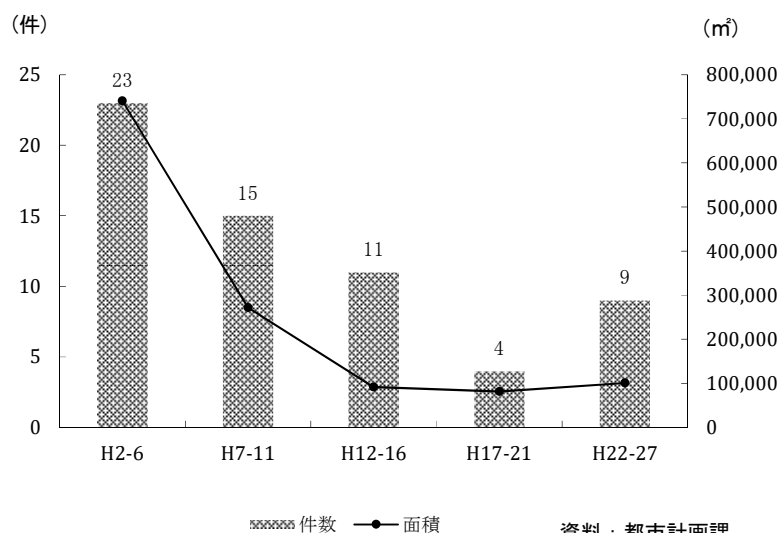
都市計画区域内での過去6年間（平成22年から平成27年）の宅地開発は、開発公社による工場敷地造成のほか、民間による宅地造成、大規模商業施設等の開発があり、都市計画区域内での開発行為は9件(10ha)である。

表 3－2 開発行為許可状況

	平成2～平成6年		平成7～11年		平成12～16年		平成17～21年		平成22～27年	
	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)
住宅	7	539,551	4	114,759	7	48,748	0	0	1	7,953
商業	4	44,000	6	89,696	3	24,198	3	74,956	5	51,503
工業	9	112,958	4	61,114	1	18,247	1	6,278	3	41,389
農林漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	43,959	1	5,932	0	0	0	0	0	0
合計	23	740,468	15	271,501	11	91,193	4	81,234	9	100,845

※ 届出対象面積＝3,000㎡以上の開発行為

図 3－3 宅地開発の推移



C0305 農地転用状況

平成 27 年の農地転用の状況は、用途地域内で 1.9ha、用途地域外で約 8ha となっており、その転用用途は用途地域内外ともに住宅用地が約半数を占めている。

平成 21 年から平成 27 年の推移をみると転用件数、面積ともに平成 22 年から平成 24 年にかけて減少傾向であったが、平成 25 年、平成 26 年と増加傾向にあり、平成 27 年では減少傾向にある。

表 3－3 農地転用状況 (平成 27 年)

区域区分	件数 (件)	面積 (㎡)	前年度の 農地面積 (㎡)	転用率 (%)
用途地域内	19	19,187	1,464,318	1.3
用途地域外	78	78,449	35,074,610	0.2
都市計画区域	97	97,636	36,538,928	0.3

資料：農業委員会

表 3－4 用途別農地転用状況 (平成 27 年)

区域区分	住宅用地		工業用地		公共用地		その他		合計	
	件数 (件)	面積 (㎡)	件数 (件)	面積 (㎡)	件数 (件)	面積 (㎡)	件数 (件)	面積 (㎡)	件数 (件)	面積 (㎡)
用途地域内	9	6,123	0	0	0	0	10	13,064	19	19,187
用途地域外	34	12,987	5	4,441	0	0	39	61,021	78	78,449
都市計画区域	43	19,110	5	4,441	0	0	49	74,085	97	97,636

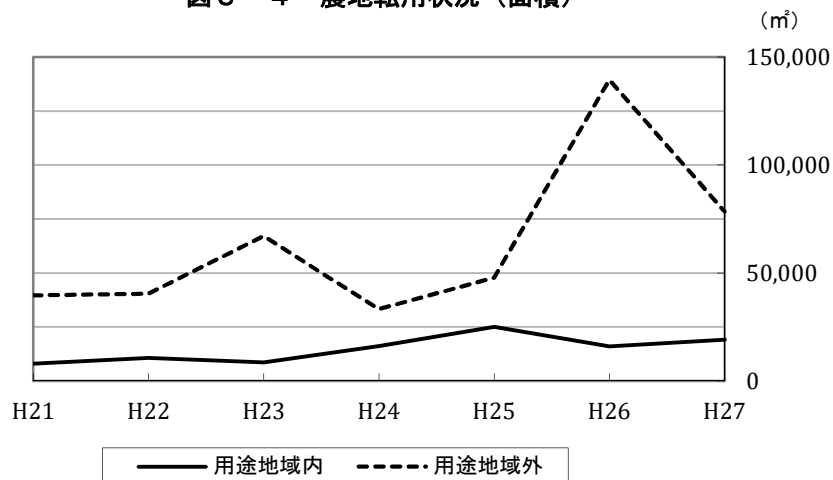
資料：農業委員会

表 3－5 農地転用状況 (平成 21 年から平成 27 年)

	用途地域内		用途地域外		都市計画区域	
	件数 (件)	面積 (㎡)	件数 (件)	面積 (㎡)	件数 (件)	面積 (㎡)
平成21年	20	7,982	93	39,591	113	47,573
平成22年	14	10,731	73	40,369	87	51,100
平成23年	12	8,605	85	67,120	97	75,725
平成24年	21	16,098	65	33,362	86	49,460
平成25年	31	25,082	77	47,819	108	72,901
平成26年	26	16,029	88	139,401	114	155,430
平成27年	19	19,187	78	78,449	97	97,636

資料：農業委員会

図 3－4 農地転用状況 (面積)



C0307 新築状況

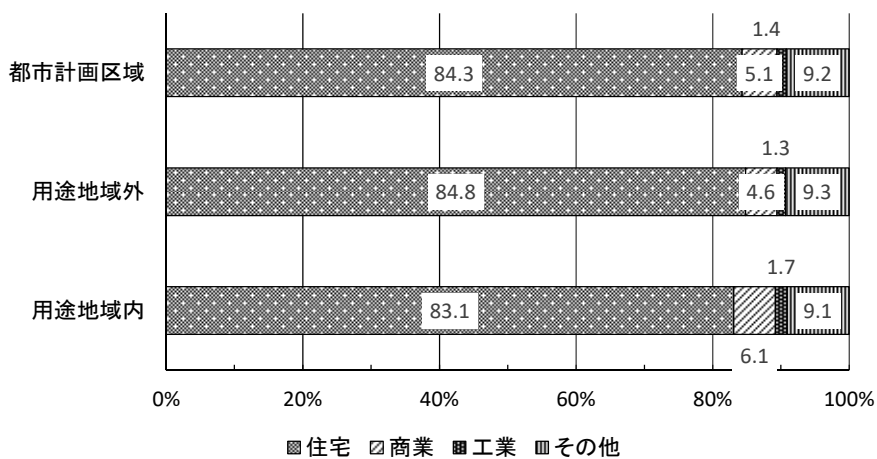
都市計画区域内における平成 21 年から平成 27 年までの新築件数は 1,363 件あり、そのうち 409 件（30.0%）が用途地域内であった。建物別では住宅が 1,149 件と全体の 84.3%を占めており、そのうち 340 件が用途地域内であった。

表 3－6 新築件数及び面積（平成 21 年から平成 27 年）

			用途地域内	用途地域外	都市計画区域
新築件数（件）	住宅	件数（件）	340	809	1,149
		構成率（％）	83.1	84.8	84.3
	商業	件数（件）	25	44	69
		構成率（％）	6.1	4.6	5.1
	工業	件数（件）	7	12	19
		構成率（％）	1.7	1.3	1.4
	その他	件数（件）	37	89	126
		構成率（％）	9.1	9.3	9.2
	件数（件）		409	954	1,363
	構成率（％）		30.0	70.0	100.0
敷地面積合計（㎡）			225,154	603,574	828,728
平均敷地面積（㎡）			550	633	608
建築面積合計（㎡）			34,708	91,465	126,173
平均建ぺい率（％）			15.4	15.2	15.2
延床合計面積（㎡）			54,776	135,308	190,084
平均容積率（％）			24.3	22.4	22.9

資料：建築確認申請

図 3－5 新築構成比（平成 21 年から平成 27 年）



C0308 条例・協定

C0308-① 都市計画に関する条例・要綱等

都市計画関連の条例・協定としては、都市計画審議会条例、都市計画公聴会規則、下水道条例、都市公園条例等がある。

表 3 - 7 都市計画に関する条例・要綱等

決定主体	条 例 ・ 要 綱 等 の 名 称	公布・決定年月日		対 象 範 囲
		当 初	最終変更	
小諸市	小諸市都市計画審議会条例	S45.4.1	H22.6.30	都市計画区域内
小諸市	小諸市都市計画審議会運営規則	S45.12.1	H26.2.21	都市計画区域内
小諸市	小諸市都市計画公聴会規則	S48.8.10		都市計画区域内
小諸市	小諸市市街地再開発事業等補助金交付要綱	S61.9.29	S63.3.24	都市計画区域内
小諸市	小諸市都市公園条例	S56.10.2	H24.12.25	都市計画区域内
小諸市	小諸市都市公園条例施行規則	S57.3.19	H25.3.26	都市計画区域内
小諸市	小諸市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例	S63.3.24	H24.12.25	都市計画区域内
小諸市	小諸市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例施行規則	S63.3.24	H28.3.29	都市計画区域内
小諸市	小諸市建築物における駐車施設の附置等に関する条例	H4.3.26	H27.9.18	都市計画区域内
小諸市	小諸市建築物における駐車施設の附置等に関する条例施行規則	H4.3.26		都市計画区域内
小諸市	小諸市開発指導要綱	H2.4.24	H25.3.7	用途区域外
小諸市	小諸市屋外広告物に関する規則	H12.3.23		屋外広告物規制区域
小諸市	小諸市小諸宿周辺地区まちづくり要綱	H11.3.1		小諸宿周辺地区
小諸市	小諸市小諸宿周辺地区修理修景事業補助金交付要綱	H12.4.1	H21.12.1	小諸宿周辺地区
長野県	長野県都市計画審議会条例	S44.3.31	H14.3.25	都市計画区域内
長野県	市街地再開発事業補助金交付要綱	H25.3.28		都市計画区域内
長野県	長野県景観条例	H4.3.19	H17.10.17	都市計画区域内
長野県	屋外広告物条例	H5.10.18	H27.3.19	屋外広告物規制区域
小諸市	小諸市景観条例	H22.6.30		小諸市全域
小諸市	小諸市景観条例施行規則	H22.9.1	H28.3.30	小諸市全域
小諸市	小諸市年再生懇談会要綱	H27.3.20		都市計画区域内
小諸市	小諸市景観形成推進事業補助金交付要綱	H22.12.21		景観形成重点地域及び景観形成住民協定地域
小諸市	小諸市径景観成住民協定認定要綱	H22.12.21		小諸市全域
小諸市	小諸市街なみ環境整備事業協議会活動助成事業補助金交付要綱	H14.3.1		小諸宿周辺地区

資料：都市計画課

C0308-② 建築協定・緑地協定

都市計画関連の地区計画としては、平成6年に決定した景観形成住民協定のほか、各市街地地区のまちづくり協定、街並み協定がある。

表3-8 建築協定・緑地協定

番号	地区計画等の名称	決定期日	計画の内容
1	平原区景観形成住民協定	平成6年5月14日	緑化、建築物の後退、用水の保全とごみ処理、公園・広場や道路、道路の景観美化、歴史的建築物・文化財の保全、看板と自動販売機の制限についての整備、保全等の景観形成に関する取り決め
2	本町区まちづくり協定	平成12年2月19日	歴史的建築物の保全及び復元、景観に調和した新築、増築、修理及び修景に関する取り決め
3	荒町区まちづくり協定	平成12年9月18日	歴史的建築物の保全及び復元、景観に調和した新築、増築、修理及び修景に関する取り決め
4	与良区まちづくり協定	平成13年1月18日	歴史的建築物の保全及び復元、景観に調和した新築、増築、修理及び修景に関する取り決め
5	大手まちづくり協定	平成13年2月28日	歴史的建築物の保全及び復元、景観に調和した新築、増築、修理及び修景に関する取り決め
6	相生町通り町並み協定	平成22年1月29日	建物のファサード、屋外広告物等に関する取り決め。道路等の美化

資料：都市計画課

図3-6 建築協定・緑地協定



C0308-④ 地域地区

都市計画区域の面積は 7,899ha で、そのうち用途地域が 682ha 指定されており、住居系用途が 65%、商業系用途が 7.9%、工業系用途が 27.1%となっている。

また準防火地域が小諸駅前を中心として 61.6ha 指定されている。

表 3-9 用途地域および準防火地域

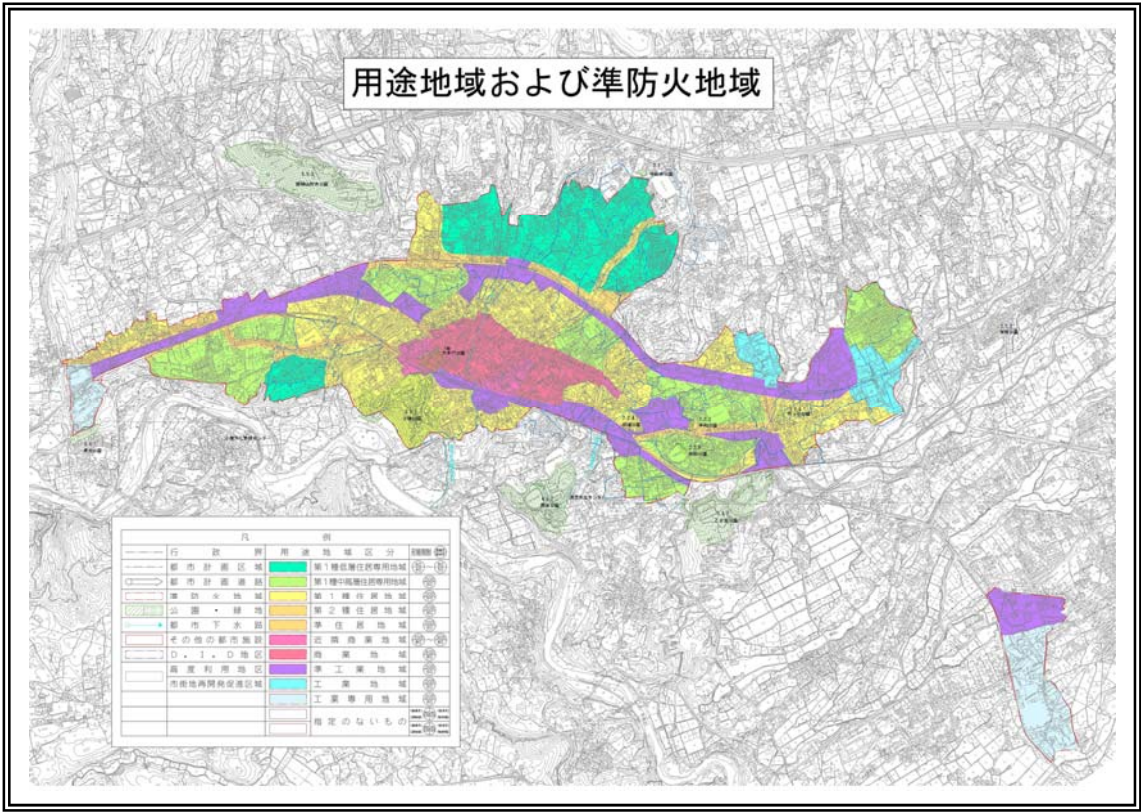
(面積 : ha、構成比 : %)

区 分	面積	構成比
用途地域	682.0	100.0
第一種低層住居専用地域	93.0	13.6
第一種中高層住居専用地域	127.0	18.6
第一種住居地域	177.0	26.0
第二種住居地域	23.0	3.4
準住居地域	23.0	3.4
近隣商業地域	11.0	1.6
商業地域	43.0	6.3
準工業地域	123.0	18.0
工業地域	22.0	3.2
工業専用地域	40.0	5.9
都市計画区域	7,899.0	

区 分	面積
準防火地域	61.6

資料 : 都市計画課

図 3-7 用途地域および準防火地域



④建 物

C0401 建物用途別現況

都市計画区域における建物用途別現況をみると、住宅系建物が市街地周辺及び佐久平駅に比較的近い三岡地区、南大井地区を中心として集積していきっている。商業系建物は、中心市街地に集積しているが住宅地の郊外化、周辺道路網の整備に伴い、国道 141 号沿道に大型商業施設の立地が多くなってきている。工業系建物は和田工業団地及び周辺市街地に集積しており、上信越自動車道小諸インター北側に整備されたインター小諸工業団地にも立地している。公共施設は主に中心市街地に集積している。

C0401-3 地区別建ぺい率現況

用途地域内におけるネット建ぺい率は 25.9%、グロス建ぺい率は 13.6%であった。

表 4-1 建ぺい率現況表（用途地域）

ネット建ぺい率			前回（H20） 建ぺい率 （B）（%）	建ぺい率の 増減 （%）	グロス建ぺい率	
宅地面積 合計（㎡）	建築面積 合計（㎡）	建ぺい率 （A）（%）			地区面積 （㎡）	建ぺい率 （%）
3,590,306	929,367	25.9	27.1	-1.2	6,820,000	13.6

※ネット建ぺい率とは建築面積の地区集計を宅地面積の地区集計で除したものの。

資料：建物課税台帳

グロス建ぺい率とは建築面積の地区集計を地図上の地区面積で除したものの。

C0401-4 地区別容積率現況

用途地域内におけるネット容積率は 48.3%、グロス容積率は 25.4%であった。

表 4-2 容積率現況表（用途地域）

ネット容積率			前回（H20） 容積率 （B）（%）	容積率の 増減 （%）	グロス容積率	
宅地面積 合計（㎡）	延床面積 合計（㎡）	容積率 （A）（%）			地区面積 （㎡）	容積率 （%）
3,590,306	1,732,377	48.3	50.5	-2.2	6,820,000	25.4

※ネット容積率とは建築延床面積の地区集計を宅地面積の地区集計で除したものの。

資料：建物課税台帳

グロス容積率とは建築延床面積の地区集計を地図上の地区面積で除したものの。

图 4-1 地区別建ぺい率現況図

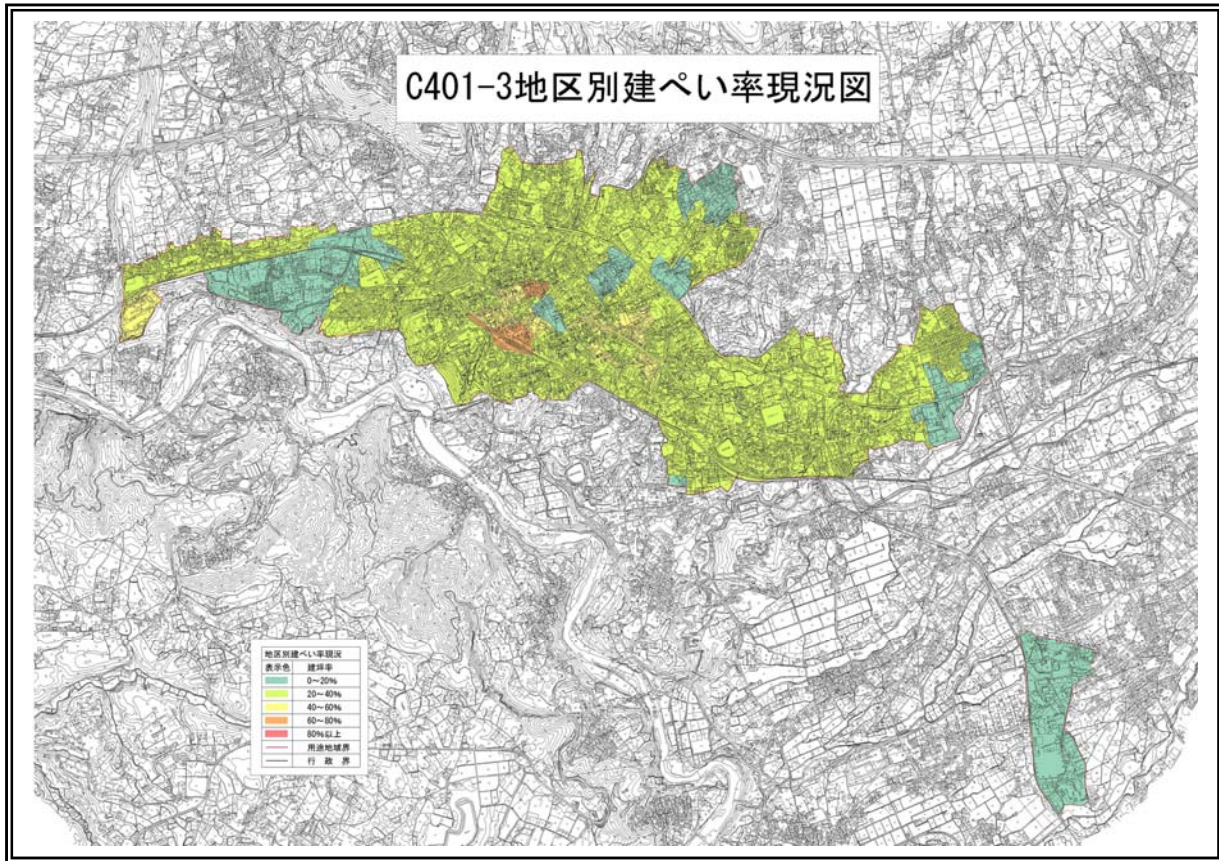
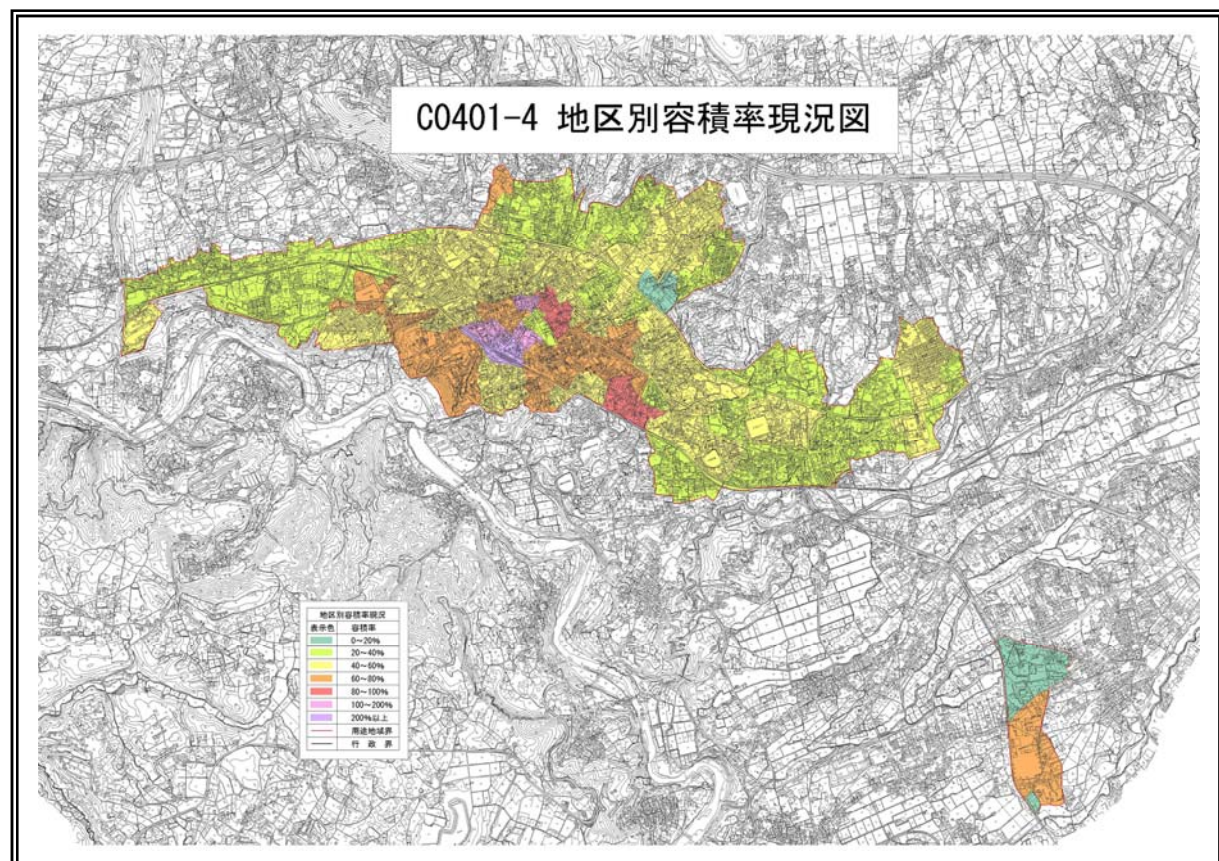


图 4-2 地区別容積率現況図



C0401-5 地区別、用途別の建物延べ床面積現況

用途地域内における総延べ床面積は 1,732,377 m²で、用途別の延床比率は住宅が最も多く、51.0% (882,550 m²) と半数を占めており、次いで専用店舗・事務所 17.4% (301,901 m²)、専用工場・倉庫 14.7% (254,318 m²)、店舗・事務所併用住宅 10.7% (185,313 m²) となっている。

表 4-3 用途別建物延べ床面積（平成 27 年）

	延床面積 (m ²)	前回 (H20) 延床面積 (m ²)	増減率 (%)	延床比率 (%)	前 回 延床比率 (%)	延 床 比 率 増 減
住 宅	882,550	845,009	4.4	51.0	49.7	1.30
工場・倉庫併用住宅	7,166	7,164	0.0	0.4	0.4	0.00
専用工場・倉庫	254,318	257,891	-1.4	14.7	15.2	-0.50
店舗・事務所併用住宅	185,313	185,312	0.0	10.7	10.9	-0.20
専用店舗・事務所	301,901	306,027	-1.3	17.4	18.0	-0.60
そ の 他	101,129	98,921	2.2	5.8	5.8	0.00
合 計	1,732,377	1,700,324	1.9	100.0	100.0	

資料：建物課税台帳

C0401-6 建物年齢別現況

用途地域内の建物総数は 10,101 棟で、建物年齢別比率は 30 年以上が 60.1%と最も多く、20 年以上のものを合わせると 74.4%と老朽化率が高い。

表 4-4 建物年齢別現況

建物年齢	建物棟数 (棟)	割 合 (%)
0～4年	310	3.1
5～9年	453	4.5
10～14年	521	5.2
15～19年	644	6.4
20～24年	693	6.9
25～30年	747	7.4
30年以上	6,090	60.1
不明	643	6.4
合計	10,101	100.0

資料：建物課税台帳

C0402 大規模小売店舗等の立地状況

都市計画区域内における店舗面積が 3,000 m²以上の大規模小売店は 6 店舗あり、主に国道 18 号線沿いや、国道 141 号沿線（御影地区）に立地している。

表 4－5 大規模小売店舗の立地状況

所在地	店舗名称	建物設置者	住 所	開店日	業態	店舗面積	核テナント
御影新田字谷地2081-1外	ユー・バレット小諸店	㈱マツヤ	長野市大字北尾張部710-1	H6.4.22	スーパー	4,878	㈱マツヤ
諸 鳥井辺297-1外	マツヤ小諸インター店	㈱マツヤ	長野市大字北尾張部710-1	H8.5.30	スーパー	4,676	㈱マツヤ
大字甲字東原田1648-7外	小諸南ショッピングセンター	㈱コメリ 合同会社西友	新潟県新潟市米山4-1-28 東京都北区赤羽2-1-1	H11.3.18	スーパー	3,342	㈱コメリ 合同会社西友
大字御影新田2590-1外	ツルヤみかげショッピングパーク	㈱ツルヤ	小諸市御幸町2-1-20	H12.7.19	スーパー	3,897	㈱ツルヤ
大字滋野甲字金卸1442-2外	カインズホーム小諸店	㈱カインズ	埼玉県本庄市東富田88-2	H14.7.10	専(ホームセンター)	7,014	㈱カインズ
御影新田2597-1外	小諸御影新田複合店舗	リコーユース㈱	東京都江東区東雲1-7-12	H27.8.19	専(衣料品)	5,954	㈱アルペン ㈱ユニクロ

資料：長野県 HP「大規模小売店舗立地法に基づく届出状況」

⑤都市施設

C0501 都市施設の位置内容等

都市施設の都市計画決定については、都市計画道路 12 路線、都市計画公園 11 箇所、都市緑地 1 箇所、広場 1 箇所、公共下水道、ごみ処理場、駐車場などがある。

表 5－1 都市施設の整備状況 （平成 27 年）

決定年月日	都市施設名称	都市計画決定事項	事業期間	備考		
都市計画道路						
H 8. 11. 28	1・4・1八千穂佐久線	当初決定	H23. 3. 26開通式	幅員20.5m・延長1,900m 自動車専用道路 暫定2車線供用		
H25. 7. 11		一部区域等を変更、法改正に伴い車線数の決定				
S57. 7. 26	3・1・1小諸佐久田線	当初決定	H 5. 2. 15開通式	幅員25m・延長2,700m		
H 3. 10. 3		現地形に整合				
S44. 5. 22	3・4・1国道18号線	当初決定		幅員18m・延長5,790m		
S57. 7. 26		延長の変更（5,700m→5,790m）				
S15. 5. 9	3・4・2相生町線	当初決定	S41. 4～H5. 3	幅員16m・延長940m		
S40. 3. 19		幅員、番号の変更				
S44. 5. 22		現在の形に変更				
H13. 7. 23	3・4・3蛇掘線	当初決定	H13. 7～H18. 3	幅員16m・延長600m		
S44. 5. 22		当初決定				
S51. 2. 28	3・5・1国道141号線	四ツ谷国道18号線との交差点部変更		幅員12m・延長4,190m		
S15. 5. 9		当初決定				
S40. 3. 19	3・5・2六供御幸町線	幅員（一部）、番号の変更		幅員12m・延長2,100m		
S44. 5. 22		路線名と現在の形に変更。				
S44. 5. 22	3・5・3東郷土西原線	当初決定	S48. 8～S57. 3 H2. 12～H9. 3 H5. 2～H9. 3 H11. 2～H12. 3 H13. 7～H18. 3 H20. 4～H30. 3	幅員12～16m・延長4,680m		
S47. 3. 3		路線名、延長、終点の変更				
H 4. 12. 11		栃木新町線の交差点部について変更				
H 6. 12. 15		延長の変更（4,820m→4,680m）				
H13. 7. 23		下幅変更（変更区間460m）				
H24. 9. 13		車線、下幅変更（変更区間355m）				
S44. 5. 22	3・5・4四ツ谷国道18号線	当初決定	S52. 9～S59. 3	幅員12m・延長330m		
S52. 2. 28		国道18号線との交差点部変更				
S44. 5. 22	3・5・5栃木新町線	当初決定		幅員12m・延長610m		
H 4. 12. 11		東郷土西原線の交差点部について変更				
S44. 5. 22	3・5・6市町線	当初決定		幅員12m・延長270m 分割認定		
H12. 7. 6		3・4・3本町線を8・7・1本町線と3・5・6市町線に変更				
S15. 5. 9		当初決定			H13. 1～	幅員8m・延長380m 分割認定
S40. 3. 19		幅員の一部変更				
S44. 5. 22	見直し					
H 4. 12. 11	8・7・1本町線	東郷土西原線の交差点部について変更				
H12. 7. 6		3・4・3本町線を8・7・1本町線と3・5・6市町線に変更				
都市計画公園						
S50. 9. 25	2・2・1中松井公園	当初決定	S50. 9～S51. 3	街区公園 面積0.30ha		
S51. 7. 16	2・2・2平原公園	当初決定	S51. 8～S52. 3	街区公園 面積0.12ha		
S52. 6. 24	2・2・3平和公園	当初決定	S52. 7～S53. 3	街区公園 面積0.18ha		
S53. 7. 1	2・2・4加増公園	当初決定	S53. 7～S54. 3	街区公園 面積0.05ha		
S33. 12. 23	2・2・5唐松公園	当初決定（一般公園、面積3.50ha）	S35～S37. 3	街区公園、面積0.26ha		
S54. 12. 10		地区公園、面積3.50ha				
S58. 3. 7		児童公園、面積0.26ha				
H 8. 3. 12		街区公園、面積0.26ha				
S59. 10. 9	2・2・6四ツ谷公園	当初決定	S59. 11～S60. 3	街区公園、面積0.09ha		
S52. 6. 30	3・3・1押出公園	当初決定	S52. 7～S55. 3	近隣公園、面積1.10ha		
S56. 11. 30		当初決定（面積7.50ha）				
S58. 3. 7		面積10.60ha				
H 3. 12. 12		面積13.60ha				
S31. 12. 17	5・5・1小諸公園	当初決定（一般公園、面積18.30ha）	S31. 12～S58. 3	総合公園、面積18.80ha		
S51. 10. 4		一般公園、面積18.70ha				
S54. 12. 10		総合公園、面積18.70ha				
S61. 10. 30		総合公園、面積18.80ha				
S58. 3. 7	5・5・2乙女湖公園	当初決定（面積14.00ha）	S58. 5～H4. 3	総合公園、面積15.20ha		
S62. 12. 14		面積14.90ha				
H12. 7. 6		面積15.20ha				
H 6. 10. 3	5・5・3飯綱山公園	当初決定（面積22.10ha）	H6. 12～H22. 3	総合公園、面積26.50ha		
H10. 1. 8		面積26.50ha				
都市緑地						
H 4. 10. 15	1 大手門公園	当初決定（面積0.44ha）	H4. 11～H10. 3 H19. 11～H33. 3	都市緑地、面積1.6ha		
H19. 3. 15		面積1.6ha				
広場						
H23. 7. 15	1 あいおい公園	当初決定（面積0.19ha）	H23. 10～H28. 3	広場、0.19ha		

決定年月日	都市施設名称	都市計画決定事項	事業期間	備考			
公共下水道							
S58. 3. 7 H 4. 11. 20 H 7. 12. 20 H12. 8. 3 H13. 8. 27 H19. 3. 15 H25. 1. 29	小諸市公共下水道 (小諸処理区)	当初決定 (660ha、処理水量22,200㎡/日、計画人口30,230人) 670ha、処理水量25,300㎡/日、計画人口33,000人 824ha、処理水量22,200㎡/日、計画人口25,400人 991ha、処理水量18,200㎡/日、計画人口26,300人 1,035ha 1,004ha、処理水量18,200㎡/日、計画人口26,300人 971ha、処理水量9,300㎡/日、計画人口21,600人	S59. 2～H31. 3				
H13. 8. 27 H19. 3. 15 H24. 2. 20		小諸市公共下水道 (和田西処理区)		当初決定 (44ha、処理水量204≒250㎡/日、計画人口160人) 44ha、処理水量239㎡/日、計画人口190人 44ha、処理水量228㎡/日、計画人口210人	H13. 10～H31. 3		
都市下水路							
S39. 7. 31 S58. 3. 7 S53. 9. 18 S58. 3. 7		松井川都市下水路 加増都市下水路		当初決定 (排水区域359.3ha、延長1,870m) 廃止 当初決定 (排水区域125.0ha、延長1,810m) 廃止	S39. 7～S62. 3 S53. 12～S60. 3	S58より公共下水道へ移管 S58より公共下水道へ移管	
汚物処理場							
S44. 5. 22 S53. 7. 1	浅麓衛生センター		当初決定 (位置: 甲字上古宿、面積: 1.1ha、処理能力: 90kl/日) 変更 (位置: 甲字上古宿、面積: 2.0ha、処理能力: 140kl/日)	S53. 6～S54. 3			
ごみ焼却場							
S44. 5. 22 S53. 7. 1 S58. 12. 10 S58. 12. 10 H20. 9. 22	浅麓衛生センター 浅麓クリーンセンター	当初決定 (位置: 甲字上古宿、面積: 1.1ha、処理能力: 17 t/日) 変更 (位置: 甲字上古宿、面積: 2.0ha、処理能力: 17 t/日) 廃止 (浅麓クリーンセンター決定に伴う、ゴミ焼却場施設の廃止) 当初決定 (位置: 塩野字南ヶ原、面積: 1.4ha、処理能力: 40 t/日) 廃止	S53. 6～S54. 3 S61. 4～S62. 3				
ごみ処理場							
S53. 7. 1 H19. 3. 15		小諸市高速堆肥製造工場	当初決定 (位置: 柏木字南古屋敷、面積: 0.6ha、処理能力: 20t/日) 廃止	S53. 12～S54. 3			
ごみ処理施設							
H24. 1. 24		小諸市ごみ処理施設	当初決定 (位置: 菱平字稲荷、面積1.7ha、焼却施設24 t/日、リサイクル施設16 t/日)	H25. 6～H27. 12			
火葬場							
S45. 12. 12 H25. 8. 8	小諸火葬場 佐久市斎場	当初決定 (位置: 己字高峯、面積: 1.6ha) 当初決定 (位置: 佐久市長土呂上北原、面積: 1.5ha)	S46. 1～S46. 5 佐久市にて工事	 計画決定のみ			
と畜場							
S55. 10. 1	佐久広域食肉センター	当初決定 (位置: 佐久市大字長土呂字隠、面積: 1.4ha)	S56. 1～S57. 3	計画決定のみ			
駐車場							
H26. 3. 10 H26. 3. 10	1号 市営中央西側駐車場 2号 市営赤坂駐車場	当初決定 (位置: 相生町二丁目、面積: 2,000㎡、駐車台数: 162台) 当初決定 (位置: 赤坂一丁目、面積: 1,500㎡、駐車台数: 63台)	H26. 6～H29. 3 H26. 6～H28. 3				

資料: 都市計画課

⑥交 通

C0601 主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度

平成 22 年度道路交通センサスによる小諸市の平日 12 時間交通量をみると、上信越自動車道では、佐久～小諸で約 15,000 台/12h、小諸～東部湯の丸で 16,000 台/12h となっている。

また一般道では国道 18 号、国道 141 号の交通量が多くなっており、国道 18 号が 11,000 台～15,000 台/12h、国道 141 号が 9,000～16,000 台/12h の交通量となっている。

この他では、10,000 台/12h を超えている路線は、借宿小諸線（約 7,000～約 14,000 台/12h）、小諸上田線（12,573 台/12h）、下仁田浅科線（11,178 台/12h）、小諸軽井沢線（10,246 台/12h）となっている。

大型車混入率でみると、混入率の高い路線は上信越自動車道で佐久～小諸間が 27.3%、小諸～東部湯の丸で 24.2%となっている。一般道では国道 18 号が 6.5%～11.1%、国道 141 号が 6.5%～11.8%とあまり高くないが、小諸上田線（18.5%）、小諸軽井沢線（16.5%）、耳取三岡停車場線（12.2%）、諏訪白樺湖小諸線（4.2%～18.1%）など県道で比較的高い混入率となっている。

混雑度でみると、三岡耳取停車場線で 2.72 と比較的高い混雑度となっているが、交通量は 6,253 台/12h でそれほど多くはない。このほか、1.50 を超えている路線は国道 18 号（0.99～1.60）、小諸上田線（1.55）、軽井沢小諸線（1.53）となっている。

混雑時の平均旅行速度をそれぞれの路線の最遅値でみると、地域交通の中核をなす国道 18 号で 22.3km/h、国道 141 号で 16.7km/h、となっている。

この他、最遅値が 30km/h 未満の路線は、佐久小諸線（29.9km/h）、借宿小諸線（26.9km/h）、小諸上田線（21.6km/h）、菱野筒井線（20.6km/h）、峰の茶屋小諸線（19.0km/h）、馬瀬口小諸線（17.2km/h）、諏訪白樺湖小諸線（17.2km/h）となっている。

表 6－1 主要な幹線の断面交通量・大型混入率・混雑度・旅行速度（平成 22 年）

路線名	観測地点名	平日12時間 交通量 (台)	平日24時間 交通量 (台)	大型車 混入率 (%)	混雑度	混雑時平均 旅行速度 (km/h)	位置図 対応番号
上信越自動車道	佐久～小諸	14,565	22,066	27.3	0.30	75.9	1
上信越自動車道	小諸～東部湯の丸	16,451	24,181	24.2	0.38	80.4	2
一般国道18号線	小諸市平原1172-1	10,809	18,274	11.1	0.99	45.3	3
一般国道18号線	上田市大屋	15,285	22,316	6.5	1.60	27.2	4
一般国道18号線	上田市大屋	15,285	22,316	6.5	1.49	36.2	5
一般国道18号線	上田市大屋	15,285	22,316	6.5	1.49	30.5	6
一般国道18号線	上田市大屋	15,285	22,316	6.5	1.49	22.3	7
一般国道18号線	上田市大屋	15,285	22,316	6.5	1.49	29.4	8
一般国道18号線	上田市大屋	15,285	22,316	6.5	1.49	36.9	9
一般国道18号線	上田市大屋	15,285	22,316	6.5	1.49	34.8	10
一般国道18号線	上田市大屋	15,285	22,316	6.5	1.42	36.6	11
一般国道141号線	小諸市御影新田	16,238	20,947	7.2	0.51	24.9	12
一般国道141号線	小諸市御影新田	16,238	20,947	7.2	0.47	23.5	13
一般国道141号線	小諸市御影新田	16,238	20,947	7.2	1.36	33.0	14
一般国道141号線		13,201	17,161	11.8	1.32	22.1	15

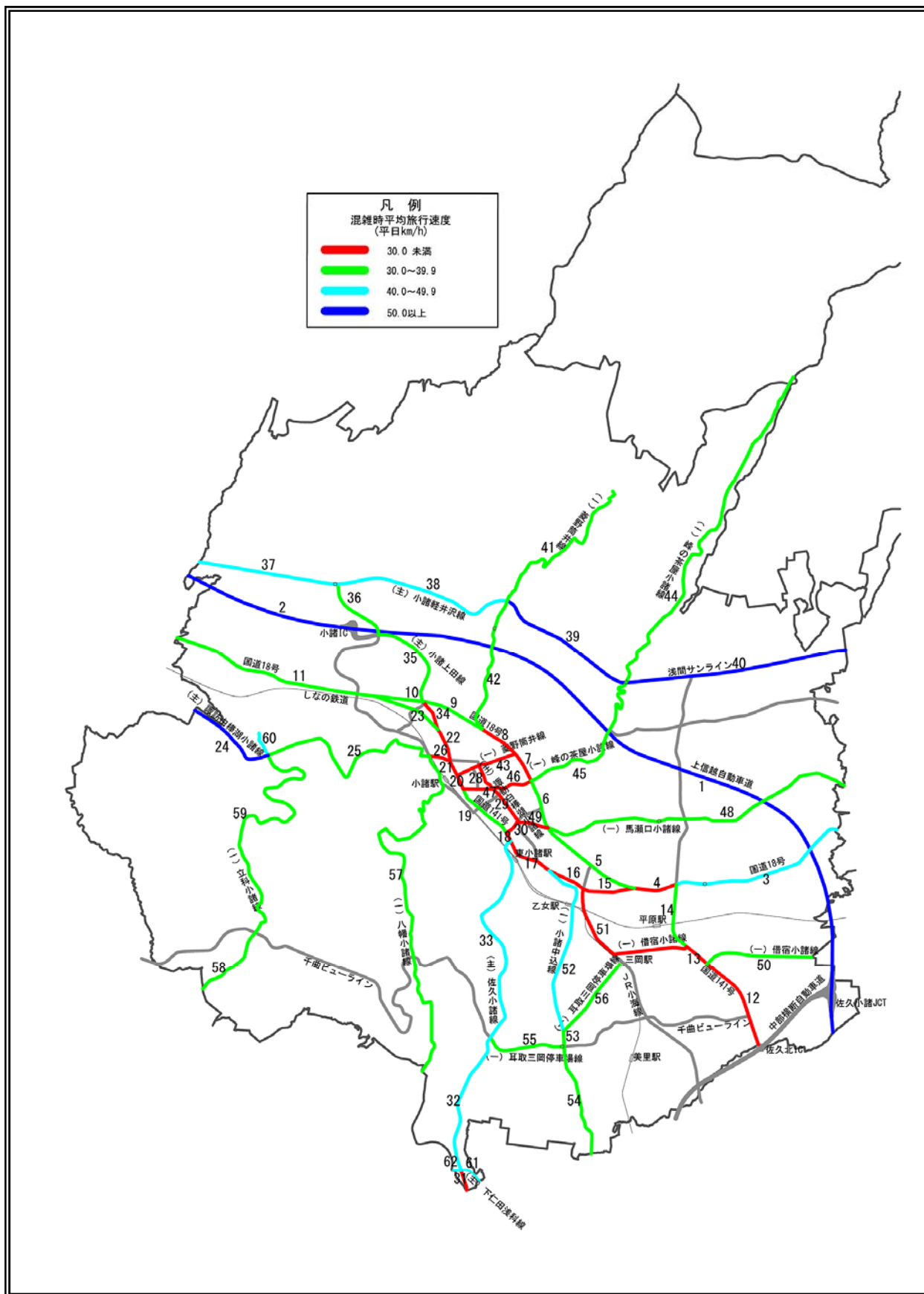
路線名	観測地点名	平日12時間 交通量 (台)	平日24時間 交通量 (台)	大型車 混入率 (%)	混雑度	混雑時平均 旅行速度 (km/h)	位置図 対応番号
一般国道141号線		8,593	10,398	6.5	0.94	27.2	16
一般国道141号線		8,593	10,398	6.5	0.94	25.1	17
一般国道141号線		8,593	10,398	6.5	0.94	29.1	18
一般国道141号線		8,593	10,398	6.5	0.94	30.4	19
一般国道141号線		8,593	10,398	6.5	0.94	20.4	20
一般国道141号線		8,593	10,398	6.5	0.94	16.7	21
一般国道141号線		8,593	10,398	6.5	0.94	24.4	22
一般国道141号線		8,593	10,398	6.5	0.94	36.9	23
諏訪白樺湖小諸線	北佐久郡立科町芦田431（光徳寺前）	1,241	1,601	18.1	0.23	50.6	24
諏訪白樺湖小諸線	北佐久郡立科町芦田431（光徳寺前）	1,241	1,601	18.1	0.23	38.0	25
諏訪白樺湖小諸線		2,618	3,403	4.2	0.25	17.5	26
諏訪白樺湖小諸線		2,618	3,403	4.2	0.35	17.2	27
諏訪白樺湖小諸線		2,618	3,403	4.2	0.35	24.8	28
諏訪白樺湖小諸線		2,618	3,403	4.2	0.35	28.2	29
諏訪白樺湖小諸線		2,618	3,403	4.2	0.35	26.5	30
佐久小諸線	佐久市塩名田	3,357	4,084	4.8	0.58	29.9	31
佐久小諸線		7,606	9,812	9.8	1.09	43.5	32
佐久小諸線		7,606	9,812	9.8	1.09	40.6	33
小諸上田線	小諸市滝原1693-1	12,573	16,686	18.5	1.55	21.6	34
小諸上田線	小諸市滝原1693-1	12,573	16,686	18.5	1.55	30.9	35
小諸上田線	小諸市滝原1693-1	12,573	16,686	18.5	1.55	37.1	36
小諸上田線	小諸市滝原1693-1	12,573	16,686	18.5	1.55	43.7	37
小諸軽井沢線	小諸市甲4575-1	10,246	12,808	16.5	1.53	47.9	38
小諸軽井沢線	小諸市甲4575-1	10,246	12,808	16.5	1.53	52.9	39
小諸軽井沢線	小諸市甲4575-1	10,246	12,808	16.5	1.53	50.0	40
菱野筒井線	小諸市菱平1185-1	1,474	1,843	4.5	0.24	34.9	41
菱野筒井線	小諸市菱平1185-1	1,474	1,843	4.5	0.24	38.3	42
菱野筒井線	小諸市菱平1185-1	1,474	1,843	4.5	0.22	20.6	43
峰の茶屋小諸線	小諸市甲3358-2	3,295	4,284	4.2	0.47	31.4	44
峰の茶屋小諸線	小諸市甲3358-2	3,295	4,284	4.2	0.47	37.7	45
峰の茶屋小諸線	小諸市甲3358-2	3,295	4,284	4.2	0.47	19.4	46
峰の茶屋小諸線	小諸市甲3358-2	3,295	4,284	4.2	0.47	19.0	47
馬瀬口小諸線	小諸市柏木543-3	3,018	3,923	2.7	0.41	37.7	48
馬瀬口小諸線	小諸市柏木543-3	3,018	3,923	2.7	0.41	17.2	49
借宿小諸線	北佐久郡御代田町御代田小田井	7,360	9,494	2.9	0.82	38.2	50
借宿小諸線	小諸市 御影新田 宇釜神	13,654	17,614	7.2	1.04	26.9	51
小諸中込線	佐久市常田	2,862	3,721	0.6	0.40	41.4	52
小諸中込線	佐久市常田	2,862	3,721	0.6	0.40	30.6	53
小諸中込線	佐久市常田	2,862	3,721	0.6	0.40	32.5	54
耳取三岡停車場線	小諸市耳取373-7	6,253	8,066	12.2	0.88	32.4	55
耳取三岡停車場線	小諸市耳取373-7	6,253	8,066	12.2	2.72	39.6	56
八幡小諸線		1,525	1,983	4.4	0.32	36.9	57
立科小諸線	小諸市大久保1421	882	1,103	4.6	0.11	37.7	58
立科小諸線	小諸市大久保1421	882	1,103	4.6	0.11	37.7	59
立科小諸線	小諸市大久保1421	882	1,103	4.6	0.12	49.8	60
下仁田浅科線	佐久市甲1821-1	11,178	14,531	6.50	1.11	40.7	61
下仁田浅科線	佐久市甲1821-1	11,178	14,531	6.50	1.11	43.2	62

注：混雑度…交通容量に対する実際に通過した交通量の割合

混雑度＝交通量/交通容量

資料：H22 道路交通センサス一般交通量調査 国土交通省

図 6-1 混雑時平均旅行速度分布図 (平成 22 年)



C0603 鉄道・路面電車等の状況

小諸市内に開設されている鉄道駅は6駅ある。

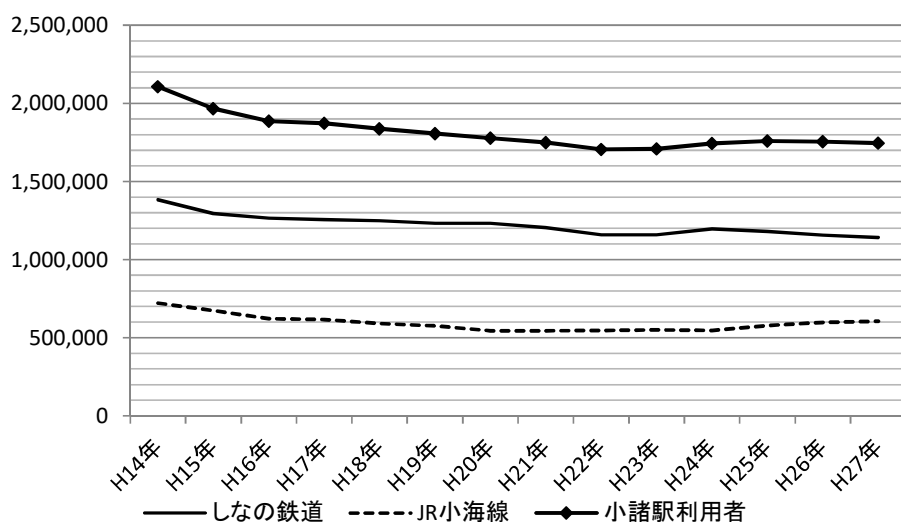
平成27年の小諸駅乗車人員をみるとしなの鉄道が1,141,092人、JR小海線が605,123人である。平成24年以降しなの鉄道は減少傾向、JR小海線は増加傾向であり、小諸駅利用者数全体としては横ばい状態である。

表6-2 小諸駅年間乗降人員（平成14年から平成27年）

路線	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年
しなの鉄道	1,383,770	1,294,288	1,264,607	1,256,415	1,248,856	1,232,075	1,233,012
JR小海線	721,956	672,788	621,827	615,731	589,822	575,314	544,763
合計	2,105,726	1,967,076	1,886,434	1,872,146	1,838,678	1,807,389	1,777,775
路線	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年
しなの鉄道	1,204,670	1,158,592	1,158,265	1,197,408	1,180,916	1,155,788	1,141,092
JR小海線	544,753	545,952	549,864	546,802	577,001	598,542	605,123
合計	1,749,423	1,704,544	1,708,129	1,744,210	1,757,917	1,754,330	1,746,215

資料：企画課

図6-2 小諸駅年間乗降人員（平成14年から平成27年）



C0604 バスの状況

小諸市内で運行しているバス交通はJRバス（1路線）、千曲バス（2路線うち高速バスは平成28年10月廃止）、小諸すみれ号（11路線、JRバス・千曲バスが運行）があり、小諸すみれ号については、平成28年3月末日で終了し、愛のりすみれ号（7路線）が平成28年4月より運行している。またこもろ愛のりくん（予約制相乗りタクシー）が平成27年10月より運行されている。市街地と地域を結ぶ重要な公共交通となっている。

⑦地 価

C0701 地価の状況

平成12年から平成27年までの地価の変化率をみると、住宅地、商業地ともに下落傾向にあり、特に商業地での下落率が高い。

表7-1 地価の状況（平成12年から平成27年）

調査地点番号	利用状況	地 番 ま た は 住 居 表 示	年度	価 格 (円/㎡)	5年間の価格変化率%	調査種別
1	住宅	小諸市紺屋町1丁目2976番1「紺屋町1-2-6」	H12	73,200	-	地価公示
		小諸市紺屋町1丁目2976番1「紺屋町1-2-6」	H17	49,300	-32.7	
		小諸市紺屋町1丁目2976番1「紺屋町1-2-6」	H22	35,000	-29.0	
		小諸市紺屋町1丁目2976番1	H27	27,400	-21.7	
2	住宅	小諸市古城2丁目344番3「古城2-1-11」	H12	71,200	-	地価公示
		小諸市古城2丁目344番3「古城2-1-11」	H17	48,200	-32.3	
		小諸市古城2丁目344番3「古城2-1-11」	H22	35,100	-27.2	
		小諸市古城2丁目344番3「古城2-1-11」	H27	27,500	-21.7	
3	店舗	小諸市相生町2丁目124番1外「相生町2-1-5」	H12	204,000	-	地価公示
		小諸市相生町2丁目124番1外「相生町2-1-5」	H17	87,200	-57.3	
		小諸市相生町2丁目112番2外「相生町2-2-6」	H22	54,000	-38.1	
		小諸市相生町2丁目112番2外「相生町2-2-6」	H27	41,300	-23.5	
4	住宅	小諸市大字加増字濁沢1060-61	H12	41,100	-	都道府県調査
		小諸市大字加増字濁沢1060-61	H17	31,000	-24.6	
		小諸市大字加増字濁沢1060-61	H22	22,700	-26.8	
		小諸市大字加増字濁沢1060-61	H27	17,800	-21.6	
5	別荘	小諸市己字高峯96番9	H12	11,800	-	都道府県調査
		小諸市己字高峯96番9	H17	7,120	-39.7	
6	住宅	小諸市田町1丁目288番21「田町1-9-10」	H12	62,500	-	都道府県調査
		小諸市田町1丁目288番21「田町1-9-10」	H17	38,800	-37.9	
		小諸市田町1丁目288番21「田町1-9-10」	H22	29,500	-24.0	
		小諸市田町1丁目288番21「田町1-9-10」	H27	24,300	-17.6	
7	住宅	小諸市大字御影新田字池の上2121番20	H12	47,000	-	都道府県調査
		小諸市大字御影新田字池の上2121番20	H17	34,200	-27.2	
		小諸市大字御影新田字池の上2121番20	H22	28,600	-16.4	
		小諸市大字御影新田字池の上2121番20	H27	22,500	-21.3	
8	店舗	小諸市大字市字五反田797番16	H12	63,500	-	都道府県調査
		小諸市大字市字五反田797番16	H17	37,900	-40.3	
9	事務所・作業所	小諸市丙字青木442番15	H12	83,000	-	都道府県調査
		小諸市丙字青木442番15	H17	56,200	-32.3	
		小諸市丙字青木442番15	H22	38,000	-32.4	
		小諸市丙字青木442番15	H27	28,400	-25.3	
10	店舗兼用住宅	小諸市南町2丁目2432番地1外1筆「南町2-1-2」	H22	37,900	-	都道府県調査
		小諸市南町2丁目2432番地1外1筆「南町2-1-2」	H27	30,600	-19.3	
11	住宅	小諸市御幸町1丁目1391番3「御幸町1-16-14」	H12	54,200	-	地価公示
		小諸市御幸町1丁目1391番3「御幸町1-16-14」	H17	37,500	-30.8	
		小諸市御幸町1丁目1391番3「御幸町1-16-14」	H22	27,300	-27.2	
		小諸市御幸町1丁目1391番3「御幸町1-16-14」	H27	21,800	-20.1	
12	工場	小諸市大字市字土橋913番2	H27	10,300	-	地価公示

資料：長野県地価調書、国土交通省地価公示

図 7－1 地価の状況（平成 12 年から平成 27 年）

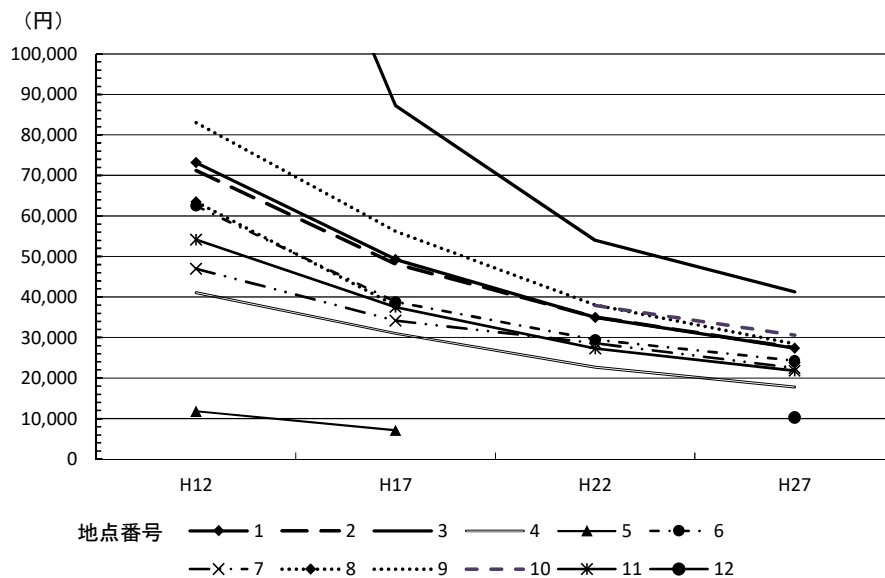
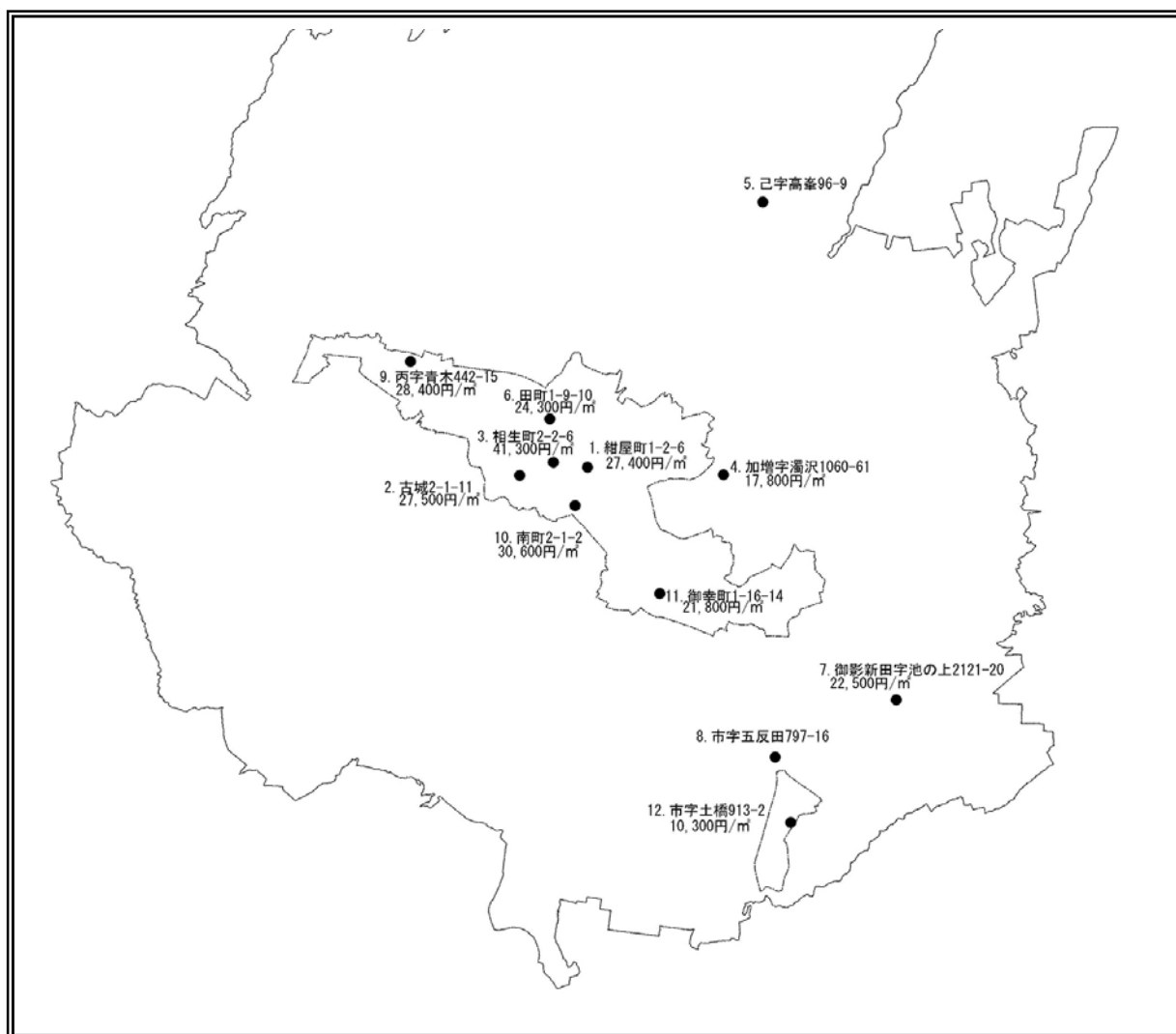


図 7－2 地価の状況（平成 27 年）



⑧自然環境

C0802 気象状況

小諸市の過去 25 年間の気象状況は平均気温 11.1℃、最高気温 37.8℃（平成 22 年）、最低気温-14.8℃（平成 13 年）である。平成 27 年は、平均気温 11.3℃、最高気温 35.4℃、最低気温-10.2℃、降水量 847.5mm である。

図 8－1 気温の変化（平成 3 年から平成 27 年）

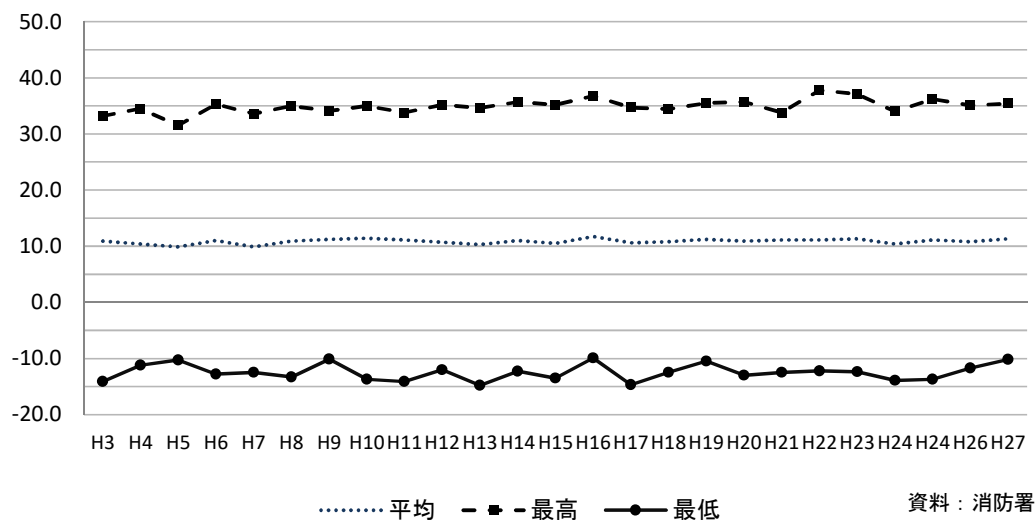
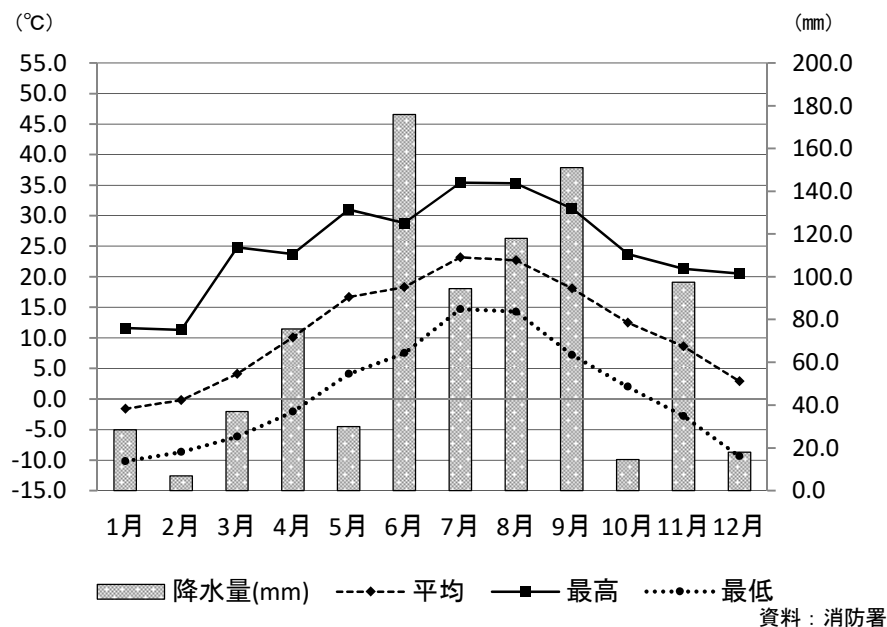


表 8－1 月別気温・降水量の変化（平成 27 年）

月	気 温 （℃）			降 水 量 (mm)			最多風向	最大瞬間 風速時 風向	天 気 日 数 （ 日 ）				
	平均	最高	最低	総量	日最大 降水量	降雪量 (cm)			快晴	晴	曇	雨	雪
1 月	-1.6	11.6	-10.2	28.5	10.0	-	西北西	西北西	-	22	4	1	2
2 月	-0.2	11.3	-8.7	7.0	3.0	-	西北西	西北西	4	16	4	-	3
3 月	4.1	24.8	-6.2	37.0	10.5	-	西北西	西南西	6	18	6	-	1
4 月	10.1	23.7	-2.1	75.5	17.5	-	西北西	西北西	5	8	9	6	1
5 月	16.7	31.0	4.1	30.0	12.0	-	東	西南西	3	21	6	1	-
6 月	18.3	28.8	7.5	176.0	25.0	-	東	西北西	1	17	9	3	-
7 月	23.2	35.4	14.7	94.5	20.5	-	西北西	東	4	12	8	5	-
8 月	22.7	35.3	14.3	118.0	31.5	-	東	東北東	-	17	7	6	-
9 月	18.1	31.2	7.2	151.0	45.5	-	西北西	南東	-	13	11	4	-
10 月	12.5	23.7	2.0	14.5	10.5	-	西北西	北西	5	19	5	1	-
11 月	8.6	21.3	-2.8	97.5	25.5	-	西北西	東北東	4	11	10	4	-
12 月	2.9	20.5	-9.4	18.0	16.0	-	西北西	北西	1	18	9	-	-

資料：消防署

図 8－2 月別気温・降水量の変化（平成 27 年）



C0803 緑の状況

人口集中地区における緑地量の占める公共緑地率は 29%程度であるが、用途地域内では約 15%程度である。都市計画区域全体的には山林原野、農地牧草地が大半を占めている。

表 8－2 現存緑地量の計量（平成 27 年）

		用途地域			用途地域外	都市計画区域
		人口集中地区	人口集中地区以外	小計		
公共緑地	公園、緑地	20.1	—	20.1	64.3	84.4
	広場、運動場	1.5	—	1.5	6.4	7.9
	墓園	—	—	—	2.5	2.5
	その他	—	—	—	—	—
	計	21.6	—	21.6	73.2	94.8
その他の緑地	水面、水辺	2.4	2.6	5.0	127.5	132.5
	山林、原野	14.1	10.9	25.0	2110.1	2135.1
	農地牧草地	26.5	41.1	67.6	3023.8	3091.4
	寺社境内地	1.5	—	1.5	2.4	3.9
	供給処理施設等	—	—	—	—	—
	遊園地等	0.2	0.1	0.3	1.0	1.3
	住宅緑地工場緑地	—	3.9	3.9	4.0	7.9
	学校厚生施設等	9.5	5.9	15.4	13.7	29.1
	農林業試験場等	—	—	—	—	—
計		54.2	64.5	118.7	5282.5	5401.2
合 計		75.8	64.5	140.3	5355.7	5496.0

資料：緑地総括図

⑨公害及び災害

C0901 災害の発生状況

平成 18 年から平成 27 年までの過去 10 年間における災害の発生状況は、水害が 4 回発生しており、床下浸水が 25 戸、浸水田畑が 24ha、被災人口が 139 人となっている。

また土砂災害は表層崩壊など 2 件発生している。

表 9－1 水害被害発生状況（平成 18 年から平成 27 年）

発生年月日	床上浸水 (戸)	床下浸水 (戸)	浸水田畑 (ha)	被災人口 (人)	備 考
H18. 7. 17～19	－	7	－	24	内水被害（うち 2 戸非住家）
H19. 6. 6	－	4	－	10	内水被害（うち 1 戸非住家）
H19. 9. 6	－	10	－	25	内水被害（うち 1 戸非住家）
H24. 6. 20	－	4	24	80	内水被害

資料：総務課

表 9－2 土砂災害発生状況（平成 18 年から平成 27 年）

発生年月日	被害面積 (ha)	状 況	備 考
H18. 7. 17～7. 19	0. 03	表層崩壊	鍋久保区
H25. 5. 1	0. 21	－	場所不明

資料：総務課

C0902 防災拠点・避難場所

防災拠点・避難場所については、防災拠点が 1 箇所、避難所が 24 箇所、一時避難地・避難所が 70 箇所、一時避難地が 24 箇所ある。

表 9－3 防災拠点・避難場所

位置	名 称	種 別	収容可能 人 数
1	小諸市役所	防災拠点	－
2	野岸の丘総合福祉センター	避難所	270
3	野岸小学校 体育館	避難所	300
4	人権センター	避難所	170
5	文化センター	避難所	120
6	長野県小諸高等学校 体育館	避難所	690
7	坂の上小学校 体育館	避難所	190
8	長野県小諸商業高等学校 体育館	避難所	570
9	市民交流センター	避難所	170
10	総合体育館(武道館含む)	避難所	1,760
11	芦原中学校 体育館	避難所	640
12	芦原保育園	避難所	130
13	ひまわり園	避難所	120
14	水明小学校 体育館	避難所	190
15	クリーンヒルこもろ	避難所	40
16	西保育園	避難所	130
17	小諸東中学校 体育館	避難所	480
18	東小学校 体育館	避難所	160
19	東保育園	避難所	200
20	長野県農業大学校 体育館	避難所	210

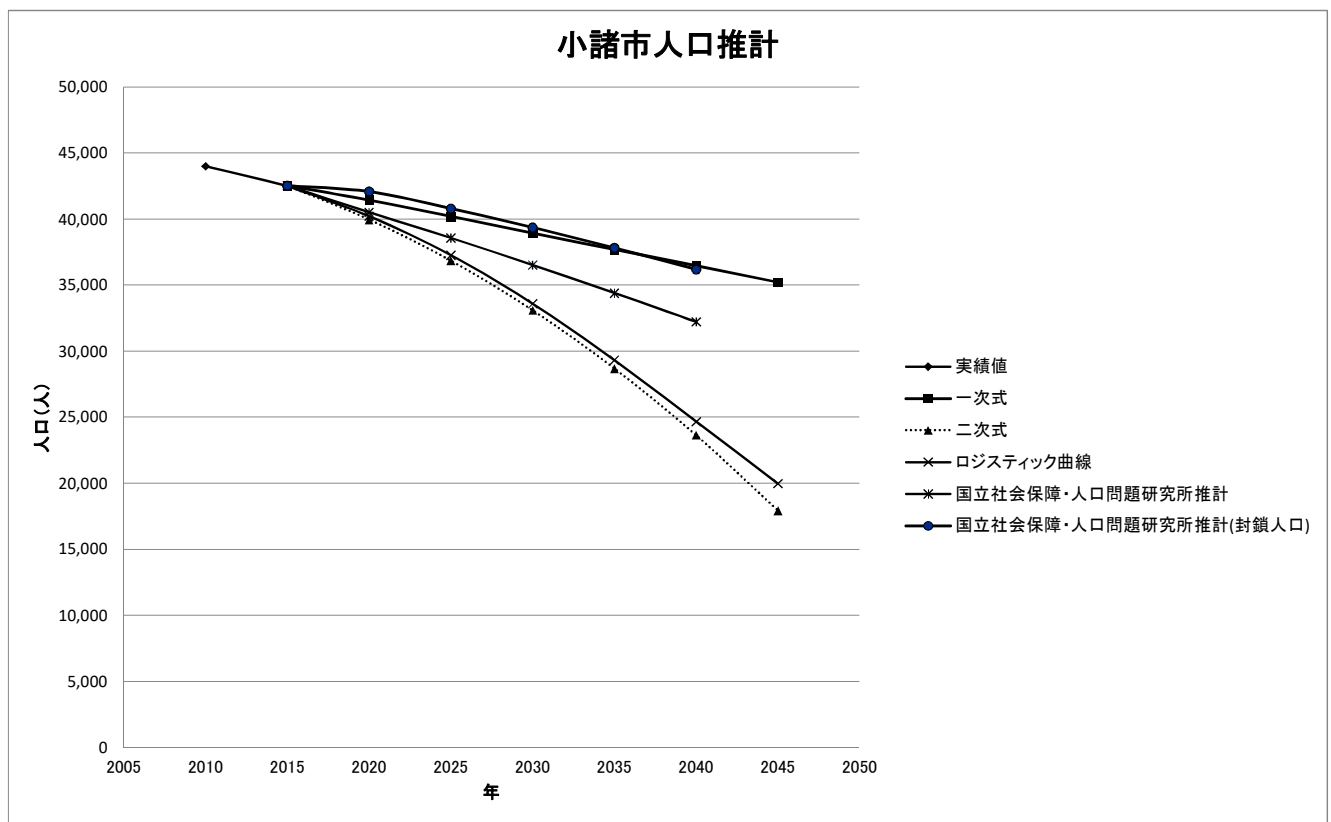
位置	名 称	種 別	収 容 可 能 人 数
21	千曲保育園	避難所	130
22	美里保育園	避難所	160
23	和田体育館	避難所	200
24	美南ガ丘小学校 体育館	避難所	370
25	南保育園	避難所	260
26	小原研修センター	一時避難地・避難所	20
27	東小諸区集会場	一時避難地・避難所	20
28	東山区公民館	一時避難地・避難所	20
29	乙女区民会館	一時避難地・避難所	20
30	御幸町区民会館	一時避難地・避難所	60
31	与良公会堂	一時避難地・避難所	20
32	鶴巻会館	一時避難地・避難所	20
33	赤坂区民会館	一時避難地・避難所	20
34	緑ヶ丘区ふれあい館	一時避難地・避難所	40
35	北国街道荒町館	一時避難地・避難所	30
36	紺屋町会館	一時避難地・避難所	20
37	八幡町公民館	一時避難地・避難所	20
38	三和公民館	一時避難地・避難所	20
39	天池区集会所	一時避難地・避難所	40
40	松井会館	一時避難地・避難所	20
41	東雲コミュニティセンター	一時避難地・避難所	60
42	大手門公園	一時避難地・避難所	-
43	相生会館	一時避難地・避難所	20
44	北国街道ほんまち町屋館	一時避難地・避難所	140
45	六供公民館(旧社会福祉会館2階)	一時避難地・避難所	20
46	大手区公民館	一時避難地・避難所	20
47	健速会館	一時避難地・避難所	20
48	古城会館	一時避難地・避難所	20
49	市町区公民館	一時避難地・避難所	20
50	新町区公民館	一時避難地・避難所	40
51	押出公民館	一時避難地・避難所	30
52	両神会館	一時避難地・避難所	20
53	富士見平区集会所	一時避難地・避難所	10
54	菱野区公民館	一時避難地・避難所	20
55	後平公民館	一時避難地・避難所	20
56	諸公民館	一時避難地・避難所	20
57	西原生活改善センター	一時避難地・避難所	70
58	滝原公民館	一時避難地・避難所	20
59	芝生田区民会館	一時避難地・避難所	20
60	井子多目的集会施設	一時避難地・避難所	60
61	糠地公民館	一時避難地・避難所	70
62	原村生活改善センター	一時避難地・避難所	50
63	中村農事集会所	一時避難地・避難所	30
64	八代会館	一時避難地・避難所	20
65	西八満生活改善センター	一時避難地・避難所	40
66	東区公民館	一時避難地・避難所	30
67	藤塚農村研修センター	一時避難地・避難所	30
68	石峠生活改善センター	一時避難地・避難所	20
69	柏木上生活改善センター	一時避難地・避難所	40
70	柏木下生活改善センター	一時避難地・避難所	50
71	四ツ谷区公民館	一時避難地・避難所	70
72	加増公民館	一時避難地・避難所	20
73	荒堀会館	一時避難地・避難所	90
74	南ヶ原集会所	一時避難地・避難所	40
75	乗瀬生活改善センター	一時避難地・避難所	70

位置	名称	種別	収容可能 人数
76	ひばりヶ丘区生活改善センター	一時避難地・避難所	40
77	大久保公民館	一時避難地・避難所	60
78	氷区生活改善センター	一時避難地・避難所	20
79	鍋久保集出荷所	一時避難地・避難所	60
80	西浦農事集会所	一時避難地・避難所	20
81	上ノ平公会場	一時避難地・避難所	20
82	久保公民館	一時避難地・避難所	90
83	大杭研修センター	一時避難地・避難所	40
84	宮沢集出荷センター	一時避難地・避難所	60
85	御牧ヶ原区公民館	一時避難地・避難所	20
86	諏訪山公民館	一時避難地・避難所	20
87	市区農事集会所	一時避難地・避難所	20
88	耳取区多目的集会場	一時避難地・避難所	80
89	森山多目的共同利用施設	一時避難地・避難所	80
90	御影コミュニティセンター	一時避難地・避難所	20
91	平原集会所	一時避難地・避難所	120
92	和田農村研修センター	一時避難地・避難所	90
93	一ツ谷公民館	一時避難地・避難所	60
94	谷地原コミュニティセンター	一時避難地・避難所	20
95	池の前公民館	一時避難地・避難所	40
96	野岸の丘総合福祉センター 駐車場	一時避難地	－
97	野岸小学校 校庭	一時避難地	－
98	人権センター 駐車場	一時避難地	－
99	乙女湖公園	一時避難地	－
100	長野県小諸高等学校 校庭	一時避難地	－
101	坂の上小学校 校庭	一時避難地	－
102	長野県小諸商業高等学校 校庭	一時避難地	－
103	総合体育館(武道館含む) 駐車場	一時避難地	－
104	芦原中学校 校庭	一時避難地	－
105	芦原保育園 園庭	一時避難地	－
106	ひまわり園 園庭	一時避難地	－
107	水明小学校 校庭	一時避難地	－
108	クリーンヒルこもろ 多目的広場	一時避難地	－
109	西保育園 園庭	一時避難地	－
110	小諸東中学校 校庭	一時避難地	－
111	東小学校 校庭	一時避難地	－
112	東保育園 園庭	一時避難地	－
113	長野県農業大学校 グラウンド	一時避難地	－
114	千曲小学校 校庭	一時避難地	－
115	千曲保育園 園庭	一時避難地	－
116	美里保育園 園庭	一時避難地	－
117	和田体育館 駐車場	一時避難地	－
118	美南ガ丘小学校 校庭	一時避難地	－
119	南保育園 園庭	一時避難地	－

参 考 資 料

		2010	2015	2020	2025	2027	2030	2035	2040	2045	備 考
年		平成 22 年	平成 27 年	平成 32 年	平成 37 年 (10 年 後)	平成 39 年	平成 42 年	平成 47 年 (20 年 後)	平成 52 年	平成 57 年 (30 年 後)	
行政 区 域	実 績 値	43,997	42,512								
	一 次 式			41,432	40,188		38,944	37,700	36,456	35,212	
	二 次 式			39,960	36,850		33,092	28,688	23,636	17,938	
	ロジスティック曲線			40,208	37,259		33,601	29,328	24,672	19,967	
	国立社会保障・人口問題研究所推計			40,507	38,572		36,517	34,401	32,220		
	国立社会保障・人口問題研究所推計(封鎖人口)			42,081	40,785		39,354	37,815	36,194		
	小諸市総合計画(第5次基本構想)					38,279					

単位：人



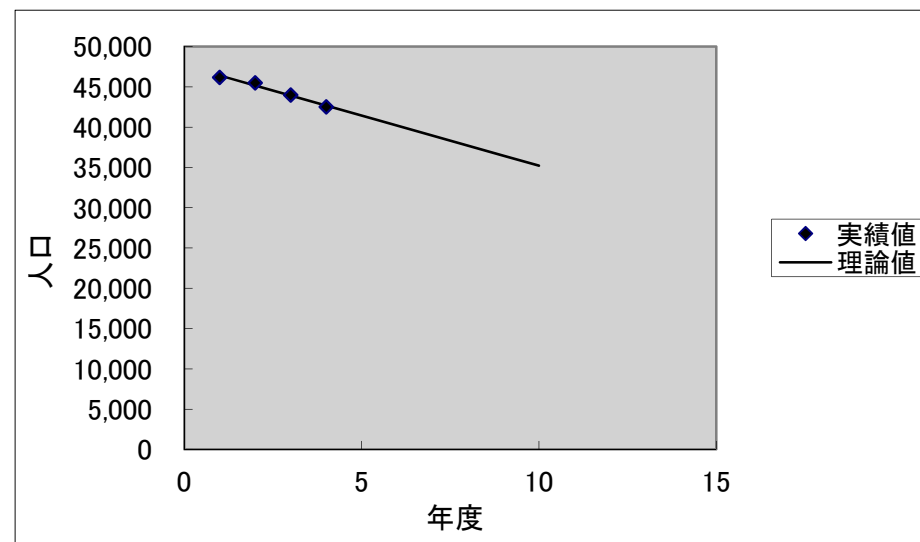
人口推計：1次式	年度	人口
サンプル数	4	4
合計	8,030	178,166
平均	2007.5	44541.5
偏差平方和	125	7,945,229
分散	31.25	1,986,307.3
標準偏差	5.590169944	1,409.3641
積和	-31,100	
共分散	-7,775	
相関係数	-0.9869	

精度

決定係数	0.9739
修正済決定係数	0.9608
重相関係数	0.9869
修正済重相関係数	0.9802
ダービンソン比	2.2494

関数式：直線 $y = a x + b$

係数 a	-248.8
定数項 b	544,007.5



分散分析表

**:1%有意 * :5%有意

要因	偏差平方和	自由度	平均平方	F 値	P 値	判定
回帰変動	7,737,680	1	7,737,680	74.562441	0.0131	*
誤差変動	207,549	2	103,775			
全体変動	7,945,229	3				

データNo.	年度	実績値	理論値
1	2000年	46,158	46,408
2	2005年	45,499	45,164
3	2010年	43,997	43,920
4	2015年	42,512	42,676
5	2020年		41,432
6	2025年		40,188
7	2030年		38,944
8	2035年		37,700
9	2040年		36,456
10	2045年		35,212

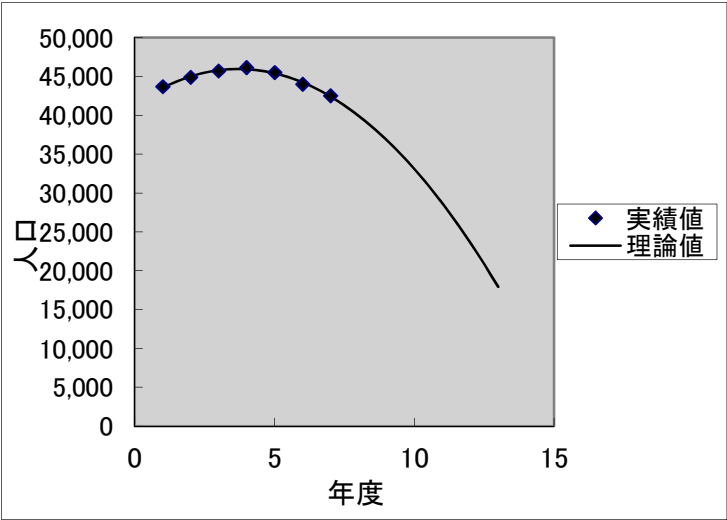
人口推計：2次式	年度	人口
サンプル数	7	7
合計	14,000	312,469
平均	2,000	44,638.42857
偏差平方和	700	10,064,649.71
分散	100	1,437,807.102
標準偏差	10	1,199.0859
積和	-27,860	
共分散	-3.980	
相関係数	-0.3319	

精度

決定係数	0.9836
修正済決定係数	0.9754
重相関係数	0.9918
修正済重相関係数	0.9876
ダービンワトソン比	2.4343

関数式：2次関数 $y = a_1x + a_2x^2 + b$

係数 a1	51,720.2
係数 a2	-12.94
定数項 b	-51,634,467.57



分散分析表

** : 1%有意 * : 5%有意

要因	偏差平方和	自由度	平均平方	F 値	P 値	判定
回帰変動	9,899,617	2	4,949,808.5	119.971571	0.0003	**
誤差変動	165,032.7143	4	41,258.1786			
全体変動	10,064,649.71	6				

データNo.	年度	実績値	理論値
1	1985年	43,705	43,618
2	1990年	44,888	45,036
3	1995年	45,710	45,808
4	2000年	46,158	45,932
5	2005年	45,499	45,410
6	2010年	43,997	44,240
7	2015年	42,512	42,424
8	2020年		39,960
9	2025年		36,850
10	2030年		33,092
11	2035年		28,688
12	2040年		23,636
13	2045年		17,938

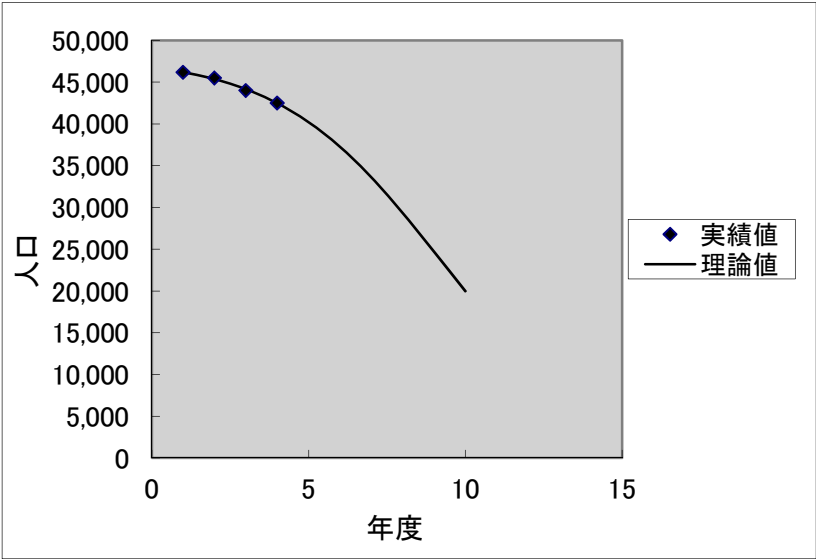
人口推計：ロジスティック曲線	年度	人口
サンプル数	4	4
合計	8,030	178,166
平均	2,007.5	44,541.5
偏差平方和	125	7,945,229
分散	31.25	1,986,307.3
標準偏差	5.590169944	1,409.3641
積和	-31,100	
共分散	-7,775	
相関係数	-0.9869	

精度

決定係数	0.9926
修正済決定係数	0.9889
重相関係数	0.9963
修正済重相関係数	0.9944
ダービンソン比	3.3292

関数式：ロジスティック $y = k / (1 + \exp^{-bx})$

係数 a	1.023827321
定数項 b	-0.078972629
上限値 k	48064.16183



分散分析表

** : 1%有意 * : 5%有意

要因	偏差平方和	自由度	平均平方	F 値	P 値	判定
回帰変動	0.779584519	1	0.77958452	268.4502693	0.0037	**
誤差変動	0.005808037	2	0.00290402			
全体変動	0.785392556	3				

データNo.	年度	実績値	理論値
1	2000年	46,158	46,204
2	2005年	45,499	45,353
3	2010年	43,997	44,148
4	2015年	42,512	42,472
5	2020年		40,208
6	2025年		37,259
7	2030年		33,601
8	2035年		29,328
9	2040年		24,672
10	2045年		19,967

男女計	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
総数	43,997	42,281	40,507	38,572	36,517	34,401	32,220
0～4歳	1,853	1,680	1,444	1,296	1,191	1,131	1,058
5～9歳	1,908	1,776	1,627	1,398	1,256	1,154	1,096
10～14歳	2,096	1,861	1,741	1,595	1,372	1,233	1,132
15～19歳	2,187	1,961	1,773	1,660	1,521	1,308	1,175
20～24歳	1,723	1,852	1,765	1,598	1,494	1,367	1,175
25～29歳	2,099	1,707	1,861	1,775	1,607	1,504	1,376
30～34歳	2,772	2,079	1,701	1,859	1,771	1,604	1,500
35～39歳	2,980	2,704	2,039	1,671	1,825	1,740	1,575
40～44歳	2,738	2,968	2,688	2,032	1,665	1,817	1,733
45～49歳	2,671	2,670	2,908	2,634	1,992	1,634	1,783
50～54歳	2,678	2,574	2,592	2,823	2,558	1,935	1,587
55～59歳	3,174	2,611	2,515	2,537	2,763	2,505	1,895
60～64歳	3,606	3,080	2,537	2,450	2,475	2,695	2,445
65～69歳	2,937	3,471	2,968	2,449	2,367	2,395	2,606
70～74歳	2,362	2,783	3,300	2,825	2,334	2,261	2,291
75～79歳	2,259	2,097	2,498	2,984	2,556	2,120	2,059
80～84歳	2,002	1,890	1,775	2,123	2,566	2,202	1,836
85～89歳	1,262	1,528	1,467	1,397	1,680	2,069	1,782
90歳以上	687	989	1,308	1,466	1,524	1,727	2,116
（再掲）0～14歳	5,857	5,317	4,812	4,289	3,819	3,518	3,286
（再掲）15～64歳	26,631	24,206	22,379	21,039	19,671	18,109	16,244
（再掲）65歳以上	11,509	12,758	13,316	13,244	13,027	12,774	12,690
（再掲）75歳以上	6,210	6,504	7,048	7,970	8,326	8,118	7,793

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25（2013）年3月推計）

男	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
総数	21,463	20,554	19,653	18,661	17,586	16,474	15,363
0～4歳	965	862	741	665	611	580	543
5～9歳	975	927	836	718	645	593	563
10～14歳	1,085	952	909	820	705	634	582
15～19歳	1,140	1,013	905	865	780	671	603
20～24歳	822	948	899	804	767	691	594
25～29歳	1,094	828	963	914	817	781	703
30～34歳	1,405	1,085	827	963	913	817	780
35～39歳	1,561	1,355	1,056	805	938	890	796
40～44歳	1,357	1,547	1,342	1,048	799	930	883
45～49歳	1,361	1,329	1,519	1,318	1,030	786	915
50～54歳	1,386	1,310	1,288	1,472	1,278	999	762
55～59歳	1,592	1,328	1,262	1,242	1,421	1,234	964
60～64歳	1,795	1,505	1,263	1,203	1,186	1,357	1,179
65～69歳	1,470	1,696	1,426	1,200	1,144	1,129	1,292
70～74歳	1,107	1,369	1,586	1,335	1,126	1,076	1,064
75～79歳	988	955	1,196	1,399	1,178	999	958
80～84歳	790	767	756	955	1,134	956	818
85～89歳	390	530	527	529	677	822	696
90歳以上	177	248	352	406	437	529	668
（再掲）0～14歳	3,025	2,741	2,486	2,203	1,961	1,807	1,688
（再掲）15～64歳	13,516	12,248	11,324	10,634	9,929	9,156	8,179
（再掲）65歳以上	4,922	5,565	5,843	5,824	5,696	5,511	5,496
（再掲）75歳以上	2,345	2,500	2,831	3,289	3,426	3,306	3,140

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25（2013）年3月推計）

女	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
総数	22,534	21,727	20,854	19,911	18,931	17,927	16,857
0～4歳	888	818	703	631	580	551	515
5～9歳	933	849	791	680	611	561	533
10～14歳	1,011	909	832	775	667	599	550
15～19歳	1,047	948	868	795	741	637	572
20～24歳	901	904	866	794	727	676	581
25～29歳	1,005	879	898	861	790	723	673
30～34歳	1,367	994	874	896	858	787	720
35～39歳	1,419	1,349	983	866	887	850	779
40～44歳	1,381	1,421	1,346	984	866	887	850
45～49歳	1,310	1,341	1,389	1,316	962	848	868
50～54歳	1,292	1,264	1,304	1,351	1,280	936	825
55～59歳	1,582	1,283	1,253	1,295	1,342	1,271	931
60～64歳	1,811	1,575	1,274	1,247	1,289	1,338	1,266
65～69歳	1,467	1,775	1,542	1,249	1,223	1,266	1,314
70～74歳	1,255	1,414	1,714	1,490	1,208	1,185	1,227
75～79歳	1,271	1,142	1,302	1,585	1,378	1,121	1,101
80～84歳	1,212	1,123	1,019	1,168	1,432	1,246	1,018
85～89歳	872	998	940	868	1,003	1,247	1,086
90歳以上	510	741	956	1,060	1,087	1,198	1,448
（再掲）0～14歳	2,832	2,576	2,326	2,086	1,858	1,711	1,598
（再掲）15～64歳	13,115	11,958	11,055	10,405	9,742	8,953	8,065
（再掲）65歳以上	6,587	7,193	7,473	7,420	7,331	7,263	7,194
（再掲）75歳以上	3,865	4,004	4,217	4,681	4,900	4,812	4,653

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
年齢別割合（0～14歳：％）	13.3	12.6	11.9	11.1	10.5	10.2	10.2
年齢別割合（15～64歳：％）	60.5	57.3	55.2	54.5	53.9	52.6	50.4
年齢別割合（65歳以上：％）	26.2	30.2	32.9	34.3	35.7	37.1	39.4
年齢別割合（75歳以上：％）	14.1	15.4	17.4	20.7	22.8	23.6	24.2

※参考: 封鎖人口を仮定した男女・年齢(5歳)階級別の推計結果

男女計	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
総数	43,997	43,190	42,081	40,785	39,354	37,815	36,194
0～4歳	1,853	1,734	1,526	1,419	1,354	1,335	1,298
5～9歳	1,908	1,838	1,721	1,516	1,409	1,345	1,326
10～14歳	2,096	1,900	1,831	1,715	1,511	1,404	1,340
15～19歳	2,187	2,096	1,902	1,834	1,718	1,514	1,407
20～24歳	1,723	2,198	2,124	1,931	1,865	1,748	1,541
25～29歳	2,099	1,725	2,225	2,152	1,958	1,893	1,775
30～34歳	2,772	2,091	1,727	2,229	2,156	1,963	1,898
35～39歳	2,980	2,754	2,080	1,718	2,218	2,146	1,954
40～44歳	2,738	2,956	2,733	2,065	1,707	2,204	2,132
45～49歳	2,671	2,714	2,930	2,710	2,048	1,693	2,186
50～54歳	2,678	2,638	2,680	2,895	2,678	2,024	1,675
55～59歳	3,174	2,631	2,592	2,636	2,848	2,636	1,992
60～64歳	3,606	3,094	2,566	2,531	2,578	2,784	2,579
65～69歳	2,937	3,487	2,994	2,485	2,454	2,502	2,702
70～74歳	2,362	2,784	3,319	2,850	2,370	2,344	2,393
75～79歳	2,259	2,153	2,547	3,057	2,628	2,190	2,175
80～84歳	2,002	1,911	1,836	2,182	2,651	2,281	1,911
85～89歳	1,262	1,501	1,458	1,418	1,698	2,102	1,814
90歳以上	687	985	1,290	1,442	1,505	1,707	2,096
(再掲)0～14歳	5,857	5,472	5,078	4,650	4,274	4,084	3,964
(再掲)15～64歳	26,631	24,897	23,559	22,701	21,774	20,605	19,139
(再掲)65歳以上	11,509	12,821	13,444	13,434	13,306	13,126	13,091
(再掲)75歳以上	6,210	6,550	7,131	8,099	8,482	8,280	7,996

男	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
総数	21,463	21,086	20,554	19,918	19,191	18,403	17,587
0～4歳	965	890	783	728	695	685	666
5～9歳	975	957	883	778	723	690	680
10～14歳	1,085	971	953	880	775	720	687
15～19歳	1,140	1,084	971	954	880	776	721
20～24歳	822	1,146	1,097	984	968	894	788
25～29歳	1,094	824	1,161	1,112	999	984	909
30～34歳	1,405	1,090	825	1,164	1,115	1,002	987
35～39歳	1,561	1,396	1,084	821	1,158	1,110	997
40～44歳	1,357	1,547	1,383	1,075	814	1,149	1,101
45～49歳	1,361	1,343	1,531	1,369	1,064	806	1,138
50～54歳	1,386	1,340	1,322	1,508	1,349	1,049	795
55～59歳	1,592	1,354	1,309	1,293	1,476	1,321	1,027
60～64歳	1,795	1,536	1,308	1,266	1,252	1,430	1,280
65～69歳	1,470	1,715	1,468	1,252	1,214	1,202	1,373
70～74歳	1,107	1,368	1,604	1,374	1,175	1,141	1,131
75～79歳	988	977	1,216	1,438	1,233	1,059	1,033
80～84歳	790	782	783	984	1,182	1,015	879
85～89歳	390	524	532	543	692	850	733
90歳以上	177	242	341	395	427	520	662
(再掲)0～14歳	3,025	2,818	2,619	2,386	2,193	2,095	2,033
(再掲)15～64歳	13,516	12,660	11,991	11,546	11,075	10,521	9,743
(再掲)65歳以上	4,922	5,608	5,944	5,986	5,923	5,787	5,811
(再掲)75歳以上	2,345	2,525	2,872	3,360	3,534	3,444	3,307

女	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
総数	22,534	22,104	21,527	20,867	20,163	19,412	18,607
0～4歳	888	844	743	691	659	650	632
5～9歳	933	881	838	738	686	655	646
10～14歳	1,011	929	878	835	736	684	653
15～19歳	1,047	1,012	931	880	838	738	686
20～24歳	901	1,052	1,027	947	897	854	753
25～29歳	1,005	901	1,064	1,040	959	909	866
30～34歳	1,367	1,001	902	1,065	1,041	961	911
35～39歳	1,419	1,358	996	897	1,060	1,036	957
40～44歳	1,381	1,409	1,350	990	893	1,055	1,031
45～49歳	1,310	1,371	1,399	1,341	984	887	1,048
50～54歳	1,292	1,298	1,358	1,387	1,329	975	880
55～59歳	1,582	1,277	1,283	1,343	1,372	1,315	965
60～64歳	1,811	1,558	1,258	1,265	1,326	1,354	1,299
65～69歳	1,467	1,772	1,526	1,233	1,240	1,300	1,329
70～74歳	1,255	1,416	1,715	1,476	1,195	1,203	1,262
75～79歳	1,271	1,176	1,331	1,619	1,395	1,131	1,142
80～84歳	1,212	1,129	1,053	1,198	1,469	1,266	1,032
85～89歳	872	977	926	875	1,006	1,252	1,081
90歳以上	510	743	949	1,047	1,078	1,187	1,434
(再掲)0～14歳	2,832	2,654	2,459	2,264	2,081	1,989	1,931
(再掲)15～64歳	13,115	12,237	11,568	11,155	10,699	10,084	9,396
(再掲)65歳以上	6,587	7,213	7,500	7,448	7,383	7,339	7,280
(再掲)75歳以上	3,865	4,025	4,259	4,739	4,948	4,836	4,689

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
年齢別割合(0～14歳：%)	13.3	12.7	12.1	11.4	10.9	10.8	11.0
年齢別割合(15～64歳：%)	60.5	57.6	56.0	55.7	55.3	54.5	52.9
年齢別割合(65歳以上：%)	26.2	29.7	31.9	32.9	33.8	34.7	36.2
年齢別割合(75歳以上：%)	14.1	15.2	16.9	19.9	21.6	21.9	22.1

20208 小諸市

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25（2013）年3月推計）

生残率・男

	2010年→ 2015年	2015年→ 2020年	2020年→ 2025年	2025年→ 2030年	2030年→ 2035年	2035年→ 2040年
0～4歳→5～9歳	0.99912	0.99924	0.99932	0.99939	0.99945	0.99950
5～9歳→10～14歳	0.99966	0.99970	0.99973	0.99975	0.99977	0.99978
10～4歳→15～19歳	0.99905	0.99914	0.99921	0.99927	0.99933	0.99937
15～19歳→20～24歳	0.99748	0.99766	0.99782	0.99795	0.99806	0.99817
20～24歳→25～29歳	0.99666	0.99684	0.99698	0.99711	0.99724	0.99735
25～29歳→30～34歳	0.99647	0.99664	0.99678	0.99689	0.99700	0.99710
30～34歳→35～39歳	0.99564	0.99587	0.99605	0.99622	0.99636	0.99649
35～39歳→40～44歳	0.99376	0.99409	0.99437	0.99460	0.99482	0.99501
40～44歳→45～49歳	0.99158	0.99201	0.99234	0.99262	0.99284	0.99303
45～49歳→50～54歳	0.98722	0.98783	0.98829	0.98866	0.98896	0.98920
50～54歳→55～59歳	0.98014	0.98107	0.98174	0.98227	0.98271	0.98305
55～59歳→60～64歳	0.96802	0.96951	0.97058	0.97148	0.97220	0.97280
60～64歳→65～69歳	0.95564	0.95763	0.95902	0.96014	0.96105	0.96176
65～69歳→70～74歳	0.93170	0.93497	0.93723	0.93901	0.94040	0.94147
70～74歳→75～79歳	0.88269	0.88964	0.89474	0.89890	0.90227	0.90498
75～79歳→80～84歳	0.79035	0.80232	0.81136	0.81901	0.82547	0.83093
80～84歳→85～89歳	0.66072	0.67900	0.69307	0.70529	0.71593	0.72521
85歳以上→90歳以上	0.39289	0.40928	0.42267	0.43474	0.44565	0.45552

純移動率・男

	2010年→ 2015年	2015年→ 2020年	2020年→ 2025年	2025年→ 2030年	2030年→ 2035年	2035年→ 2040年
0～4歳→5～9歳	-0.03898	-0.03001	-0.02940	-0.02933	-0.02933	-0.02937
5～9歳→10～14歳	-0.02373	-0.01872	-0.01798	-0.01783	-0.01781	-0.01785
10～4歳→15～19歳	-0.06503	-0.04761	-0.04773	-0.04814	-0.04819	-0.04839
15～19歳→20～24歳	-0.16653	-0.11051	-0.11015	-0.11085	-0.11198	-0.11235
20～24歳→25～29歳	0.01098	0.01952	0.01914	0.01981	0.02038	0.02007
25～29歳→30～34歳	-0.00416	0.00160	0.00276	0.00254	0.00235	0.00221
30～34歳→35～39歳	-0.03164	-0.02257	-0.02171	-0.02186	-0.02200	-0.02221
35～39歳→40～44歳	-0.00311	-0.00356	-0.00268	-0.00234	-0.00307	-0.00303
40～44歳→45～49歳	-0.01243	-0.00995	-0.00991	-0.00993	-0.01000	-0.00993
45～49歳→50～54歳	-0.02500	-0.01889	-0.01901	-0.01913	-0.01909	-0.01911
50～54歳→55～59歳	-0.02242	-0.01731	-0.01710	-0.01733	-0.01743	-0.01730
55～59歳→60～64歳	-0.02295	-0.01783	-0.01729	-0.01712	-0.01743	-0.01747
60～64歳→65～69歳	-0.01104	-0.01004	-0.00948	-0.00915	-0.00896	-0.00940
65～69歳→70～74歳	-0.00049	0.00039	-0.00137	-0.00069	0.00020	0.00112
70～74歳→75～79歳	-0.01935	-0.01554	-0.01271	-0.01590	-0.01504	-0.01455
75～79歳→80～84歳	-0.01327	-0.01119	-0.01308	-0.00888	-0.01382	-0.01243
80～84歳→85～89歳	0.00942	0.00738	0.00684	0.00309	0.00946	0.00255
85歳以上→90歳以上	0.04385	0.04360	0.03872	0.03242	0.02926	0.03888

生残率・女

	2010年→ 2015年	2015年→ 2020年	2020年→ 2025年	2025年→ 2030年	2030年→ 2035年	2035年→ 2040年
0～4歳→5～9歳	0.99941	0.99949	0.99954	0.99958	0.99961	0.99964
5～9歳→10～14歳	0.99976	0.99979	0.99980	0.99982	0.99983	0.99983
10～4歳→15～19歳	0.99954	0.99958	0.99960	0.99962	0.99963	0.99965
15～19歳→20～24歳	0.99885	0.99891	0.99896	0.99900	0.99904	0.99908
20～24歳→25～29歳	0.99845	0.99853	0.99860	0.99866	0.99872	0.99878
25～29歳→30～34歳	0.99837	0.99846	0.99853	0.99859	0.99864	0.99869
30～34歳→35～39歳	0.99807	0.99818	0.99825	0.99831	0.99836	0.99839
35～39歳→40～44歳	0.99697	0.99714	0.99726	0.99736	0.99744	0.99752
40～44歳→45～49歳	0.99546	0.99571	0.99590	0.99605	0.99618	0.99629
45～49歳→50～54歳	0.99305	0.99342	0.99370	0.99394	0.99414	0.99431
50～54歳→55～59歳	0.98985	0.99037	0.99076	0.99109	0.99137	0.99161
55～59歳→60～64歳	0.98572	0.98641	0.98694	0.98738	0.98776	0.98808
60～64歳→65～69歳	0.97783	0.97878	0.97944	0.97998	0.98041	0.98077
65～69歳→70～74歳	0.96440	0.96609	0.96731	0.96830	0.96910	0.96974
70～74歳→75～79歳	0.93630	0.93994	0.94266	0.94490	0.94675	0.94828
75～79歳→80～84歳	0.88704	0.89445	0.89998	0.90460	0.90846	0.91170
80～84歳→85～89歳	0.80489	0.81974	0.83106	0.84065	0.84879	0.85572
85歳以上→90歳以上	0.49446	0.51100	0.52447	0.53653	0.54736	0.55712

純移動率・女

	2010年→ 2015年	2015年→ 2020年	2020年→ 2025年	2025年→ 2030年	2030年→ 2035年	2035年→ 2040年
0～4歳→5～9歳	-0.04311	-0.03257	-0.03211	-0.03199	-0.03198	-0.03203
5～9歳→10～14歳	-0.02563	-0.01987	-0.01916	-0.01895	-0.01892	-0.01896
10～4歳→15～19歳	-0.06187	-0.04431	-0.04442	-0.04465	-0.04465	-0.04490
15～19歳→20～24歳	-0.13496	-0.08563	-0.08464	-0.08488	-0.08573	-0.08611
20～24歳→25～29歳	-0.02281	-0.00530	-0.00448	-0.00404	-0.00391	-0.00443
25～29歳→30～34歳	-0.00895	-0.00369	-0.00142	-0.00163	-0.00193	-0.00221
30～34歳→35～39歳	-0.01157	-0.00919	-0.00790	-0.00786	-0.00796	-0.00814
35～39歳→40～44歳	0.00432	0.00085	0.00299	0.00313	0.00253	0.00279
40～44歳→45～49歳	-0.02415	-0.01824	-0.01801	-0.01797	-0.01797	-0.01792
45～49歳→50～54歳	-0.02835	-0.02121	-0.02125	-0.02125	-0.02124	-0.02126
50～54歳→55～59歳	0.00312	0.00148	0.00188	0.00225	0.00150	0.00273
55～59歳→60～64歳	0.00988	0.00677	0.00791	0.00857	0.00938	0.00794
60～64歳→65～69歳	0.00219	0.00040	0.00079	0.00112	0.00135	0.00140
65～69歳→70～74歳	-0.00067	-0.00034	-0.00136	-0.00096	-0.00066	-0.00045
70～74歳→75～79歳	-0.02620	-0.01935	-0.01796	-0.01976	-0.01931	-0.01899
75～79歳→80～84歳	-0.00350	-0.00229	-0.00294	-0.00089	-0.00428	-0.00302
80～84歳→85～89歳	0.01887	0.01712	0.02097	0.01877	0.02215	0.01550
85歳以上→90歳以上	0.04168	0.03858	0.03458	0.02717	0.02572	0.03493

子ども女性比

2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
0.21435	0.19978	0.19911	0.20426	0.20918	0.20993

0～4歳性比

2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
105.41	105.40	105.40	105.40	105.40	105.41

将来就業人口の推計

2-1

将来就業人口は、15歳以上推計人口×就業率で求められる。
 就業率の推計値は「平成27年 労働力需給の推計」（独立行政法人 労働政策研究・研修機構）による推計値を採用し、
 就業率の全国と小諸市の乖離率から、小諸市の就業率を推計する。
 将来人口は「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月）」（国立社会保障・人口問題研究所）の推計値を採用する。

年	全国 就業率	小諸市 就業率	乖離率	乖離率の 平均値 (H12年～ H22年)	小諸市 15歳以上 人口	小諸市 就業人口
	①	②	③	④	⑤	⑥
	%	%			人	人
昭和60年						22,664
平成 2年	62.0	65.2	1.0516			23,665
平成 7年	61.4	64.7	1.0537			24,469
平成12年	59.5	61.1	1.0269			23,874
平成17年	57.8	58.6	1.0138			22,571
平成22年	57.3	53.2	0.9284	0.9897	38,593	20,266
平成27年	56.3	55.7			36,956	20,592
平成32年	55.2	54.6			35,695	19,501
平成37年	54.2	53.6			34,283	18,390
平成42年	53.2	52.7			32,698	17,217

※ ① 「平成27年 労働力需給の推計」（独立行政法人 労働政策研究・研修機構）より
 上記資料では就業率推計において高齢者・若年層・女性の労働市場への参加の程度で2ケースの推計がおこなわれ、
 本推計では2014年の労働力調査の結果のまま推移するゼロ成長・参加現状ケースを採用した。

③ = ② ÷ ① （実績値：国勢調査）

⑤ 「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」の小諸市分（ただし、平成27年は国勢調査速報値を採用）

② = ① × ④

⑥ = ⑤ × ②

2-2 産業別人口の推計は資料①の産業別人口構成比の推計値と、全国と小諸市の第1次、第2次産業の構成比の乖離率から小諸市の産業別構成比を推計する。

年	全国			小諸市									
	第1次産業 就業構成比	第2次産業 就業構成比	第3次産業 就業構成比	第1次産業 就業人口	第2次産業 就業人口	第3次産業 就業人口	第1次産業 構成比	乖離率	乖離率の平均 値	第2次産業 構成比	乖離率	乖離率の 平均値	第3次産業 構成比
	⑦	⑧	⑨	⑩ 人	⑪ 人	⑫ 人	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
昭和60年	8.8%	34.0%	57.3%	4,253	8,311	10,074	18.8%	2.1448		36.7%	1.0802		44.4%
平成2年	7.2%	33.3%	59.5%	3,520	9,100	11,032	14.9%	2.0645		38.4%	1.1548		46.3%
平成7年	5.7%	32.6%	61.7%	3,130	9,262	12,069	12.8%	2.2520		37.8%	1.1606		49.4%
平成12年	5.1%	30.4%	64.6%	2,520	8,865	12,464	10.5%	2.0762		37.1%	1.2220		52.3%
平成17年	4.5%	26.7%	68.8%	2,684	7,249	12,581	11.9%	2.6739		32.1%	1.2007		55.7%
平成22年	4.2%	25.2%	70.6%	1,800	6,167	12,006	8.9%	2.1190	2.2217	30.4%	1.2086	1.1711	59.3%
平成27年	4.0%	24.3%	71.7%	1,807	5,867	12,919	8.8%			28.5%			62.7%
平成32年	3.7%	23.5%	72.8%	1,603	5,367	12,531	8.2%			27.5%			64.3%
平成37年	3.5%	23.4%	73.2%	1,410	5,029	11,952	7.7%			27.3%			65.0%
平成42年	3.2%	23.2%	73.6%	1,224	4,678	11,315	7.1%			27.2%			65.7%

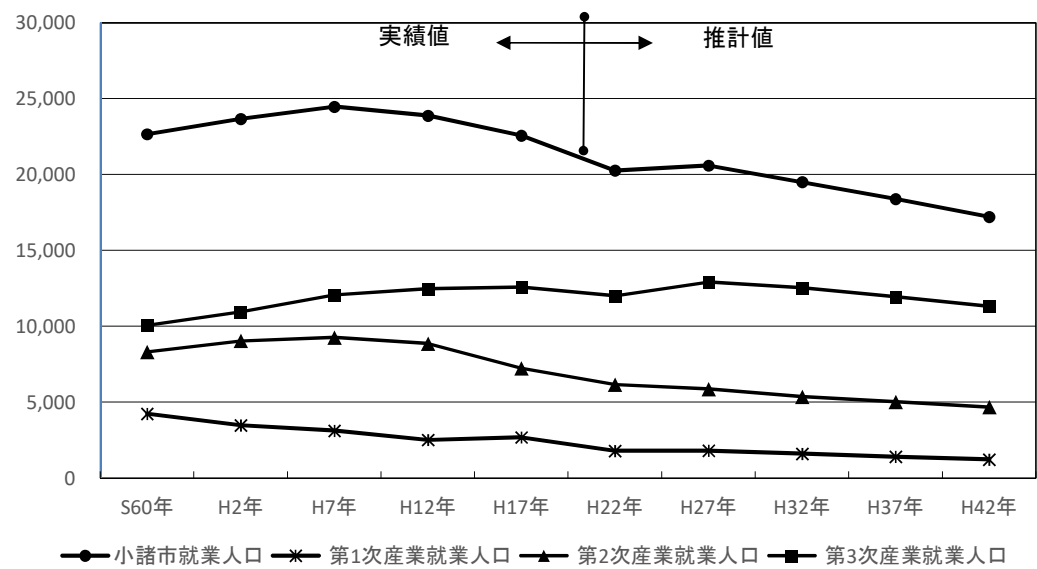
⑦～⑨ 資料①の産業別人口構成比の推計値

$$\begin{aligned}\textcircled{14} &= \textcircled{13} \div \textcircled{7} \\ \textcircled{17} &= \textcircled{16} \div \textcircled{8}\end{aligned}$$

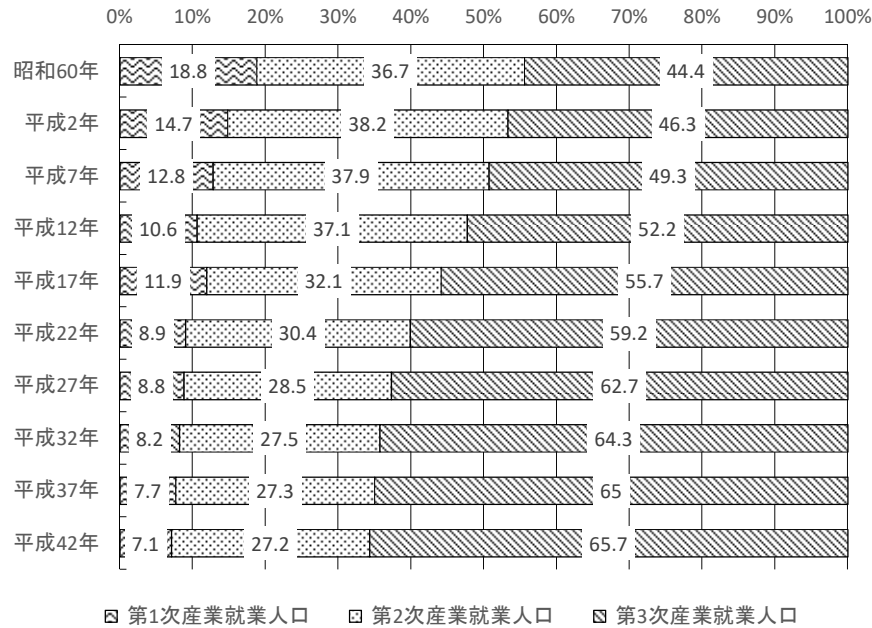
$$\begin{aligned}\textcircled{13} &= \textcircled{7} \times \textcircled{15} \\ \textcircled{16} &= \textcircled{8} \times \textcircled{18} \\ \textcircled{19} &= 1 - \textcircled{13} - \textcircled{16}\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}\textcircled{10} &= \textcircled{6} \times \textcircled{13} \\ \textcircled{11} &= \textcircled{6} \times \textcircled{16} \\ \textcircled{12} &= \textcircled{6} - \textcircled{10} - \textcircled{11}\end{aligned}$$

産業3区分就業人口推計

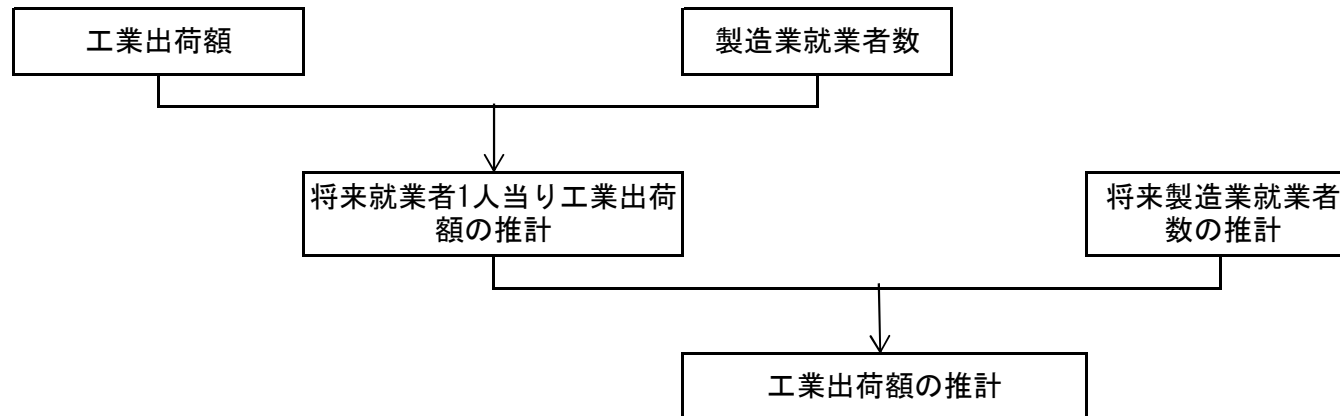


構成比



工業出荷額の推計

工業出荷額の推計は以下に示す方法でおこなった。



推計に必要な係数は以下の通りである。

年	就業地 就業人口	常住地 就業人口	就業地/ 常住地就業 人口比率
2010	19,528	20,266	96.36%
2005	21,620	22,571	95.79%
2000	23,380	23,874	97.93%

出典：国勢調査

96.69% 平均値を使用

年	常住地 就業人口	製造業 就業人口	製造業 就業率
2010	20,266	4,499	22.20%
2005	22,571	5,050	22.37%
2000	23,874	6,184	25.90%

出典：国勢調査

22.29% 2005と2010の平均値を使用

年度		工業出荷額 (百万円)	工業出荷額 (百万円)	就業者数	1人当 工業出荷額 (百万円/ 人)
平成14年	2002	126,486	132,724	4,213	31.5
平成15年	2003	150,107	159,012	4,393	36.2
平成16年	2004	142,830	149,404	4,436	33.7
平成17年	2005	125,656	129,276	4,304	30.0
平成18年	2006	126,533	127,425	4,407	28.9
平成19年	2007	120,841	119,526	4,569	26.2
平成20年	2008	150,749	142,620	4,448	32.1
平成21年	2009	116,727	116,610	4,090	28.5
平成22年	2010	109,705	109,705	4,069	27.0
平成24年	2012	98,228	97,642	4,061	24.0
平成25年	2013	108,478	106,455	3,941	27.0
平成26年	2014	120,021	114,197	3,722	30.7

出典：工業統計

デフレータ補正值

27.4 リーマンショック以降の2009～の平均値を採用

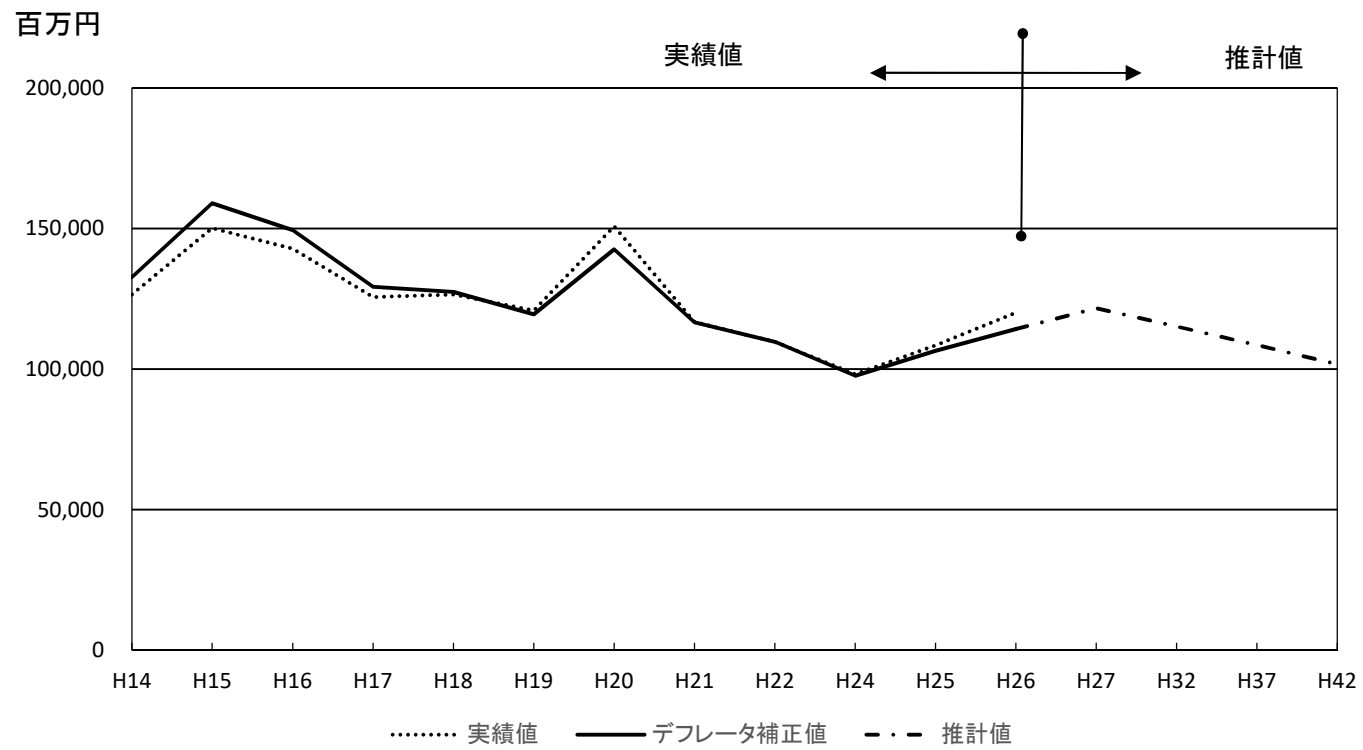
工業出荷額の推計

年	年	小諸市 就業人口	就業地/ 常住地就業 人口比率	就業地/ 常住地就業 人口比率 平均値	製造業 就業率	製造業 就業率 平均値	小諸市 製造業 就業人口 (就業地)	1人当り 工業出荷額 (百万円/ 人)	工業出荷額 (百万円)
		① 人	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
1985	昭和60年	22,664							
1990	平成2年	23,665							
1995	平成7年	24,469							
2000	平成12年	23,874	97.93%						
2005	平成17年	22,571	95.79%		22.37%				
2010	平成22年	20,266	96.36%	96.69%	22.20%	22.29%		27.4	
2015	平成27年	20,592					4,437		121,587
2020	平成32年	19,501					4,202		115,144
2025	平成37年	18,390					3,963		108,586
2030	平成42年	17,217					3,710		101,655

⑥=①×③×⑤

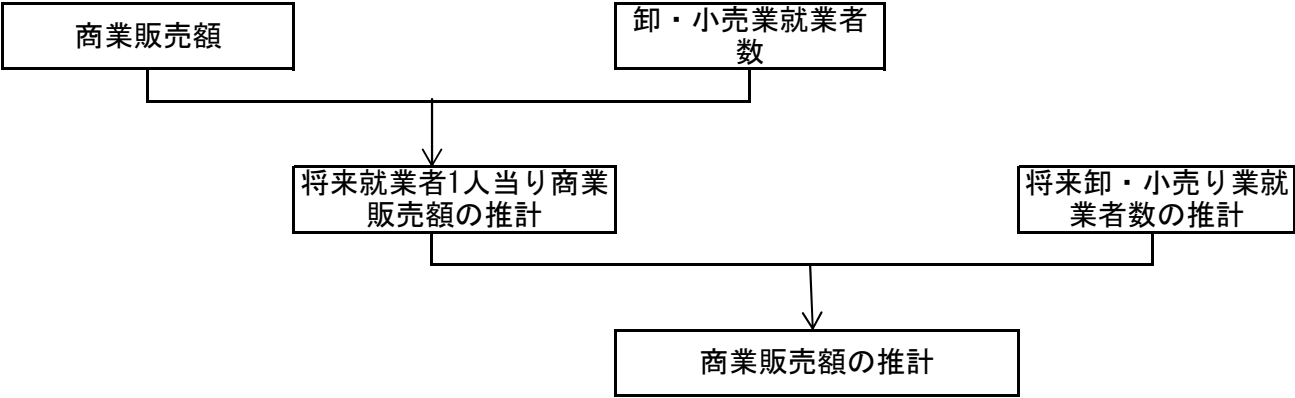
⑧=⑥×⑦

工業出荷額の推計



商業販売額の推計

商業販売額の推計は以下に示す方法でおこなった。



推計に必要な係数は以下の通りである。

年	就業地 就業人口	常住地 就業人口	就業地/ 常住地就業 人口比率
2010	19,528	20,266	96.36%
2005	21,620	22,571	95.79%
2000	23,380	23,874	97.93%

出典：国勢調査

96.69% 平均値を使用

年	常住地 就業人口	卸・小売業 就業者数	卸・小売業 就業率
2010	20,266	3,137	15.48%
2005	22,571	3,584	15.88%
2000	23,874	4,543	19.03%

出典：国勢調査

15.68% 2005と2010の平均値を使用

年度		商業 販売額	就業者数	1人当り 販売額
		百万円	人	百万円/人
平成3年	1991	247,103	3,861	64.0
平成6年	1994	211,210	4,179	50.5
平成9年	1997	190,029	3,550	53.5
平成11年	1999	204,559	4,301	47.6
平成14年	2002	169,961	3,556	47.8
平成16年	2004	77,237	3,492	22.1
平成19年	2007	99,453	3,329	29.9
平成24年	2012	70,633	2,770	25.5
平成26年	2014	72,104	3,236	22.3

出典：商業統計

24.9 2004年以降の平均値を採用

商業販売額の推計

年		小諸市 就業人口	就業地/ 常住地 就業人口 比率	就業地/ 常住地 就業人口 比率設定値	卸・小売業 就業率	卸・小売業 就業率 平均値	小諸市 製卸・小売 就業人口 (就業地)	1人当り 販売額 (百万円/ 人)	商業 販売額 (百万円)
		① 人	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
1985	昭和60年	22,664							
1990	平成2年	23,665							
1995	平成7年	24,469							
2000	平成12年	23,874	97.93%						
2005	平成17年	22,571	95.79%		15.88%				
2010	平成22年	20,266	96.36%	96.69%	15.48%	15.68%		24.9	
2015	平成27年	20,592					3,122		77,874
2020	平成32年	19,501					2,957		73,747
2025	平成37年	18,390					2,788		69,547
2030	平成42年	17,217					2,610		65,108

⑥=①×③×⑤

⑧=⑥×⑦

商業販売額推計

